

津山市教育委員会 教育略年表

昭和 20 年(1945 年)～平成 24 年(2012 年)3 月

教育行政及び関連事項について、津山市のできごとを左の欄に、全国・岡山県の動きを右の欄に記しましたので関連づけて見て下さい。

人名については敬称を省略し、就任の時期を記入しました。教育委員・教育長については()内に辞任の時期を加えました。

参考文献(P72 から参照)により津山市に關係する部分を抜粋をしていますが、平成 24 年 4 月 1 日現在において不明な部分もあり、年月日等空白の部分もあります。

年	津山市関係事項	全国・岡山県関係事項
昭和 20 年 (1945 年)	5・15 谷崎潤一郎が津山の愛山に一時疎開	3・06 「国民勤労働員令」公布
	8・ 家屋疎開のため、津山城天守閣(博覧会 用)・公会堂・商工会議所などを取壊	3・18 「決戦教育措置要綱」閣議決定(国民学 校初等科を除き 4 月から学校における事業 1 年間停止)
	8・15 正午、戦争終結の詔書を放送、太平洋戦争 終結	4・ 学校防空緊急対策に関する通牒並びに戦 況の推移により、幼稚園は戦時保育所と改 称(～21・3)
	9・17 枕崎台風のため吉井川が氾濫し市街地が 浸水、今井橋が流出し甚大な損害	5・22 「戦時教育令」公布
		6・29 岡山市空襲を受け市街地の大部分を消失
		8・06 原爆広島に投下
		8・09 原爆長崎に投下
		8・10 ポツダム宣言受諾決定
		8・16 学徒勤労働員解除を通達、学校教練・学 校防空関係 19 法令廃止
		9・02 東京湾ミズ - リ号上で降伏文書調印
		9・12 国民学校及び中等学校に対し戦時教育か ら平時教育への転換のための緊急事項を 指示
		9・15 文部省「新日本建設の教育方針」発表
		9・20 文部省、国定教科書から戦時教材削除を 指令(教科書の墨塗り作業始まる)
		9・21 岡山県庁、岡山市上伊福の旧海軍衣料廠跡 へ移転
		10・ 連合軍が津山へ兵器類接收のため進駐
		10・3 文部省、柔剣道・教練の全面廃止を通達
		10・5 「戦時教育令」廃止
		10・22 GHQ「日本教育制度二対スル管理政策」 発表
		10・24 国際連合発足

		<p>10・30 GHQ「教員及び教育関係官の調査、除外、認可に関する件」を指令</p> <p>11・6 体練科教授要綱の取扱いについて通達（軍国調の一掃、武道を学校から排除）</p> <p>12・15 GHQ、国家神道、神社神道の国家からの分離、神道教育の学校教育からの排除を指令</p> <p>12・17 「衆議院議員選挙法」が改正される。婦人参政権実現</p> <p>12・22 「労働組合法」公布</p> <p>12・29 第一次農地改革</p> <p>12・30 GHQ、「修身、日本歴史及び地理停止に関する件」指令</p>
昭和 21 年 (1946 年)	<p>4・ 津山市立中央幼稚園と改称 (明治 38 年 私立幼稚園設立(田町、江口氏宅・保母宮川春野)、明治 41 年 津山市学務委員会に経営移管・園長 植月皓、明治 42 年 戸川町妙願寺に移転、明治 43 年 南新座宮田氏邸に移転、明治 44 年 現在位置高山氏の技芸学校跡に移転、昭和 6 年 園舎増改築、昭和 8 年市営移管、津山市幼稚園と改称)(西幼稚園へ)</p> <p>4・ 津山市立西幼稚園と改称<1. 西幼稚園> (昭和 5 年 4 月 私立西幼稚園設立(安岡町、渡辺島治郎氏経営)、昭和 15 年 3 月市営移管、津山市立西幼稚園と改称)</p> <p>4・ 津山東幼稚園と改称 <2. 東幼稚園> (昭和 17 年 7 月 私立津山東幼稚園設立)</p> <p>11・26 平松俊太郎市長の退任(10 月 30 日)に伴い、和田義一が臨時市長代理に就任</p>	<p>1・01 天皇の人間宣言</p> <p>2・16 「食料緊急処置令」が公布</p> <p>2・17 新円の切替えや預金封鎖の実施</p> <p>2・22 「国民学校令等戦時特例」廃止</p> <p>2・23 中等学校令改正(中等学校 5 年制、高等学校および大学予科 3 年制復活)</p> <p>2・28 「公職追放令」公布</p> <p>4・07 米国教育使節団報告書発表</p> <p>4・10 新しい選挙法により総選挙が実施</p> <p>4・18 津山市教員組合が結成</p> <p>5・03 極東国際軍事裁判開廷</p> <p>5・06 教職員の除去就職禁止及び復職に関する勅令公布(6.20 教育職員適格審査委員会発足)</p> <p>5・21 文部省、新教育指針</p> <p>6・ 教職員の公職追放が開始</p> <p>6・29 GHQ、地理授業再開許可</p> <p>8・10 総理大臣の諮問機関・教育刷新委員会設置</p> <p>9・7 第二次農地改革案が出案</p> <p>10・8 勅語の式日奉読の停止</p> <p>10・9 文部省、男女共学実施について指示</p> <p>10・12 GHQ、国史授業再開許可</p> <p>10・15 岡山県教員資格審査委員会、不適格教員 30 人の追放を発表</p> <p>10・21 「自作農創設特別処置法」公布(第二次農地改革)</p> <p>11・1 水田昌二郎が、日本蘭学会創設の会を開催</p> <p>11・3 「日本国憲法」公布</p>

		11・25 岡山県教職員組合結成
昭和 22 年 (1947 年)	<p>2・09 学校給食の開始</p> <ul style="list-style-type: none"> 岡山放送局津山分局創設 <p>3・31 津山市立東中学校設立認可 <1. 津山東中学校、3. 北陵中学校></p> <p>3・31 津山市立西中学校設立許可 <5. 津山西中学校></p> <p>3・31 田邑村立西中学校田邑分校設立認可 <5. 津山西中学校></p> <p>3・31 津山市立南中学校設立認可 <4. 鶴山中学校、5. 津山西中学校></p> <p>3・31 津山市立北中学校設立認可 <4. 鶴山中学校、3. 北陵中学校></p> <p>3・31 高田村外 2 か村組合立共和中学校設立認可 <3. 北陵中学校></p> <p>3・31 高田村外 3 か村組合立鴨川中学校設立認可 <1. 津山東中学校></p> <p>3・31 河辺村、大崎村組合立国分寺中学校 <1. 津山東中学校></p> <p>4・01 新学制により、新制の中学校を開校(東・西・南・北中学校)(西中学校田邑分校、共和、鴨川、国分寺中学校) 国民学校を小学校と改称する。 小・中学校男女共学</p> <p>4・01 津山市立第二小学校と改称 <1. 東小学校> (明治7年4月正器、日新・時習小学開校、同年6月開智小学開校、明治20年4月統合し尋常津山小学校、明治26年7月津山尋常小学校と改称、明治41年4月津山女子尋常高等小学校と改称、昭和4年2月津山市津山女子尋常高等小学校と改称、昭和16年4月津山市第二国民学校と改称) (東小学校)</p> <p>4・01 津山市立中道小学校と改称 <1. 東小学校> (明治7年8月有章小学開校、明治8年6月日就小学開校、明治17年3月統合し有就小学校と改称、明治18年4月中道小学校と改称、明治20年4月尋常中道小学校と改称、明治25年4月中道尋常小学校と</p>	<p>2・05 文部省、新学制実施方針発表</p> <p>3・20 文部省、「学習指導要領一般編(試案)」発表</p> <p>3・31 「教育基本法」「学校教育法」公布</p> <p>4・01 六・三制による(新制)小学校・中学校発足</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校教育法が制定され、学校教育の一環として幼稚園を位置付 <p>4・05 第一回知事・市町村長選挙</p> <p>4・07 「労働基準法」公布</p> <p>4・17 「地方自治法」公布</p> <p>4・20 第一回参議院選挙</p> <p>4・30 地方議会選挙</p> <p>4・30 津山市消防団が新しい編成を実施</p> <p>5・03 「日本国憲法」施行</p> <p>6・08 日本教職員組合結成</p> <p>7・01 臨時国勢調査(津山市人口 51,571 人)。</p> <p>8・02 文部省「あたらしい憲法のはなし」発行</p> <p>9・11 社会科授業開始</p> <p>10・21 国家公務員法公布</p> <p>12・11 天皇陛下が津山へ行幸</p> <p>12・12 「児童福祉法」公布</p> <p>12・22 「改正民法」公布(「家」制度廃止)</p> <ul style="list-style-type: none"> 青年学校を実業高等学校と改称

	<p>改称、明治 41 年 4 月中道尋常高等小学校、昭和 16 年 2 月津山市中道尋常高等小学校、昭和 16 年 4 月津山市中道国民学校と改称) (東小学校)</p> <p>4・01 津山市立第三小学校と改称<2. 西小学校> (大正 12 年 4 月津山西尋常小学校開校、昭和 16 年 4 月津山市第三国民学校と改称) (西小学校)</p> <p>4・01 津山市立福岡小学校と改称<3. 南小学校> (明治 8 年 10 月原智小学開校、明治 20 年 4 月尋常原智小学校と改称、明治 25 年 11 月福岡尋常小学校と改称、明治 44 年 4 月福岡尋常高等小学校と改称、昭和 4 年 2 月津山市福岡尋常高等小学校、昭和 16 年 4 月津山市福岡国民学校と改称)(南小学校)</p> <p>4・01 津山市立第一小学校と改称<4. 北小学校> (明治 7 年 5 月鶴山小学開校、明治 14 年 7 月鶴山小学校、明治 20 年 4 月高等鶴山小学校と改称、明治 34 年 4 月津山高等小学校と改称、明治 41 年 4 月津山男子尋常高等小学校と改称、昭和 16 年 4 月津山市第一国民学校と改称)(北小学校)</p> <p>4・01 津山市立苫田小学校と改称<4. 北小学校> (明治 7 年 8 月修名小学開校、明治 20 年 4 月尋常修名小学校と改称、明治 41 年 4 月苫田尋常高等小学校と改称、昭和 16 年 4 月津山市苫田国民学校と改称)(北小学校)</p> <p>4・01 津山市立林田小学校と改称<5. 林田小学校> (明治 7 年 8 月玉琳小学開校、明治 14 年 4 月玉琳小学校と改称、明治 24 年 4 月尋常玉琳小学校と改称、明治 26 年 4 月玉琳尋常小学校と改称、明治 34 年 10 月林田尋常高等小学校を開設、明治 40 年 5 月林田女子実業補習学校を附設、大正 8 年 3 月林</p>	
--	--	--

	<p>田実業補習学校男子部を開設、昭和4年2月津山市林田尋常高等小学校と改称、昭和16年4月津山市林田国民学校と改称)(林田小学校)</p> <p>4・01 津山市立二宮小学校と改称<8. 向陽小学校> (明治7年9月二宮小学開校、明治20年5月岸上小学と統合、尋常双松小学校創立、明治21年4月高等双松小学校創立(二宮・院庄組合立)、明治26年10月双松尋常高等小学校と改称、大正11年4月二宮尋常高等小学校として独立、昭和4年2月津山市二宮尋常高等小学校と改称、昭和16年4月津山市二宮国民学校と改称)(向陽小学校)</p> <p>4・01 田邑村立田邑小学校と改称<8. 向陽小学校> (明治7年7月田邑小学開校、明治20年4月尋常田邑小学校と改称、明治26年7月田邑尋常小学校と改称、昭和16年4月田邑国民学校と改称)(向陽小学校)</p> <p>4・01 津山市立院庄小学校と改称<9. 院庄小学校> (明治7年9月岸上小学開校、明治20年5月尋常双松小学校設立(岸上小と二宮小統合)、明治26年10月双松尋常高等小学校と改称、大正11年4月院庄尋常高等小学校設立、昭和16年4月津山市院庄国民学校と改称)</p> <p>4・01 津山市立佐良山小学校と改称<10. 佐良山小学校> (明治8年6月明説小学開校、明治12年明説小学校と改称、明治9年4月明道小学開校、明治23年両校を統合し佐良山尋常小学校と改称、明治36年4月佐良山尋常高等小学校と改称、大正8年4月佐良山実業補習学校を併設、昭和16年3月津山市佐良山尋常高等小学校と改称、昭和16年4月津山市佐良山国民学校と改称)</p> <p>4・01 一宮村立一宮小学校と改称 <11. 一宮小学校></p>	
--	---	--

	<p>(明治7年9月東田辺に精勤小学開校、明治13年3月一宮簡易科小学校と改称、明治20年4月尋常一宮小学校と改称、明治23年4月一宮尋常小学校と改称、明治42年4月一宮尋常高等小学校と改称、昭和16年4月一宮国民学校と改称)(一宮小学校)</p> <p>4・01 東一宮村立東一宮小学校と改称 <11.一宮小学校></p> <p>(明治7年8月観音寺跡に知新小学開校、明治7年8月山方に鳥羽小学開校、明治10年4月鳥羽小学を知新小学に統合、明治20年4月尋常知新小学校と改称、明治26年6月東一宮尋常小学校と改称、明治41年4月東一宮尋常高等小学校と改称、昭和16年4月東一宮国民学校と改称)(一宮小学校)</p> <p>4・01 高田村立高田小学校と改称 <12.高田小学校></p> <p>(明治7年1月下横野に弘明小学開校、明治8年1月上横野に清水小学開校、明治20年12月清水小学を弘明小学に統合し尋常弘明小学校と改称、明治8年1月大篠に育英小学開校、明治20年12月尋常育英小学校と改称、明治23年4月尋常高田小学校と改称、明治26年7月高田尋常小学校と改称、明治41年4月高田尋常高等小学校と改称、昭和16年4月高田国民学校と改称)</p> <p>4・01 神庭村・滝尾村組合立清泉小学校と改称 <13.清泉小学校></p> <p>(明治11年春・静修小学開校、明治12年春・綾部小学校と改称、明治20年尋常綾部小学校と改称、明治23年尋常神庭小学校と改称。明治9年新野小学開校、明治12年5月新野小学支校設立、明治18年分離独立し精業小学校設立、明治20年尋常精業小学校と改称。明治26年9月尋常神庭小学校と尋常精業小学校が統合し神庭村・滝尾村組合立清泉尋常小学校設立、明治42年5月組合立清泉尋常高等小学校と</p>	
--	---	--

	<p>改称、昭和 16 年 4 月組合立清泉国民学校 と改称)</p> <p>4・01 高倉村立高倉小学校と改称 < 14 .高倉小学 校 > (明治 9 年 10 月寄松小学開校、明治 20 年 4 月尋常高倉小学校と改称、明治 23 年 4 月高倉尋常小学校と改称、明治 35 年 4 月 当地に新築移転、明治 41 年 4 月高倉尋常 高等小学校と改称、昭和 16 年 4 月高倉国 民学校と改称)</p> <p>4・01 高野村立高野小学校と改称 < 15 .高野小学 校 > (明治 7 年 11 月山崎小学開校、明治 7 年 12 月高野小学開校、明治 9 年高野小学へ 山崎小学統合、明治 20 年 10 月尋常高野小 学校と改称、明治 26 年 4 月高野尋常小学 校と改称、明治 30 年 1 月現住所に校舎新 築、明治 41 年 4 月高野尋常高等小学校と 改称、昭和 16 年 4 月高野国民学校と改称)</p> <p>4・01 神庭村立成名小学校と改称 < 16 .成名小学 校 > (明治 10 年 9 月成名小学開校、明治 19 年 5 月尋常成名小学校と改称、明治 23 年 4 月高野尋常小学校支校と統合改称、明治 27 年 2 月組合立成名尋常小学校と改称、 明治 42 年 9 月高野村立成名尋常小学校と 改称し現位置に新築移転、昭和 12 年 4 月 神庭村立成名尋常小学校と改称、昭和 16 年 4 月神庭村立成名国民学校と改称)</p> <p>4・01 河辺村立河辺小学校と改称 < 17 .河辺小学 校 > (明治 7 年 10 月教育小学開校、明治 20 年 4 月尋常教育小学校と改称、明治 23 年 1 月河辺尋常小学校と改称、明治 34 年 4 月 河辺尋常高等小学校と改称、昭和 1 年 12 月現位置に新築移転、昭和 16 年 4 月河辺 国民学校と改称)</p> <p>4・01 大崎村立大崎小学校と改称 < 18 .大崎小学 校 > (明治 7 年 4 月躬行小学開校、明治 20 年 尋常躬行小学校と改称、明治 26 年 2 月大</p>	
--	---	--

	<p>崎尋常小学校と改称、明治 34 年 12 月現位置に新築移転、明治 41 年 4 月大崎尋常高等小学校と改称、昭和 16 年 4 月大崎国民学校と改称)</p> <p>4・01 広野村立広野小学校と改称 < 19 . 広野小学校 > (明治 7 年 9 月明知小学開校、明治 14 年 8 月現位置に新築移転、明治 20 年 4 月尋常明知小学校と改称、明治 28 年 4 月明知尋常小学校と改称、明治 36 年 10 月広野尋常小学校と改称、明治 42 年 2 月広野尋常高等小学校と改称、昭和 16 年 4 月広野国民学校と改称)</p> <p>4・05 和田義一 第 8 代市長に就任</p> <p>5・01 津山市立福南小学校独立開校 < 3 . 南小学校 > (明治 11 年 1 月轟名小学開校、明治 20 年 4 月尋常轟名小学校と改称、明治 26 年 7 月轟名尋常小学校と改称、(押測分教場へ転校)、昭和 5 年 4 月津山市福岡尋常高等小学校・押測分教場開校、昭和 16 年 4 月津山市福岡国民学校・押測分教場と改称) (南小学校)</p>	
<p>昭和 23 年 (1948 年)</p>	<p>4・ 津山市体育協会が誕生</p> <p>9・15 津山西中学校校舎新築</p> <p>9・01 国分寺中学校校舎新築</p> <p>9・19 鴨川中学校第 2 校舎新築</p> <p>9・ 津山児童相談所が開設</p> <p>10・11 鴨川中学校第 3 校舎建築</p>	<p>2・16 内閣「当用漢字別表」「当用漢字音訓表」 教育漢字 881 字を訓令・告示</p> <p>3・04 岡山県 P T A 連合会発足</p> <p>3・06 国家警苦田地区署、津山市警察署(自治警) が発足</p> <p>3・07 新警察制度発足</p> <p>4・01 新制高等学校発足 ・ 文部省「保育要領」刊行</p> <p>4・07 中学校の就学義務並びに盲学校及び聾学校の就学義務及び設置義務に関する政令 公布</p> <p>5・01 「山陽新聞」発刊</p> <p>5・02 サマ - タイム実施</p> <p>6・30 教職員共済組合法を「公立学校共済組合」 に改組</p> <p>7・07 地方財政法公布</p> <p>7・10 教科書の発行に関する臨時処置法公布</p> <p>7・10 市町村立学校職員給与負担法公布(市町村</p>

		<p>立諸学校の教職員の給与を都道府県へ負担化)</p> <p>7・15 「教育委員会法」「少年法」公布</p> <p>7・20 「国民の祝日法」公布</p> <p>8・23 岡山県教育研修所創設</p> <p>9・ 岡山県津山高校中山分校、岡山県白鷺高校創立(29・7・1 岡山県津山市立高校、現県立津山東高校)</p> <p>10・5 第1回岡山県教育委員選挙</p> <p>10・11 高校社会科に世界史、数学科に一般数学新設(24年4月実施)</p> <p>11・1 教育委員会制度発足(都道府県、5大市及び任意設置の市町村)、岡山県教育委員会発足</p> <p>横山正人 県教育長に就任。</p> <p>事務局は7課1室、出先機関として16の教育事務所を設置</p>
昭和 24 年 (1949 年)	<p>4・01 鴨川中学校第1校舎建築</p> <p>4・01 成人式開催</p> <p>4・01 市制 20 周年記念大博覧会を開催(5・10 まで)</p> <p>4・01 津山市立北中学校を津山中学校と改称、校舎新築</p> <p>4・ 私立わかば園が開設</p> <p>7・12 共和中学校校舎新築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公民館新築(元公会堂跡) ・ 今井橋(木造)が竣工 	<p>1・12 教育公務員特例法公布</p> <p>3・07 ドッジ公使、経済安定政策(ドッジライン)明示</p> <p>3・31 高畑浅次郎 県教育長に就任</p> <p>3・31 岡山県視聴覚ライブラリー設置</p> <p>4・23 1ドル360円の単一為替レ - ト設定(25日実施)</p> <p>5・18 学校教育法を改正(短期大学成立)</p> <p>5・31 「文部省設置法」「教育職員免許法」「教育職員免許法施行令」公布</p> <p>5・31 「国立学校設置法」公布(新制国立大学発足)</p> <p>6・01 県教育委員会事務局機構改革(5課)</p> <p>6・01 国立新制大学設置。岡山大学発足</p> <p>6・01 教育刷新委員会を教育刷新審議会と改称</p> <p>6・10 社会教育法公布</p> <p>7・05 保健体育審議会設置</p> <p>8・25 文部省 中学校・高等学校の「生徒指導要録」を制定</p> <p>9・10 教育時報創刊</p> <p>9・30 岡山県立高等学校設置条例を制定</p> <p>10・18 岡山県文化賞授与規定を制定</p> <p>11・3 湯川秀樹ノ - ベル物理学賞受賞</p>
昭和 25 年	1・ 成人式開催	1・01 岡山県学校給食会設立(昭和 32.10.1 財団

(1950年)	<p>4・10 津山市民の歌発表会を実施</p> <p>11・3 津山文化章制定、第一回授与式を実施</p> <p>11・11 佐良山古墳群の調査を開始</p> <p>12・24 市立津山郷土館設置条例を制定</p>	<p>法人に改組)</p> <p>1・31 初めて岡山県社会教育委員を委嘱</p> <p>4・17 国語審議会令公布</p> <p>4・18 教育職員免許等審議会令公布</p> <p>4・27 社会教育審議会令公布</p> <p>4・30 図書館法公布</p> <p>5・04 生活保護法公布</p> <p>5・13 岡山県学校図書館協議会発足</p> <p>5・19 教科用図書検定調査審議会令制定</p> <p>5・30 「文化財保護法」公布</p> <p>9・01 レッド・パ - ジ方針閣議決定</p> <p>10・1 国勢調査(津山市人口 51,645 人)</p> <p>11・10 第 2 回岡山県教育委員選挙</p> <p>12・13 地方公務員法公布</p>
昭和 26 年 (1951年)	<p>1・ 成人式開催</p> <p>4・01 東一宮・一宮両村合併し、一宮村となる。</p> <p>4・01 東一宮・一宮両小学校を統合し、一宮村立一宮小学校開校</p> <p>4・01 東中学校第 1 期建築</p> <p>4・23 中島琢之 第 9 代市長に就任</p> <p>10・ 津山福祉事務所を開設</p> <p>11・3 津山郷土館を開設(第 35 代内閣総理大臣平沼騏一郎旧別邸)</p>	<p>2・01 岡山県教育委員会事務局を岡山県教育庁と呼称(5課1室)</p> <p>4・01 作陽短期大学・美作短期大学開校</p> <p>5・05 児童憲章制定</p> <p>6・01 文部省職業教育課編「産業教育」創刊</p> <p>6・11 「産業教育振興法」公布</p> <p>6・20 I L O・ユネスコに加盟</p> <p>7・01 文部省「学習指導要領一般編」改訂</p> <p>9・08 対日平和条約(サンフランシスコ講和条約)</p> <p>11・17 岡山県図書館協会初会式</p> <p>12・1 博物館法公布</p>
昭和 27 年 (1952年)	<p>1・ 成人式開催</p> <p>6・01 東中学校第 2 期建築</p> <p>3・01 津山市立西中学校田邑分校が、田邑村立田邑中学校独立</p> <p>7・04 地方教育委員会の全面实施</p> <p>9・01 津山市文化協会が発足</p> <p>9・01 津山中学校を北中学校と改称</p> <p>9・20 南中学校校舎新築</p> <p>10・5 第 1 回津山市教育委員選挙 青木勘(~30.1.)、柴田治(~31.9.30)、古峪草平(~29.12)、小林利一(~31.9.30)が市教育委員に当選 教育委員会は市議会選出委員の江見正(~31.9.30)、川端克己(~30.4.)を加えて 6 人で 11 月 1 日発足</p>	<p>3・15 岡山県職員の共済制度に関する条例制定</p> <p>4・28 平和条約発効</p> <p>5・01 教育庁機構改組(5課1室)</p> <p>6・06 中央教育審議会設置(教育刷新審議会廃止)</p> <p>6・06 教育職員免許等審議会を教育職員養成審議会と改称</p> <p>6・16 「文部大臣の主管に属する民法第 34 条の法人の設立及び監督に関する規定」制定(旧省令全面改正)</p> <p>7・01 全国住民登録実施</p> <p>7・21 「破壊活動防止法」公布</p> <p>8・08 「義務教育費国庫負担法」公布</p> <p>10・5 第 3 回岡山県教育委員選挙</p> <p>10・14 日本 P T A 全国協議会結成</p>

	<p>11・1 津山市教育委員会発足 椋代誠一 初代教育長に就任(~29.9.30)</p> <p>11・21 沼弥生住居跡の調査を開始</p>	<p>11・1 岡山県市町村教育委員会発足(単独 275 , 一部事務組合 20 , 学校組合 98 , 計 393)</p> <p>11・20 全国高等学校 P T A 協議会</p> <p>12・16 「まきび荘」開所</p>
<p>昭和 28 年 (1953 年)</p>	<p>1・ 成人式開催</p> <p>4・01 私立東幼稚園を津山市立東幼稚園と改称</p> <p>5・01 鶴山球技場を設置</p> <p>11・3 神戸公会堂に作楽丘幼稚園を開園 < 5.院 庄幼稚園 ></p>	<p>2・01 N H K テレビ本放送開始</p> <p>4・01 尾坂鶴夫 県教育長に就任</p> <p>5・01 16 教育事務所を 10 教育事務所に統合</p> <p>8・08 「学校図書館法」「理科教育振興法」公布</p> <p>8・05 「学校教育法」改正公布(教科書検定権者 は文部大臣となる)</p> <p>8・27 「公立学校施設費国庫負担法」「危険校舎 改築促進臨時措置法」公布</p> <p>・学校教育法施行規則一部改正(職業指導主 事制度化)</p> <p>・幼稚園のための指導書、音楽リズム編刊 行。</p>
<p>昭和 29 年 (1954 年)</p>	<p>1・ 成人式開催</p> <p>1・ 大崎村立大崎幼稚園設立 < 4.大崎幼稚園 ></p> <p>2・ 南中学校 中校舎新築</p> <p>3・ 南中学校 北校舎新築</p> <p>4・01 福岡小学校を廃止し、南小学校を開校</p> <p>4・ 私立鶴山幼稚園設立 < 6.鶴山幼稚園 ></p> <p>7・01 田邑村、一宮村、高田村、神庭村、高倉村、 高野村、河辺村、大崎村、広野村、滝尾村 の 10 箇村を津山市へ編入(人口 80,616 人)。それぞれの教育委員会を津山市教育 委員会に吸収統合</p> <p>7・01 教育委員会事務局を庶務、学校教育、社会 教育の 3 課設置</p> <p>7・01 津山市立田邑小学校と改称</p> <p>7・01 津山市立一宮小学校と改称</p> <p>7・01 津山市立高田小学校と改称</p> <p>7・01 津山市立清泉小学校と改称</p> <p>7・01 津山市立高倉小学校と改称</p> <p>7・01 津山市立高野小学校と改称</p> <p>7・01 津山市立成名小学校と改称</p> <p>7・01 津山市立河辺小学校と改称</p> <p>7・01 津山市立大崎小学校と改称</p> <p>7・01 津山市立広野小学校と改称</p> <p>7・01 津山市立田邑中学校と改称</p> <p>7・01 津山市立共和中学校と改称</p>	<p>1・18 中教審「教育の政治的中立性維持に関する 答申」</p> <p>4・30 文部省、社会科改訂学習指導要領の大綱発 表</p> <p>6・01 「へき地教育振興法」「盲学校、聾学校及 び養護学校への就学奨励に関する法律」公 布</p> <p>6・03 「義務教育諸学校における教育の政治的中 立の確保に関する臨時措置法」「教育公務 員特例法の一部を改正する法律」(いわゆ る教育二法)公布</p> <p>6・03 学校給食法公布</p> <p>・「幼稚園教育要領案」発表</p>

	<p>7・01 津山市立鴨川中学校と改称</p> <p>7・01 津山市立国分寺中学校と改称</p> <p>7・01 白鷺高等学校(定時制)と津山高等学校中山分校(定時制)を統合、津山市立高等学校(定時制)(現津山東高等学校)開校</p> <p>7・01 津山市警察署(自治警)廃止</p> <p>7・ 一宮小学校統合校舎竣工</p> <p>9・ 津山養老院を横山に新築移転、津山ときわ園と改称</p> <p>10・1 下山練 第2代教育長に就任(~31.9.30)</p> <p>12・13 岸本昌 第10代市長に就任</p> <p>12・ 頃安義家 教育委員に就任(当選、~31.9.30)</p>	
昭和 30 年 (1955 年)	<p>1・ 成人式開催</p> <p>4・01 勝北町檜を津山市に編入</p> <p>4・ 滝尾幼稚園設立<10.清泉幼稚園></p> <p>4・ 河辺幼稚園設立<3.河辺幼稚園></p> <p>4・30 山本方之助 教育委員に就任(当選、~31.9.31)</p> <p>4・ 難波重勇 教育委員に就任(議会選出、~30.8.31)</p> <p>6・01 勝央町堂尾・池ヶ原を津山市に編入</p> <p>7・05 津山市文化財保護条例、同保護委員会規則を制定</p> <p>7・ 津山市立動物園を鶴山公園内に開設</p> <p>8・31 川端克己 教育委員に就任(議会選出、~31.9.30)</p> <p>9・04 井上義夫 第11代市長に就任</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「広報つやま」第1号を発刊 ・ 沼住居跡を復元 	<p>2・11 文部省 小・中学校社会科改訂を公表</p> <p>4・01 岡山県立栄養短期大学開校</p> <p>8・05 「女子教育職員の産前産後の休暇中における学校教育の正常な実施の確保に関する法律」公布</p> <p>8・08 日本学校給食会法公布</p> <p>10・1 国勢調査(津山市人口 80,883 人)</p> <p>12・10 第1回岡山県教育映画祭開催</p> <p>12・19 「原子力基本法」公布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 津山市連合町内会発足
昭和 31 年 (1956 年)	<p>1・15 成人式開催</p> <p>1・20 津山市内小学校の新入学児童は総数 2,033 名</p> <p>3・15 市内 8 中学校の卒業式が行われ 1,731 名が卒業</p> <p>3・30 高野神社の隨身像(藤原末期の彫刻)2 体、重要文化財に指定</p> <p>4・ 河辺幼稚園が津山市立河辺幼稚園と改称</p> <p>4・ 綾部幼稚園設立<10.清泉幼稚園></p> <p>4・ 村立大崎幼稚園が津山市合併により津山市立大崎幼稚園と改称</p>	<p>3・30 「就学困難な児童及び生徒に係わる就学奨励についての国の援助に関する法律」公布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文部省「幼稚園教育要領」刊行 <p>6・01 教育庁機構改組(5 課)。教育事務所を 4 か所とし、専任所長を配置</p> <p>6・14 「公立養護学校整備特別措置法」公布</p> <p>6・30 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(地教法)公布</p> <p>9・26 県 新教育委員 6 名任命</p> <p>9・28 文部省、全国抽出学力調査を初めて実施</p> <p>10・11 井上陸太郎 県教育長に就任</p>

	<p>4・08 市内 21 小学校の入学式の開催</p> <p>4・23 中山神社のお田植え祭り</p> <p>4・27 市体協は国体の柔・剣・体の三種目誘致を決め、屋内体操場の実現運動を開始</p> <p>4・30 東中学校第 3 期建築</p> <p>5・ 高田幼稚園設立<9.高田幼稚園></p> <p>5・10 市内小学校で泉熱患者集団発生</p> <p>5・27 東大教授福田邦三博士、箕作元甫の孫坪井誠太郎東大名誉教授らが来津、郷土館を訪問</p> <p>6・05 井上市長病気のため辞表提出、7 日死去、10 日市葬の実施</p> <p>6・17 市文化財保護委員から衆楽公園、住居跡など 9 カ所を市文化財に指定を答申</p> <p>6・20 第一校の特殊学級が開設</p> <p>7・23 額田雄治郎 第 12 代市長に就任</p> <p>8・04 津山名物花火大会開催（数万人の出入）</p> <p>8・16 全日本教職員バレーボール大会開催（19 日まで、金沢優勝）</p> <p>8・17 台風 9 号襲来、被害甚大</p> <p>9・ 教育委員総辞職</p> <p>9・23 新教育委員 5 名任命</p> <p>10・1 地教行法施行に伴い、任命制教育委員会発足 大山伊都子（1 年委員、～36.9.30）、垣谷猛（2 年委員、～37.9.30）、萬代嘉三（3 年委員、～34.9.30）、宮本祥郎（4 年委員、～37.3.31）、下山練（4 年委員、～44.4.1）の 5 名が教育委員就任</p> <p>10・1 下山練 第 2 代教育長に引き続き就任（～44.4.1）</p> <p>10・16 津山高校檜高下校舎から午後 8 時頃出火、南校舎 1 棟 6 教室全焼、原因不明</p> <p>10・16 秋祭り（23 日まで）</p> <p>11・3 市文化功労者 杉山、中尾、山本、清田の 4 氏表彰</p> <p>・ 小沼敬三郎、中島琢之を名誉市民に推挙</p>	<p>12・13 文部省「幼稚園設置基準」制定</p> <p>12・18 国際連合総会 日本の加盟承認</p>
<p>昭和 32 年 （1957 年）</p>	<p>1・08 津山市立高等学校が林田の新校舎に移転</p> <p>1・ 成人式開催</p> <p>4・ 作楽ヶ丘幼児園が津山市立院庄幼稚園と改称</p>	<p>1・25 全国市町村教育委員会連合会結成</p> <p>1・29 南極観測隊オングル島上陸（昭和基地）</p> <p>3・19 岡山県庁舎、岡山市内山下に新築落成（教育庁 7 月に 8 階に設置）</p>

	<p>6・ 成名幼稚園開設<11.成名幼稚園></p> <p>6・2 津山市観光協会設立総会開催</p>	<p>5・20 「盲学校、聾学校及び養護学校の幼稚部及び高等部における学校給食に関する法律」公布</p> <p>6・24 岡山県教育広報協会発足</p> <p>7・09 岡山県総合文化センター - 設置</p> <p>8・13 文部省 勤務評定実施通達</p> <p>9・12 岡山県民主教育協議会発足</p> <p>10・1 (財)岡山県学校給食会設立</p> <p>10・4 ソ連人工衛星スプ・トニク打ち上げ成功</p>
昭和 33 年 (1958 年)	<p>1・13 世界連邦平和都市宣言</p> <p>1・ 成人式開催</p> <p>2・ 市教委 爆発事故続発に危険玩具禁止の注意を喚起</p> <p>3・31 津山市立高等学校の中山・白鷺校舎を廃止 ・ 市庁舎新館が落成</p> <p>5・20 市役所分庁舎完成</p> <p>7・27 津山海洋少年団全国大会競技で第1位</p> <p>8・09 津山花火大会開催</p> <p>10・20 津山市制 30 周年記念式を北中学校で挙 行、同夜全市に提灯行列</p> <p>10・21 津山まつり開催</p>	<p>1・31 米人工衛星打ち上げ成功</p> <p>2・14 公立学校共済組合岡山宿泊所「まきび荘」 竣工(6・11開館)</p> <p>4・10 「学校保険法」公布</p> <p>5・01 「公立義務教育諸学校の学級編成及び教職 員定数の標準に関する法律」公布</p> <p>5・01 山陽放送テレビ本放送開始</p> <p>5・06 県立学校職員の勤務成績の評定に関する 規程制定(岡山県)</p> <p>6・01 (財)岡山県学校安全会設立(昭和 61.3 日 本体育・学校保健センター岡山県支部に改 称)</p> <p>6・30 岡山県小学校体育連盟設立</p> <p>7・09 校長に管理職手当支給</p> <p>8・28 文部省 小・中学校学習指導要領道徳編告 示</p> <p>10・1 文部省 小・中学校学習指導要領告示</p> <p>10・1 教員の勤務評定実施</p> <p>11・3 岡山県教育委員会発足 10 周年記念式</p>
昭和 34 年 (1959 年)	<p>1・ 成人式開催</p> <p>3・26 名誉市民 森本慶三、杉山宇三郎</p> <p>4・01 津山市立田邑中学校を津山市立西中学校 に統合</p> <p>4・ 田邑幼稚園開設<7.田邑幼稚園></p> <p>4・18 作州各中学・小学校にプラスバンド編成、 津山市に集まって 1,300 人による鼓笛バン ドの市中行進を実施</p> <p>5・23 県体育祭津山会場盛大に開催(参加者 3,000 人)</p> <p>7・03 美作地区教育委員研修会が津山高校山下 校舎で開催</p> <p>7・26 第 9 回全国海洋少年団大会で津山海洋少</p>	<p>1・10 NHK 教育テレビ本放送開始</p> <p>2・06 岡山県文化賞授与規定改正(文化奨励賞を 加える)</p> <p>4・01 岡山県へき地教育研究連盟設立</p> <p>4・30 社会教育法の一部改正(市町村に社会教育 主事を必置、社会教育への補助禁止規定の 廃止等)</p> <p>9・14 ソ連宇宙ロケット月面到着</p> <p>10・ 岡山県教育研修所への長期研修員制度導 入</p> <p>10・7 野崎正衛 県教育長に就任</p> <p>12・17 「日本学校安全会法」公布</p>

	<p>年団が総合優勝</p> <p>8・09 津山花火大会開催（8日開催が雨のため1日延期）</p> <p>11・3 第1回美作地区中学校野球大会開催</p> <p>11・3 津山市 春名藤平、苅田与禄を表彰</p> <p>12・25 飯田洋二 教育委員就任（～38.12.24）</p>	
昭和 35 年 (1960 年)	<p>1・15 成人式開催（900人）</p> <p>1・27 第3回県下学校給食研究協議大会が南小学校で開催</p> <p>1・27 市小学校統合第4, 第5試案追加発表</p> <p>2・13 北中学校教室開き（県下一を誇る）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園の教育年限が1年、2年となる。 <p>4・ 私立鶴山幼稚園が津山市立鶴山幼稚園と改称</p> <p>7・01 NHK、山陽テレビ中継局予備免許</p> <p>7・01 一宮小学校体育館落成式</p> <p>7・22 額田雄治郎 第13代市長に就任</p> <p>8・01 花火大会盛況</p> <p>8・08 津山海洋少年団 全国大会で3年連続優勝</p> <p>9・01 NHK、RSK両テレビ中継所本放送開始</p> <p>9・01 国体サッカー会場、津山と久世に決定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園教育指導書 言語編刊行 <p>3・01 日本学校安全会発足</p> <p>4・01 日本学校安全会岡山県支部発足</p> <p>4・01 教頭に管理職手当支給</p> <p>4・26 川上亀義 県教育長に就任</p> <p>4・30 ソニートランジスタテレビを初発売</p> <p>9・10 カラーテレビ本放送開始</p> <p>10・1 国勢調査(津山市人口78,549人)</p> <p>11・5 第1回岡山県民主教育研究大会開催</p>
昭和 36 年 (1961 年)	<p>1・13 成人式開催（1,050人）</p> <p>3・01 津山ひかり学園開園</p> <p>3・01 集団風邪ひろがり休校、学級閉鎖続出</p> <p>4・01 津山さくら祭り開幕、</p> <p>4・ 津山市補導センターを開設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市営プールが完成 <p>5・10 市営プール開き</p> <p>7・20 市営プール一般有料開放</p> <p>7・30 自動式電話開通（明治41年以来の手動式電話にお別れ）</p> <p>8・02 全日本学生体操選手権大会、入場式、前夜祭で開幕（津商、北中）</p> <p>8・04 体操選手権大会に高松宮ご来津</p> <p>8・05 津山花火大会開催</p> <p>9・15 台風18号で吉井川氾濫し被害甚大</p> <p>10・26 中学校2・3年生 5教科、学力テスト、混乱なく実施</p> <p>11・6 市教委 関係地区の代表を招き学校統合の意見聴取</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園教育指導書 健康編、自然編刊行 <p>4・01 県立養護学校開校（小学部）</p> <p>4・01 小学校教育課程の改訂の実施</p> <p>4・12 ソ連、ポスト・クー号打ち上げに成功、人類初の有人宇宙飛行</p> <p>5・01 教育庁機構改組（6課）</p> <p>6・12 「農業基本法」公布</p> <p>6・16 スポーツ振興法公布</p> <p>10・26 文部省 中学校2・3年生全員対象に5教科につき、初めて全国一斉学力調査を実施</p>

	<p>12・5 市教委 中央部学校統合案明示 北小(第一小と苫田校)、東小(第二小と中道校) 審議会承認</p> <p>12・25 定例市議会、学校統合案、原案通り決議 (第一と苫田、第二と中道校)</p>	
昭和 37 年 (1962 年)	<p>1・06 郷土作家・藤原審爾原作「秋津温泉」映画化のため、松竹岡田茉莉子さん、吉田喜重監督、津山出身の樋口潔制作部長ら 2 日にわたるロケハン後、津山で市長と懇談 地元協力を依頼</p> <p>1・ 成人式開催</p> <p>3・12 安全都市宣言</p> <p>3・30 文化財専門審議会津山城跡の国指定決定</p> <p>4・ 運動公園を山北に設置</p> <p>4・ 田邑幼稚園が津山市立田邑幼稚園と改称</p> <p>4・01 ひかり学園内に特殊学級設置</p> <p>4・01 江原滋 教育委員就任(~39.9.30)</p> <p>4・08 「秋津温泉」春のロケ、津山市内で開始(12日津山ロケ終了)</p> <p>4・22 二宮校、創立 40 周年記念式開催</p> <p>4・30 国体実行委総会開催</p> <p>5・28 俳人西東三鬼、西寺町浄洞寺で納骨式</p> <p>6・22 第一校移転反対問題、県教委のり出し市教委と三者会談。現想論と現位置論平行し結論出ず</p> <p>6・26 市議会で第一校統合めぐる論議に焦点しぼられる。統合移築は議会の決議を尊重。</p> <p>7・07 木村もと子 教育委員に就任(~41.6.30)</p> <p>7・07 市議会 学校統合の議決を臨時議会に持ち込み全議案を議決。校名、8月1日より北、東、西小学校に変更</p> <p>7・12 国体まであと 100 日</p> <p>7・22 津山模擬国体・全国選抜蹴球戦開幕</p> <p>8・01 津山第一小学校と津山市立苫田小学校を統合し、津山市立北小学校発足</p> <p>8・01 津山第二小学校と津山中道小学校を統合し、津山市立東小学校発足</p> <p>8・01 津山市立第三小学校の名称を津山市立西小学校と改称</p> <p>津山市立の東・西・南・北小学校が実現</p>	<p>3・31 義務教育諸学校の教科用図書の無償に関する法律公布</p> <p>4・01 県立岡山養護学校に中学部を設置</p> <p>4・01 中学校教育課程の改訂の実施</p> <p>5・10 「新産業都市建設促進法」公布</p> <p>6・14 岡山県総合文化センター新館、現在地に開館</p> <p>7・11 全国小・中学校一斉学力調査実施</p> <p>9・08 地方公務員共催組合法公布</p> <p>9・16 第 17 回国体夏季大会・岡山県で開催</p> <p>10・21 第 17 回国体秋季大会・岡山県で開催</p> <p>11・7 学制 90 年式典を挙行</p>

	<p>8・01 花火大会開催</p> <p>8・16 吉井川二宮の浅瀬で大きな骨の化石(ヒゲクジラ)西中学校の生徒が発見</p> <p>8・20 市内川崎の六ツ塚古墳発掘終了</p> <p>9・16 国体協賛の合同演奏と市中パレード</p> <p>10・10 文部省、津山を含む全国17カ所の国立高専候補地決定</p> <p>10・14 国体旗津山から鏡野町をすぎ真庭路へ</p> <p>10・16 ライオンズクラブの寄贈で駅前に石造住居跡</p> <p>10・18 津山まつり開幕</p> <p>10・21 第17回国民体育大会秋季大会開催(津山市開催種目体操、サッカー、バレーボール競技)</p> <p>10・22 国体、作州で津山市7会場、久世1会場で蹴球、バレーボール、体操開幕 午後1時11分、天皇、皇后両陛下津山駅へご到着。酪農試験場から市営グラウンド・サッカー会場へ</p> <p>10・24 三笠宮ご夫妻おそろいでご来津</p> <p>10・26 国体閉幕、天皇、皇后杯とも2位、津山の国体選手宿泊は至れり尽くせりで好評</p> <p>10・26 東大高井教授ら二宮の化石を調査、2,500万年前のヒゲクジラの類、化石として整った状態での発見は日本で初めての談話発表</p> <p>11・01 津山市教育委員会発足10周年</p> <p>11・18 ヒゲクジラ発掘開始(25日発掘終了)</p> <p>12・17 吉井川の大型化石、正式名称「津山化石」と決定</p> <p>12・25 西下止夫 教育委員就任(~49.12.24)</p>	
<p>昭和38年 (1963年)</p>	<p>1・15 成人式開催(1,100人)</p> <p>2・11 郷土作家棟田博氏の「拝啓天皇陛下様」口ケハン来津</p> <p>4・01 教育委員会事務局機構を3課6係(庶務課 庶務係・管理係、学校教育課 学事係・指導係、社会教育課 社会教育係・体育係)とする</p> <p>4・20 津山高専で開校式と入学式挙行</p> <p>4・24 津山高専敷地に5世紀ごろの古墳、文化財委調査</p>	<p>・ 幼稚園教育振興計画発表</p> <p>1・01 鉄腕アトム放送開始</p> <p>4・01 教育庁機構改組(7課)</p> <p>4・01 岡山県教育研修所に岡山県理科教育センター付置</p> <p>4・01 国立津山工業高等専門学校開校</p> <p>10・26 原子力発電試験運転開始</p> <p>11・16 初の能研テスト実施</p> <p>12・21 公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律の一部改正(養</p>

	<p>7・17 津山高専敷地内の住居跡、2,000 年前のたて穴と 3 つの土器発掘</p> <p>10・19 岡山県スポーツ祭、津山市営グラウンドで開催</p> <p>11・3 津山科学教育博物館開館</p> <p>11・3 第 1 回津山音楽祭開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 南小学校・平良第一小学校と姉妹校縁組 ・ 鶴山公園が国の重要文化財に指定 	<p>護学校を同法適用範囲に加える、小学校及び中学校の 1 学級児童生徒数を最高 45 人とする等)</p> <p>12・21 義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律公布</p>
昭和 39 年 (1964 年)	<p>1・ 成人式開催</p> <p>3・28 上横野分校を高田小学校に統合</p> <p>3・30 児島健 教育委員就任(~42.3.31)</p> <p>4・ 佐良山幼稚園設立<8.佐良山幼稚園></p> <p>7・22 額田雄治郎 第 14 代市長に就任</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北小学校統合校舎が竣工 <p>12・26 真屋猪一郎 教育委員就任(~47.12.25)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 名誉市民 美土路昌一、谷口久吉、石田一郎、和田義一 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文部省「幼稚園教育要領」を改訂 <p>1・19 日教組・日高教合同教研全国集会、岡山市で開催</p> <p>4・01 岡山理科大学開校</p> <p>4・28 日本、OECD に加盟</p> <p>7・22 FOS 少年団岡山県連盟結成</p> <p>10・1 東海道新幹線東京～新大阪間開通</p> <p>10・10 東京オリンピック大会開催(24 日閉会)</p>
昭和 40 年 (1965 年)	<p>1・ 成人式開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東小学校統合校舎が竣工、開校記念式典を挙げる <p>3・15 沖縄県平良市と姉妹都市縁組を締結</p> <p>3・ 鶴山幼稚園新築</p> <p>4・ 佐良山幼稚園が津山市立佐良山幼稚園と改称</p> <p>4・10 第 2 回津山さくら祭り 津山高校体育館で開催</p> <p>6・ みのり学園誕生(二宮中仙の丘)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海洋少年団全国大会開催。皇太子殿下ご出席 ・ 南小学校の二期校舎建築始まる ・ 高田小学校の本館改築開始 <p>12.25 津山文化センター竣工</p>	<p>1・11 中教審「期待される人間像」中間草案発表</p> <p>4・01 岡山県青少年教育センター閑谷学校開所</p> <p>4・01 岡山商科大学開校</p> <p>10・1 国勢調査(津山市人口 76,007 人)</p> <p>10・21 朝永振一郎ノベル物理学賞受賞</p>
昭和 41 年 (1966 年)	<p>1・11 文化センター開館</p> <p>1・ 成人式開催</p> <p>3・31 津山市立高等学校が県に移管され、県立津山東高等学校として開校</p> <p>4・ 福南小学校を南小学校へ吸収統合</p> <p>4・01 中央公民館を中道小学校跡に開設</p> <p>4・01 津山さくらまつり開幕</p> <p>4・16 第 3 回さくらまつり開催</p> <p>4・25 文化センターに本郷新氏のブロンズ像「鳥</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文部省「幼稚園教育 90 周年記念式典」挙行。 <p>4・01 作陽音楽大学開校</p> <p>6・25 「国民祝日法」改正</p> <p>6・30 ビ・トルズ日本武道館で公演</p> <p>8・05 第 4 回日本ジャンボリーを日本原で開催、中央会場に 3 万人そろろう(～8.9 まで)</p>

	<p>をだく女」建立</p> <p>8・07 ジャンボリーに皇太子ご夫妻初の作州路へ</p> <p>8・09 第16回海洋少年団全国大会（北海道小樽市）で津山団総合優勝</p> <p>10・22 南中学校科学クラブに仁科賞</p> <p>11・20 南小学校校舎落成式挙</p> <p>12・22 那須修二 教育委員就任（～49.12.21）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 二宮市民プールが竣工 ・ 名誉市民 真栄城徳松（平良市長） 	
昭和 42 年 （1967 年）	<p>1・ 成人式開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 名誉市民 清田寂担 	<p>1・13 「建国記念日の日について」通達（建国記念日の取り扱いは学習指導要領の定めるところによる）</p> <p>2・11 初の建国記念の日</p> <p>3・24 岡山県青少年保護育成条例公布</p> <p>4・01 美作女子大学開校</p> <p>5・01 中央隣保館を開館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 津山保育園を新築 <p>8・01 地方公務員災害補償法公布</p>
昭和 43 年 （1968 年）	<p>1・05 南小学校の沖縄訪問団 21 人が姉妹校の平良小学校に出発</p> <p>1・ 成人式開催（1,830 人）</p> <p>1・24 沖縄宮古島の平良第一小学校から親善視察団が津山の姉妹校南小学校を訪問</p> <p>4・01 垂井寛一郎 教育委員就任（～51.3.31）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高田保育園が津山市立高田幼稚園と改称 <p>4・07 常陸宮ご夫妻がご来津</p> <p>4・08 津山市内の 18 小学校で入学式挙、新入学児は 1,018 人</p> <p>5・01 多湖昭彦さん 新すい星を発見「多湖すい星」として世界天文界に登録</p> <p>7・22 生末敏夫 第 15 代市長に就任</p> <p>10・18 津山の秋まつり開催 だんじり、山車総出動という豪華さ（23 日まで）</p>	<p>4・02 篠井孝夫 県教育長に就任</p> <p>6・15 東大安田講堂占拠、この年大学紛争拡大</p> <p>7・11 文部省 小学校学習指導要領告示</p> <p>10・17 川端康成ノ・ベル文学賞受賞</p> <p>10・23 明治百年記念式典</p> <p>11・1 県教育委員会発足 20 周年記念式</p>
昭和 44 年 （1969 年）	<p>1・15 成人式開催（1,850 人）</p> <p>2・11 津山市制 40 周年記念式</p> <p>2・15 市議会で向陽小学校新設決定</p> <p>3・ 西小学校校舎改修、第二期工事完成</p> <p>4・01 二宮小学校と田邑小学校が統合、津山市立向陽小学校と改称。二宮、田邑校舎により発足（明治 7 年 4 月田邑村立田邑小学創立、</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市制施行 40 周年記念 <p>4・01 県教育次長を 2 人制とする</p> <p>4・14 文部省 中学校学習指導要領告示</p> <p>7・10 同和対策事業特別措置法告示</p> <p>7・20 米アポロ 11 号月面着陸成功</p> <p>8・01 岡山県教育職員互助組合、財団法人として認可</p>

	<p>明治7年9月二宮村立二宮小学創立、明治20年5月二宮村・院庄村組合立双松小学校創立、大正11年4月二宮村立二宮小学校創立)</p> <ul style="list-style-type: none"> 滝尾幼稚園・綾部幼稚園を統合し津山市立清泉幼稚園開園 <p>4・01 津山さくら祭り開幕</p> <p>4・01 市消防創立20周年記念式挙行</p> <p>4・02 木村岩治 教育委員就任(~53.6.1)</p> <p>4・02 木村岩治 第3代教育長就任(~53.6.1)</p> <p>4・18 市制40周年記念式、木村毅氏に市文化章</p> <p>8・03 海洋少年団全国大会(呉市)で津山団優勝</p> <p>10・8 ホタル幼虫40万匹宮川へ放流</p> <p>11・1 津山サッカー場完成</p> <ul style="list-style-type: none"> 長野県飯田市と市制提携 	
昭和45年 (1970年)	<p>1・15 成人式開催</p> <p>3・15 スポーツセンター野球場完成、球場開き</p> <p>3・28 津山スポーツセンター野球場完成記念、巨人-阪急戦開催(25,000人入場)</p> <p>4・01 津山科学教育歴史館開館式</p> <p>4・ 成名幼稚園が津山市立成名幼稚園と改称</p> <p>5・31 消防署新庁舎が落成</p> <p>6・20 人口ホタル、宮川に育たず、加茂川流域に変更</p> <p>9・01 スポーツセンター・サッカー場完成、10月完工式</p> <p>11・3 市文化章 土居源一、石名善積</p> <p>11・12 みのり学園5周年記念</p>	<p>3・14 大阪で万国博覧会開幕</p> <p>4・01 県教育庁機構改組(8課)</p> <p>4・01 川崎医科大学開校</p> <p>4・24 過疎地域対策緊急措置法公布</p> <p>5・06 著作権法公布(保護期間50年となる)</p> <p>10・1 国勢調査(津山市人口76,368人)</p> <p>10・31 岡山武道館落成</p> <p>11・1 岡山武道館開館</p>
昭和46年 (1971年)	<p>1・15 成人式開催(1,520人)</p> <p>2・11 津山市制記念日に49氏と2団体表彰</p> <p>3・08 県文化章 日原晃(画家)</p> <p>3・14 二宮小学校、50年の校舎に別れ惜しむ会</p> <p>3・16 二宮・田邑小学校がお別れ卒業式</p> <p>3・31 津山市立向陽小学校田邑校舎、本校へ移転廃校</p> <p>4・01 津山市立向陽小学校実質統合、新築移転(二宮)</p> <p>4・ なかよし幼稚園・さくら幼稚園を統合し津山市立二宮幼稚園を設立<12.二宮幼稚園> 囑託園長、田邑幼稚園と兼任</p>	<p>1・20 学習指導要領社会科編の一部改訂により公害教育を重視</p> <p>2・27 文部省 小・中学校学習指導要領の一部改正告示(公害教育方針の明確化)</p> <p>3・13 文部省 盲学校、聾学校、養護学校小学部・中学部学習指導要領告示</p> <p>4・01 小野啓三 県教育長に就任</p> <p>4・01 県立誕生寺養護学校開校</p> <p>4・01 小学校新教育課程の完全実施</p> <p>6・12 就職差別撤廃のための応募書類の統一書式を採用</p> <p>6・17 沖縄返還協定調印</p> <p>7・01 岡山県立博物館開館</p>

	<p>4・ 津山市立成名幼稚園と改称</p> <p>6・19 市体協会長に小野雄三氏</p> <p>7・27 海洋少年団全国大会（新潟市）で津山団 5 年連続優勝</p> <p>8・04 台風 19 号来襲、市内の被害大</p> <p>8・26 市民憲章を制定</p> <p>10・18 津山まつり開幕</p> <p>10・19 市文化章 定久寿元、光井貞八</p> <p>11・1 県教育功労賞 江見正、畦高義正、津山商校 地域住民賞 高野生活学校他</p> <p>11・24 中学校統合説明会開始</p>	<p>7・01 環境庁設置</p> <p>9・18 日清食品がカップヌ - ドルを発売</p> <p>12・1 岡山県海事研修所を廃止し、岡山県渋川青年の家とする</p>
<p>昭和 47 年 (1972 年)</p>	<p>1・15 成人式開催（1,347 人）</p> <p>2・11 市制記念日に個人 24 氏、3 団体表彰</p> <p>2・24 市内山方、昭和池のほとりに黒姫の歌碑建立</p> <p>3・31 津山市史第一巻を発刊する。</p> <p>4・03 森公入封 370 年祭開催</p> <p>4・09 美作国府跡の発掘調査終了</p> <p>4・15 市民憲章発表会（文化センター）</p> <p>6・05 山三保子選手ミュンヘンオリンピック出場決定</p> <p>7・22 生末敏夫 第 16 代市長就任</p> <p>7・21 4 校統合の東部第一中学校、押入川崎台地に決定</p> <p>7・27 海洋少年団全国大会で津山団連続 6 年優勝</p> <p>9・22 津山市立中学校統合整備計画により 7 中学校を廃止し新たに 4 中学校を設置</p> <p>10・10 スポーツ振興都市宣言を発表</p> <p>11・1 津山市教育委員会発足 20 周年</p> <p>11・3 市文化章 棟田博氏</p> <p>12・26 武岡英夫 教育委員就任（～55.12.25）</p> <p>・ 鶴山通りが完成</p>	<p>・ 「幼稚園就園奨励費補助金」の交付</p> <p>2・03 札幌オリンピック開幕</p> <p>2・19 浅間山荘事件</p> <p>3・26 高松塚古墳壁画発見</p> <p>3・27 県立岡山聾学校、岡山市土田に移転</p> <p>4・01 県教育庁機構改組（8 課 1 室）、岡山県教育庁民主教育指導室発足</p> <p>5・15 沖縄の施政権返還</p> <p>6・16 理科教育振興法改正（算数・数学教育を振興の対象に加える）</p> <p>9・09 学制発布百年記念行事開催</p> <p>9・29 日中共同声明調印</p> <p>10・5 文部省 学制 100 年記念式典</p> <p>12・3 岡山県教育塔完成</p>
<p>昭和 48 年 (1973 年)</p>	<p>1・ 成人式開催</p> <p>3・31 津山市史第三巻を発刊</p> <p>・ 専任園長が配置 本務専任・・・中央幼稚園・鶴山幼稚園 本務兼任・・・二宮幼稚園・田邑幼稚園 嘱託専任・・・東幼稚園 小学校と兼任・・・西幼稚園・河辺幼稚園・大</p>	<p>2・12 円変動相場制移行</p> <p>4・01 岡山県教育センター開所（県教育研修所、県理科教育センターを統合）</p> <p>5・17 学校保健法施行規則改正（定期健康診断の充実）</p> <p>7・20 教育職員免許法改正（教員資格認定試験制度の創設等）</p>

	<p>崎幼稚園・院庄幼稚園・佐良山幼稚園 高田幼稚園・清泉幼稚園・成名幼稚園</p> <p>4・01 津山さくらまつり開幕</p> <p>6・16 美作洋学資料展開催</p> <p>7・22 津山花火大会 10年ぶりに開催</p>	<p>10・23 江崎玲於奈ノ - ベル物理学賞受賞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文部省、教育課程審議会発足
<p>昭和 49 年 (1974 年)</p>	<p>1・15 成人式開催 (1,193 人)</p> <p>3・31 津山市史第五巻を発刊</p> <p>4・ 東幼稚園新築</p> <p>12・6 箕作邸国指定史跡に決定</p> <p>12・25 保田英生 教育委員就任(~57.12.24)</p> <p>12・25 清田寂圃 教育委員就任(~57.12.24)</p>	<p>2・25 学校教育の水準の維持向上のための義務教育諸学校の教育職員の人材確保に関する特別処置法公布</p> <p>4・01 県教育庁機構改組 (9 課)</p> <p>4・01 岡山県学校給食総合センター開所</p> <p>5・15 初のコンビニエンスストア開店</p> <p>5・27 教頭法制化法案成立</p> <p>6・01 学校教育法一部改正公布 (教頭職法制化等)</p> <p>7・01 在宅心身障害児訪問指導員制度発足</p> <p>9・01 岡山県教委 法制化された教頭発令</p> <p>11・25 佐藤栄作ノ - ベル平和賞決定</p> <p>12・21 中国縦貫自動車道美作～落合間開通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この年、高校進学率 90%を超える(岡山県 94・8%) ・ 「教育職員人材確保法」公布(給与改善)
<p>昭和 50 年 (1975 年)</p>	<p>1・ 成人式開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 津山市立幼稚園 P T A 連絡協議会が結成 	<p>1・24 日教組・日高教合同教研集会、岡山市で開催</p> <p>7・01 文化財保護法改正 (埋蔵文化財保護制度の整備等 10・1 施行)</p> <p>7・ 県立森林公園の開園式</p> <p>7・11 「義務教育諸学校等の女子教育職員及び医療施設、社会福祉施設等の看護婦、保母等の育児休業に関する法律」公布</p> <p>10・1 国勢調査(津山市人口 79,907 人)</p> <p>10・15 文部省 小・中・高校に主任制度新設の方針発表</p> <p>10・16 中国縦貫自動車道吹田～落合間開通</p> <p>11・1 津山～大阪間にハイウェイバス運行開始</p> <p>12・26 学校教育法施行規則一部改正 (主任制度化 51.3.1 施行)</p>
<p>昭和 51 年 (1976 年)</p>	<p>1・ 成人式開催</p> <p>4・01 津山市立津山東中学校創設 <1. 津山東中学校 > (「津山市中学校統合整備計画」に基づき、鴨川・国分寺中学校と東中学校(林田区)の</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「幼稚園教育百年記念式典」を挙(東京) <p>2・10 学校給食法施行規則改正 米飯給食を取り入れる</p> <p>2・24 岡山県文化財保護審議会の設置</p> <p>3・01 主任制度化のための学校教育法施行規則</p>

	<p>3校が統合)</p> <p>4・01 津山市立北陵中学校創設<3.北陵中学校 > (共和中学校と東中学校の一部と北中学校 の一部とが統合)</p> <ul style="list-style-type: none"> 東苫田民族資料館が開館 東部運動公園を設置 <p>4・01 産賀靖弘 教育委員就任(~63.3.31)</p> <p>4・28 津山市の旧東中学校校舎1棟、木造2階建 て1,100㎡が全焼</p> <p>5・05 林田小学校給食室全焼</p> <p>7・22 生未敏夫 第17代市長に就任</p> <ul style="list-style-type: none"> 津山市立幼稚園PTA連絡協議会が国・県 幼稚園PTA連絡協議会に加入 <p>8・07 津山花火大会開催(5万人)</p> <p>9・ 佐良山幼稚園新築</p> <ul style="list-style-type: none"> 岡山県津山総合体育館が竣工 名誉市民 松田藤子 	<p>一部改正実施</p> <p>4・01 学校給食に米飯を導入(岡山県)</p> <p>4・01 岡山県立吉備路郷土館設置</p> <p>6・26 文部省 「学校体育施設開放事業の推進に ついて」通知</p> <p>9・01 岡山県 主任制発足</p> <p>9・07 文部省 業者テストへの安易な依存の自 粛を通達</p>
昭和 52 年 (1977 年)	<p>1・01 津山市史第二巻を発刊</p> <p>1・08 岡山県津山総合体育館を開館</p> <p>1・ 成人式開催</p> <p>4・15 箕作元甫邸を修復開館</p> <p>8・01 全国高等学校総合体育大会が津山市でも 開催</p> <p>8・02 皇太子ご夫妻と浩宮様来津</p> <p>8・07 津山花火大会開催(5万人)</p>	<p>2・23 日本初の静止衛星「きく二号」打ち上げ</p> <p>3・26 岡山県教育研究協議会「高校入試5教科、 昭和54年以降」答申</p> <p>4・12 国立少年自然の家、岡山県に創設決定</p> <p>6・16 岡山県青少年保護育成条例公布</p> <p>7・23 文部省 小・中学校学習指導要領告示(小 学校は55年度、中学校は56年度から実 施)、「君が代」を国歌と規程</p>
昭和 53 年 (1978 年)	<p>1・ 成人式開催</p> <p>3・ 二宮幼稚園新築</p> <p>3・19 津山洋学資料館開館</p> <ul style="list-style-type: none"> 市立図書館開館 市立中央児童館設立 <p>4・01 津山市立鶴山中学校創設<4.鶴山中学校 > (主として北中学校と南中学校の2校が統 合)</p> <p>4・01 津山市立津山西中学校創設<5.津山西中 学校> (西中学校と南中学校の一部が統合)</p> <p>4・ 津山市中央公民館開設</p> <ul style="list-style-type: none"> 佐良山幼稚園に専任園長(囑託)が配置 <p>6・17 福島祐一 第4代教育長に就任(~平成元</p>	<p>5・01 「まきび会館」開館(岡山県)</p> <p>5・20 新東京国際空港開港</p> <p>6・01 佐藤章一 県教育長に就任</p> <p>10・10 瀬戸大橋工事起工式</p> <p>11・1 県教育委員会制度発足30周年記念式</p>

	<p>年.6.30)</p> <p>8・05 花火大会(5万人)</p> <p>10・20 史跡整備全国大会、津山市で開催(21日まで)</p> <p>10・23 津山市文化功労者 川端克己(29人目)</p> <p>11・4 市内沼、弥生住居跡が焼失</p> <p>11・29 中央公園のナイター設備完成</p>	
昭和 54 年 (1979 年)	<p>1・15 成人式開催</p> <p>2・11 市制 50 周年、市の木「くすのき」、市の花「さつき」を制定</p> <ul style="list-style-type: none"> 津山市制 50 周年記念式を挙行 青少年健全育成都市宣言 専任園長 8 園配置になる。 本務専任・・・東幼稚園・河辺幼稚園 本務兼任・・・西幼稚園・中央幼稚園 嘱託専任・・・鶴山幼稚園・佐良山幼稚園 嘱託兼任・・・二宮幼稚園と田邑幼稚園 小学校と兼任・・・大崎幼稚園・院庄幼稚園・高田幼稚園・清泉幼稚園・成名幼稚園 <p>4・01 津山さくらまつり開幕</p> <p>8・12 第 1 回津山納涼まつりを開催(13日まで、6万人)</p> <p>10・17 市制 50 周年津山まつり開幕、だんじり 19 台、山車 5 台出動(5万人)</p>	<p>1・17 第二次石油危機</p> <p>3・15 岡山県高校入試 11 年ぶりに 5 教科で実施</p> <p>6・12 「元号法」公布</p> <p>10・19 台風 20 号来襲、津山市・柵原町など吉井川流域に被害甚大</p> <p>11・1 米飯給食全市町村に導入</p>
昭和 55 年 (1980 年)	<p>1・ 成人式開催</p> <p>1・ 田邑幼稚園新築</p> <p>4・ 成名幼稚園新築</p> <p>7・22 生末敏夫 第 18 代市長に就任</p> <p>12・26 松本喜三郎 教育委員就任(~63.12.25)</p> <ul style="list-style-type: none"> 箕作賞の制定 「情緒の教室」西小学校に開設 	<p>2・29 文部省 小・中指導要録の様式を改訂、「参考案」として発表(通達)</p> <p>8・ 75 年ぶりの記録的な冷夏</p> <p>10・1 国勢調査(津山市人口 83,136 人)</p> <p>11・25 文部省「児童生徒の非行の防止について」通知、校内暴力の増加に対応</p>
昭和 56 年 (1981 年)	<p>1・01 津山市人口 82,520 人</p> <p>1・15 成人式開催(1,189 人)</p> <p>1・21 市功労・善行表彰、個人 22 人、3 団体表彰</p> <p>2・ 美作国分尼寺、文様かわらの出土で創建 8 世紀の中期とわかる</p> <p>2・ お城山冠木門復元工事完成</p> <p>2・ 宇田川一門の自筆など展示で津山洋学資料館充実</p> <p>2・ 市立幼稚園授業料、市議会で新年度より 17.4% 値上げ決定</p>	<p>4・01 教育センター教育相談部の設置</p> <p>4・27 岡山県幼少中高 P T A 連絡協議会発足</p> <p>6・11 中教審「生涯教育について」答申</p> <p>10・1 「常用漢字表」内閣告示・内閣訓令</p> <p>10・19 福井謙一 ノ - ベル化学賞受賞</p>

	<p>3・31 津山市史第六巻を発刊</p> <p>4・01 津山市立鶴山小学校開校<6.鶴山小学校></p> <p>4・01 津山市立弥生小学校開校<7.弥生小学校></p> <p>4・01 津山さくらまつり開幕</p> <p>4・ 津山市民憲章推協 10 周年市中パレードや講演会開催</p> <p>7・28 島根県出雲市、長崎県諫早市と 3 市友好交流都市提携</p> <p>8・01 岡山県津山婦人青年の家設置</p> <p>8・08 津山市納涼まつり開催(9 日まで、7 万 5 千人)</p> <p>10・17 津山まつり開幕</p> <p>12・2 美作国分尼寺発掘調査終了</p>	
昭和 57 年 (1982 年)	<p>1・15 成人式開催</p> <p>2・01 津山総合文化公園建設プロジェクトチーム編成</p> <p>2・11 市政功労者表彰(個人 17 人、4 団体)</p> <p>3・11 津山洋学資料館特別展・旧藩医久原家資料(~5.9)</p> <p>3・17 津山市院庄に西部体育館完成</p> <p>4・01 さくらまつり開幕</p> <p>4・ 高田幼稚園新築</p> <p>4・19 障害者福祉都市に指定</p> <p>6・30 新市庁舎が完成</p> <p>7・23 津山市総合福祉会館が完成</p> <p>7・26 新市庁舎落成式</p> <p>7・30 議場で閉庁式が行われ、50 年の幕を閉じた</p> <p>7・30 旧庁舎に総合文化公園建設事務所開設準備室設立</p> <p>8・02 新市庁舎開庁式</p> <p>8・07 総合福祉会館落成式</p> <p>8・07 津山納涼まつり</p> <p>8・08 津山、久米に集中豪雨、佐良山地区に大きな被害</p> <p>8・27 台風 13 号県北に被害</p> <p>9・29 美和山古墳の整備</p> <p>10・1 総合文化公園建設事務所開設</p> <p>10・1 文化振興事業基金を設置</p>	<p>4・01 県教育庁機構改組(9 課 1 室)</p> <p>8・09 第 37 回国民体育大会中国地区大会(ミニ国体)の開催</p>

	<p>10・4 古代の奇獣パレオパラドキシアの化石を西中学校3年、水杉和弥君が津山市上田邑で発見、京大教授亀井教授ら確認</p> <p>10・16 たたら研究全国大会開催(～17日)</p> <p>10・21 津山まつりに合わせ、赤穂義士・神崎与五郎の歌碑をゆかりの徳守神社に建立</p> <p>11・1 津山市教育委員会発足30周年</p> <p>11・3 津山市功労者 森本謙三氏、今岡太郎氏</p> <p>12・25 赤木美枝子 教育委員就任(～平成2.12.24)</p> <p>12・25 橋本勝之助 教育委員就任(～平成2.12.24)</p>	
<p>昭和 58 年 (1983 年)</p>	<p>1・ 成人式開催</p> <p>1・21 津山市立図書館が旧庁舎に移転オープン</p> <p>2・11 市政功労者表彰(個人17人)</p> <p>2・26 津山スポーツ振興基金を設置</p> <p>3・11 氷河時代の植物「ミツガシワ」が環境変化のため作州の山野から消えつつあることが判明</p> <p>3・14 中国縦貫自動車道が全線開通(吹田～下関間)</p> <p>4・01 津山さくらまつり開幕</p> <p>4・23 黒沢山自然公園完成</p> <p>4・25 永礼達造 第19代市長に就任</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校との兼任が解消され、全園専任園長が配属 本務専任・・・東幼稚園 本務兼任・・・鶴山幼稚園と高田幼稚園、河辺幼稚園と大崎幼稚園、清泉幼稚園と成名幼稚園 嘱託兼任・・・西幼稚園と中央幼稚園、二宮幼稚園と田邑幼稚園、佐良山幼稚園と院庄幼稚園 <p>5・18 鶴山公園を中心とした総合文化公園の整備計画作成</p> <p>8・08 津山納涼まつり開幕(6万5千人)</p> <p>9・30 津山市草加部緑山遺跡で7世紀前半全国初の地下構造製鉄炉跡が出土</p> <p>10・15 津山市文化功労者 中島堅吉氏、木村岩治氏</p> <p>10・25 親子20分間読書活動の向陽小学校が学</p>	<p>3・10 文部省「校内暴力等児童生徒の問題行動に対する指導の徹底について」通知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文部省「幼稚園における心身障害をもつ幼児の指導事例集」刊行 <p>4・01 岡山県教委、民主教育を同和教育に名称変更</p> <p>6・30 中教審「教科書の在り方について」答申</p> <p>7・16 宮地暢夫 県教育長に就任</p> <p>10・22 国立吉備少年自然の家開所</p> <p>12・10 中曽根首相「教育改革七つの構想」発表</p>

	<p>研教育賞受賞</p> <p>11・5 市文化功労者の表彰式開催</p> <p>11・8 津山市上横野で津山箔合紙を作る落合光夫さんが伝統工芸品産業功労者に決定</p> <p>12・3 津山市中学校整備諮問委は中学校 2 校の増設を答申することを決定</p> <p>12・17 津山市沼の市重文の復元弥生式住居が全焼、53年に続いて2度目の火災</p> <p>・ 人権尊重都市宣言</p>	
昭和 59 年 (1984 年)	<p>1・ 成人式開催</p> <p>2・28 新設中学校の位置選定や学区を審議する新設中学校整備協議会委員の初会合が開催</p> <p>3・01 「歴史の窓」の除幕式挙行(市内二宮の国道179号線改良工事で見つかった第3期層を一部学習用に見学できるようにとしたもの)</p> <p>3・05 津山県域中学校生徒指導連絡協議会結成、広域化する少年非行に対処するため(津山・久米・勝英警察所管内の各中学校校長、生徒指導担当者、補導関係者)</p> <p>4・01 津山さくらまつり開幕</p> <p>6・04 市内沼・弥生の里オープン、津山市が環境整備工事</p> <p>8・04 津山納涼まつり開幕(~5日、8万人)</p> <p>9・06 津山国際総合音楽祭準備委員会発足、62年秋に第1回開催を目指す</p> <p>10・21 津山まつり開幕</p> <p>10・25 教育相談センター鶴山塾開設 藤原修己初代塾長に就任</p> <p>10・27 津山市文化功労者 松岡三樹(市史編纂委員)、牧野弘典(津山みのり学園長)</p> <p>11・24 学校給食調理員間で多発している「指曲がり病」の実態調査を岡大医学部医師らが実施</p> <p>11・27 市内河辺に赤穂浪士・茅野勘平の碑が完成</p> <p>・ 弥生の里整備、高床倉庫・竪穴住居復元</p>	<p>1・31 岡山県下に記録的な大雪(津山 25 cm)</p> <p>4・01 県教育庁機構改組(1室9課1室)</p> <p>6・22 岡山県教委「同和教育基本方針」決定</p> <p>8・08 臨時教育審議会設置法公布</p> <p>8・08 猛暑(津山 35.2 度 C)</p> <p>8・21 臨時教育審議会発足</p> <p>11・1 岡山県古代吉備文化財センター - 設置</p> <p>11・20 産業教育百年記念式典開催</p> <p>12・4 岡山県産業教育百年記念式典開催</p>
昭和 60 年 (1985 年)	<p>1・ 成人式開催</p> <p>1・26 鶴山塾の相談協力員の初研修会開催(市民128人参加)</p>	<p>3・17 つくば科学万博開幕</p> <p>4・ 「燃える岡山」県民運動スタート</p> <p>4・01 N T T・J T 発足</p>

	<p>2・04 新設中学校の建設予定地が旧中道小学校跡地に決定</p> <p>3・27 津山市高野神社の木造狛犬が岡山県の文化財に指定</p> <p>4・01 津山さくらまつり開幕</p> <p>4・07 香川県土庄町と歴史友好都市縁組の調印式</p> <p>4・17 津山松平藩の大番頭・黒田家から鎧・兜など16点が津山郷土館に寄贈</p> <p>5・12 津山海洋少年団の結団30周年記念式典開催、新カッター「よしい二世」進水</p> <p>5・17 津山市大篠埋蔵文化財調査委員会は、向林遺跡の発掘調査を気球で遺跡の写真撮影</p> <p>5・25 津山納涼まつりの中心テーマに「ごんご」(カッパ)が決定</p> <p>6・06 津山市二宮・みのり学園20周年記念式典挙行</p> <p>6・21 津山スポーツ振興財団の財団法人移行が認可</p> <p>7・05 ごんごまつりのイラストとテーマソングの「ロンリーごんご」決定</p> <p>8・03 津山納涼まつり開幕(約7万人)</p> <p>9・13 津山市勝部に建設予定の新設中学校の起工式が挙行</p> <p>10・10 津山市民スポーツ祭開催(12,000人)</p> <p>10・27 市立図書館開館10周年記念の図書館まつり開催</p> <p>11・29 新設中学校の校名が「中道中学校」に決定</p> <p>12・6 「人の輪、音の輪」をテーマにした津山国際音楽祭の開催内容が決定</p>	<p>5・17 「男女雇用機会均等法」成立</p> <p>6・29 文部省「児童生徒のいじめの問題に関する指導の充実について」通知</p> <p>8・12 日航ジャンボ機墜落520人死亡4人生還</p> <p>8・20 文部省 学校施設における木材使用の促進について通知</p> <p>10・1 国勢調査(津山市人口86,837人)</p> <p>10・1 岡山県教育委員会公文書公開(試行)の実施</p> <p>11・ 岡山県幼稚園百周年記念大会を岡山衛生会館三木記念ホールにて開催</p>
<p>昭和 61 年 (1986 年)</p>	<p>1・15 成人式開催(1,053人)</p> <p>1・29 市政功労者表彰(個人16人、5団体)</p> <p>3・17 市教委中道中学校の学区告示</p> <p>4・01 津山市立中道中学校創設 <2. 中道中学校> (東中学校及び北陵中学校の通学区域のそれぞれ一部を分離して、新たに中道中学校の通学区域を制定)</p> <p>4・03 市教委文化課内に津山市民史センター設置</p>	<p>2・18 西日本記録的な大雪</p> <p>4・28 チェルノブイリ原発事故</p>

	<p>4・03 津山洋学資料館長に水田楽男就任</p> <p>4・04 中道中学校完成(創設)</p> <p>4・05 津山さくらまつり開幕(~20日、10万人突破)</p> <p>4・07 新設・中道中学校始業式</p> <p>4・20 鶴山中学校創意工夫育成功労学校として科学技術庁長官表彰受賞</p> <p>5・09 津山市皿地区から古代の掘立柱が出土</p> <p>6・02 オランダ総領事来津、洋学資料館見学</p> <p>6・17 いじめ対策会議開催(16中学校)</p> <p>7・01 神楽尾城跡、市史跡指定</p> <p>8・01 全国高校総体バレーボール、津山で開催</p> <p>8・02 津山納涼まつり開幕(~3日、10万人)</p> <p>8・08 「津山市民史」推進協発足</p> <p>10・10 つやま市民スポーツ祭開催(12,000人)</p> <p>10・18 津山市文化功労者 日原晃氏、柴田和夫氏</p> <p>10・20 津山まつり開幕</p> <p>10・22 市民憲章全国大会開幕(350人参加)</p> <p>10・23 旧市庁舎跡、郷土博物館にイメージ新、常設展示構想決定</p> <p>11・26 元大庄屋大谷家より江戸~明治の津山日記など郷土館へ200点寄贈</p> <p>12・8 美作国府発掘調査始まる、丸ガワラなど出土</p> <p>12・22 瓜生原大畑1号墳から最古の「鉄塊」出土</p>	
<p>昭和 62 年 (1987 年)</p>	<p>1・15 成人式開催(980人)</p> <p>2・11 市政功労者・善行者表彰(個人36人、1団体)</p> <p>3・04 駐日オランダ大使夫妻来津、津山洋学資料館などを視察</p> <p>4・05 津山さくらまつり開幕</p> <p>4・26 永礼達造 第20代市長に就任</p> <p>8・01 津山納涼まつり開幕(~2日、11万人)</p> <p>9・19 津山国際総合音楽祭開幕(以下3年ごとに開催)</p> <p>10・10 つやま市民スポーツ祭開催(12,000人)</p> <p>10・16 津山市文化功労者 宮本祥郎氏</p> <p>10・19 津山まつり開幕</p> <p>10・21 津山市瓜生原の柳谷古墳から銀象眼のは</p>	<p>1・ 教職員四週六休の試行実施</p> <p>4・01 初任者研修の試行実施</p> <p>国鉄分割民営化、JR発足</p> <p>4・05 教職員四週五休制の実施</p> <p>8・21 第42回国民体育大会中国地区大会(ミニ国体)の開催</p> <p>9・30 国土庁基準地価公表、首都圏の地下高騰</p> <p>10・12 利根川進 ノーベル医学・生理学賞受賞</p>

	いった鉄製の頭椎と把頭が出土	
昭和 63 年 (1988 年)	1・15 成人式開催(1,140 人) 2・11 市政功労者・善行者表彰(個人 15 人、7 団体) 3・28 津山朝日新聞 2 万号、明治 43 年創刊、大正 8 年から題号「津山朝日」に 4・01 牧野弘典 教育委員就任(~平成 4.12.19) 4・02 津山郷土博物館開館、森、松平家の子孫が来津してテープカット 4・05 津山さくらまつり開幕(~20 日、9 万 2 千人) 5・15 津山国際交流車いす駅伝競走大会を開催(国内外 20 チーム)(平成 10 年を除き毎年開催) 8・06 ごんごまつり開催(~7 日、12 万人) 9・30 津山まつりが天皇陛下のご病気のため中止されることが決定 10・1 生涯学習モデル市町村に指定された津山市で、美作地区生涯学習推進大会開催 12・2 友好交流都市縁組結成の津山、出雲、諫早 3 市の「まちづくりサミット」が津山市で開催 12・26 熱田章 教育委員就任(~H2.12.25)	3・11 新岡山空港開港 3・13 青函トンネル開通 3・18 岡山県立美術館開館 4・01 竹内康夫 県教育長に就任 4・10 瀬戸大橋開通 5・31 教育公務員特例法及び地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律公布(初任者研修制度化、平成元年 4 月から実施) 11・1 県教育委員会制度発足 40 周年記念式 12・28 教育職員免許法改正(免許状の種類、取得必要単位数等の改正) ・ 文部省「幼稚園教育要領」を改訂の告示(教育課程の改訂)
平成元年 (1989 年)	2・11 津山市制 60 周年記念式典開催 3・08 津山市南新座・旧郷土館がコミュニティー施設「知新館」として開館 3・22 津山市は市制 60 周年記念広場を「音の広場」と命名 4・02 津山さくらまつり開幕 ・ 岡山県津山東体育館落成 ・ 大崎幼稚園新築 7・01 萩原賢二 第 5 代教育長就任(~H3.6.25) 10・17 津山市文化功労賞 井上龍氏、影山太郎氏 10・23 津山まつりフィナーレ 10・25 岡山県は、津山市城東町並み保存地区を「町並み保存地区」に指定 11・11 沖縄・平第一小学校の児童が姉妹校縁組みを結んでいる南小学校を訪問 11・12 出雲街道 NOW in 津山(城東編)開幕 11・19 第 2 回津山国際交流車いす駅伝競走大会開催(国内外 22 チーム参加)	1・07 昭和天皇崩御 1・08 平成と改元 3・15 新しい幼稚園教育要領、小・中・高校の学習指導要領告示 4・ 初任者研修 小学校で本格実施 4・01 土曜閉庁(第 2・4 土曜日)、教職員 4 週 6 休制の実施 消費税スタ - ト 8・20 全国中学校選抜体育大会の開催 11・9 ベルリンの壁崩壊 12・22 岡山県スポーツ振興財団の設立

<p>平成 2 年 (1990 年)</p>	<p>1・15 成人式開催(1,183 人) 2・11 津山市市政功労者・善行者表彰(個人 42 人、4 団体) 3・ 3 津山幼児音楽祭開催(毎年開催) 3・04 津山市と姉妹・友好都市縁組をしている平良市、出雲市、諫早市と津山市人形劇団が「90 津山人形劇フェスティバル」を開催 4・01 津山さくらまつり開幕 5・19 津山市民憲章制定記念式典・音楽祭開催 6・02 津山歴史民族館・茶道特別展で展示中の千利休ゆかりの品など 43 点盗難事件発生 7・01 津山朝日新聞社創刊 80 周年 7・07 津山っ子を守り育てる市民の会発足 7・17 市教委が津山城本丸跡の遺構調査開始 8・04 第 12 回津山納涼ごんごまつり開催(10 万人) 9・01 旧梶村家を修理・復元した「城東むかし町家」開館 9・16 「音の城まつり」開催、津山城天守閣跡に風船「一夜城」がお目見え 9・19 第 2 回津山国際総合音楽祭開幕(6 日間) 10・10 つやま市民スポーツ祭開催(1 万 2 千人) 10・13 津山市の児童、生徒が友好都市・諫早、出雲市の児童生徒とテレビ電話会議を行い交流 10・21 津山まつり開幕、奴行列、徳守神社の大みこし、だんじり 23 台出動 11・ 1 津山弥生の里文化財センター開館 11・11 出雲街道津山城東むかし町開催(3 万人) 11・18 第 3 回津山国際交流車いす駅伝競走大会開催(国内外 23 チーム) 12・25 鍋島英夫 教育委員就任(~H10.12.24) 12・25 阿部靖子 教育委員就任(~H6.12.24)</p>	<p>1・13 大学入試センター試験始まる 3・27 日教組 教育研究全国大会 岡山武道館を中心に開催 9・22 台風 19 号災害、教育施設にも大きな被害 10・1 国勢調査(津山市人口 89,400 人) 11・12 今上天皇即位の礼</p>
<p>平成 3 年 (1991 年)</p>	<p>1・15 成人式開催(1,259 人) 2・11 市政功労者表彰(個人 20 人、3 団体) 3・31 津山さくらまつり開幕 4・02 津山郷土博物館所蔵の袈裟禪文銅鐸が県重要文化財に指定 4・26 永礼達造氏 第 21 代市長に就任 4・ 東小学校・津山中央病院教室(院内学級)開</p>	<p>3・27 県学校不適応対策会議 第 1 年次報告 3・30 岡山県教育史(昭和 31~50 年)発刊 4・01 県教育振興室を廃止し、生涯学習振興室を設置 4・01 院内学級県下で初めて設置(倉敷市、津山市) 4・ 初任者研修、高校でも本格的に実施</p>

	<p>設</p> <p>7・12 森定貞雄 第6代教育長就任(~H4.9.30)</p> <p>8・03 津山納涼ごんごまつり開幕(~4日)</p> <p>9・15 「音の城まつり'91」開催(7千人)</p> <p>9・16 岡山国際交流フェスティバル'91 津山公演開催</p> <p>10・10 つやま市民スポーツ祭開催(1万人)</p> <p>10・11 津山市文化功労者発表(2人)</p> <p>10・19 津山まつり開幕(~20日)</p> <p>11・17 第4回津山国際車いす駅伝競走大会開催(27チーム)</p> <p>11・30 津山市民憲章制定20周年記念式典・音楽会開催</p>	<p>4・17 岡山県青少年教育センター閑谷学校新館完成</p> <p>6・03 岡山~ソウル間に大韓航空定期便就航 雲仙岳で火砕流発生</p> <p>9・27 台風19号災害、教育施設・文化財に大きな被害</p>
平成4年 (1992年)	<p>1・15 成人式開催(1,314人)</p> <p>1・27 津山市一宮・中山神社の社そうを郷土自然保護地区に指定</p> <p>4・05 出雲街道さくら吹雪「津山城東むかし町」開幕、さくらまつり開催(2万人)</p> <p>4・05 西東三鬼を顕彰する全国俳句大会開催</p> <p>4・11 津山城東むかし町と出雲街道まつり開催(~12日、8万人)</p> <p>5・07 津山市・田熊八幡神社の算額、津山洋学資料館が市指定重要文化財指定</p> <p>8・01 津山納涼ごんごまつり開幕(~2日、11万人)</p> <p>9・13 音の城まつり開催、原寸大「冠木門」復元</p> <p>10・1 藤原修己 第7代教育長就任(~H8.9.30)</p> <p>11・1 津山市教育委員会発足40周年</p> <p>11・15 第5回津山国際交流車いす駅伝競走大会開催(国内外29チーム)</p> <p>11・28 洋学史学会全国大会が津山市で開催(~29日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交通安全都市宣言 ・ 津山文化振興財団が発足 	<p>1・11 作陽音楽大学・美作女子大学、センタ - 試験会場になる</p> <p>3・19 県学校不適応対策会議 第2年次報告</p> <p>3・23 学校教育法施行規則改正(9月から毎月第2土曜日を公立学校の休業日に)</p> <p>4・ 小学校で新学習指導要領全面实施 初任者研修全校種で本格実施</p> <p>6・15 国連平和維持活動(PKO)協力法成立</p> <p>7・ 教職員の完全週休2日制スタート</p> <p>9・12 学校週5日制 国公立幼稚園・小・中・高校・盲・聾・養護学校でスタート 毎月第2土曜日が休日に 「9.12キャンペーン」を展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本人初宇宙飛行士毛利衛搭乗のスペースシャトルエンデバ - 打ち上げ
平成5年 (1993年)	<p>1・15 成人式開催(1,316人)</p> <p>2・11 市政功労者表彰(個人27人、2団体)</p> <p>4・01 後藤起 教育委員就任(~H8.3.31)</p> <p>4・04 津山さくらまつり開幕(1万2千人)(~15日、10万人突破)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作州城東屋敷が開館 <p>4・27 津山圏域が地方拠点都市地域に指定</p>	<p>1・28 学校教育法施行規則改正(障害児の通級指導の充実)</p> <p>2・22 文部省事務次官通知で業者テストの締め出しを正式に決定</p> <p>4・ 中学校で新学習指導要領全面实施 公立中学校の業者テスト廃止</p> <p>4・01 森崎岩之助 県教育長に就任</p>

	<p>6・10 俳句文学賞「西東三鬼賞」創設</p> <p>7・23 初の津山子ども議会開催</p> <p>8・07 津山納涼ごんごまつり開幕(~8日)</p> <p>9・03 「作州民芸館」が開館(西今町、旧土居銀行跡)</p> <p>9・18 第3回津山国際総合音楽祭開幕(~26日)</p> <p>9・21 南小学校で沖縄県平良第一小学校との姉妹校縁組み30周年記念式典開催</p> <p>10・17 津山まつり開幕(~24日)</p> <p>11・7 出雲街道「津山城東むかし町」が開催(3万人)</p> <p>11・21 第6回津山国際車いす駅伝競走大会開催</p>	<p>5・15 Jリ - グ開幕</p> <p>6・09 皇太子ご成婚</p> <p>7・21 魅力ある学校づくり事業(岡山県)</p> <p>8・30 岡山県教委 岡山県立高等学校入学者選抜制度検討委員会を設置</p> <p>10・ 米の作況指数が戦後最悪の74となる。緊急輸入実施</p>
平成6年 (1994年)	<p>1・15 成人式開催(1,330人)</p> <p>2・02 市教委は津山城400年記念事業を2004年に開催を決定</p> <p>4・01 津山さくらまつり開幕(~13日、10万人突破)</p> <p>4・01 第1回西東三鬼賞表彰式開催</p> <p>4・24 岡山県津山陸上競技場落成</p> <p>5・16 市教委は荒神山城址と森長継逆修塔を重要文化財に指定</p> <p>5・25 津山市内の一部小学校で市教委へ授業時間短縮の虚偽報告判明</p> <p>5・26 北小学校で5年の男子児童が運動用具で首つり状態になり重体事故発生</p> <p>8・06 津山納涼ごんごまつり開幕(~7日、10万5千人)</p> <p>8・20 津山市の全小学校のプール給水が渇水のため停止</p> <p>9・11 音の城まつり'94開催(7千人)</p> <p>10・9 '94市民総合音楽祭開幕</p> <p>10・16 津山まつり開幕(~23日)</p> <p>10・25 津山市文化功労者 苅田與</p> <p>10・25 鶴山塾開塾10周年記念大会開催(~26日)</p> <p>11・6 出雲街道「津山城東むかし町」開催(3万人)</p> <p>11・6 津山市二宮・美和山古墳公園が開園</p> <p>11・20 第7回津山国際交流車いす駅伝競走大会開催(31チーム)</p> <p>12・1 場外リンク・津山陸上競技場アイススケートリンク開場</p>	<p>3・17 「岡山県の生涯学習推進の指針」策定</p> <p>3・29 「児童の権利に関する条約」国会で批准(5.22発効)</p> <p>6・ 観測史上最高の気温、特に西日本では異常渇水</p> <p>10・13 大江健三郎ノ - ベル文学賞受賞</p> <p>11・4 岡山県産業教育110年記念式典開催</p> <p>11・24 学校教育法施行規則の一部改正(学校週5日制、次年度から月2回実施)</p> <p>12・9 文部省、いじめ対策緊急会議を開きアピールを発表</p>

	12・25 横川寿美子 教育委員就任(~H12.3.31)	
平成 7 年 (1995 年)	<p>1・15 成人式開催(1,317 人)</p> <p>2・11 市政功労者表彰式開催(個人 15 人、2 団体)</p> <p>3・01 西東三鬼賞選定</p> <p>3・28 津山高校本館が県重要文化財に指定</p> <p>4・01 津山さくらまつり開幕</p> <p>4・26 中尾嘉伸 第 22 代市長に就任</p> <p>8・02 全国高校総体空手道競技が津山市で開催(~4 日)</p> <p>8・05 津山納涼ごんごまつり開催(~6 日、10 万 5 千人)</p> <p>9・10 音の城まつり'95 開催(5 千人)</p> <p>10・15 津山まつり開幕(~23 日)</p> <p>10・16 岐阜県兼山町と歴史友好都市縁組の調印式が兼山町で開催</p> <p>10・19 津山市文化功労者 杉山卓氏、竹久順一氏、河野磐氏</p> <p>10・20 津山高校の本館が国の重要文化財に指定</p> <p>10・ 第 1 回津山市立幼稚園合同保育「ワイワイまつり」開催(毎年開催)</p> <p>11・5 津山城東むかし町開催(4 万人)</p> <p>11・16 文化庁移動芸術祭歌舞伎公演開催</p> <p>11・19 第 8 回津山国際交流車いす駅伝競走大会開催</p> <p>12・21 映画「男はつらいよ」第 48 作の完成試写会が開催</p> <p>12・22 津山市教委は「いじめ問題市民会議」を発足、市民から提言を募集</p>	<p>1・17 阪神淡路大震災発生</p> <p>3・08 職業教育活性化方策に関する調査研究会議の最終報告「スペシャリストへの道」を出す</p> <p>3・13 いじめ対策緊急会議報告「いじめの問題の解決のために当面取るべき方策について」(文部省初中局長通知)</p> <p>3・20 地下鉄サリン事件発生</p> <p>4・ 月 2 回の学校週 5 日制スタート 第 2・4 土曜日が休日に</p> <p>4・ 臨床心理士の活用などいじめ・学校不応対策を推進</p> <p>7・26 文部省初等中等教育・生涯学習両局長通知「いじめの問題に関する総合的な取組について」</p> <p>11・1 「新食糧法」施行</p> <p>・ 国勢調査(津山市人口 91,170 人)</p> <p>12・15 文部省初等中等局長通知「いじめ問題への取組の徹底について」</p>
平成 8 年 (1996 年)	<p>1・15 成人式開催(1,284 人)</p> <p>1・26 秀実小学校所蔵で戦前世界最高といわれたドイツ・ベヒシュタインのピアノの修復が終わり、音色がよみがえる</p> <p>2・11 市政功労者表彰式開催(個人 22 人、2 団体)</p> <p>2・26 津山城整備委員会発足</p> <p>3・01 第 3 回西東三鬼賞決定</p> <p>4・01 松尾康義 教育委員就任(~H16.3.31)</p> <p>4・01 津山さくらまつり開幕</p> <p>4・01 衆楽園で「曲水の宴」を模した俳句会開催</p> <p>6・10 市教委は妙願寺の板戸壁画、中島の佐良山碑を市文化財に指定</p> <p>7・16 津山市教委と私塾経営者との懇談会開催</p>	<p>1・30 文部大臣緊急アピール「かけがいのない子どもの命を守るために」</p> <p>5・28 病原性大腸菌 O - 157 による集団食中毒発生(岡山県)</p>

	<p>8・03 津山納涼ごんごまつり開幕(~4日、約10万人)</p> <p>9・22 津山城西まるごと博物館フェア開幕(~23日)</p> <p>10・1 松尾康義 第8代教育長就任(~16.3.31)</p> <p>10・1 小林 正 教育委員就任(~16.9.30)</p> <p>10・15 津山市文化功労者 山形弘氏(画家)、水田榮男氏(前津山洋学資料館館長)</p> <p>10・20 津山まつり開幕(~27日)</p> <p>11・17 津山国際交流車いす駅伝競走大会開催(30チーム、有森裕子さんも声援を送る)</p> <p>11・22 第4回津山国際総合音楽祭開幕(~12月1日、マーラーの交響曲第九番演奏)</p> <p>・ 津山いきいきプラン21(津山市第3次総合計画)策定</p>	
平成9年 (1997年)	<p>1・15 成人式開催(1,265人)</p> <p>2・11 市政功労者表彰(個人12人、1団体)</p> <p>2・18 鶴山公園内の鐘楼の全面改築工事の上棟式開催</p> <p>2・21 南小学校と姉妹縁組を結んでいる沖縄県の平良第一小学校の訪問団が来津、交流会開催</p> <p>2・21 国の文化財構造物に城東むかし町家と作州民芸館が選定</p> <p>3・24 市教委は大隅神社本殿、白加美神社社殿・隨身門・多賀神社社殿の2件を市重要文化財指定</p> <p>4・01 津山さくらまつり開幕</p> <p>4・07 院内学級が津山中央病院に開設、入院中の男女2名が授業を受ける</p> <p>4・10 衆楽園で曲水の宴を模した俳句会開催</p> <p>4・21 津山市立図書館が業務管理に電算処理開始</p> <p>6・15 第32回交通安全子ども自転車岡山県大会で津山北小学校チームが優勝、市内初の快挙</p> <p>7・15 市教委などは「津山っ子かけこみ110番」設置を決定</p> <p>8・02 第19回津山納涼ごんごまつり開幕(~3日、10万人)</p> <p>8・ 東小学校校舎大規模改修(3年次)</p>	<p>1・01 生涯学習センター設置(2.21オープン)</p> <p>4・01 黒瀬定生 県教育長に就任</p> <p>4・01 県教育庁組織の改編整備 学校教育振興室の設置など</p> <p>6・02 岡山県生涯学習推進本部設置</p> <p>6・03 学校図書館法改正案成立 2003年度までに司書教諭全校配置へ</p> <p>6・11 教員免許特例法成立 小中教員免許取得に介護体験を義務付ける</p> <p>8・19 岡山県生涯学習審議会設置</p> <p>10・15 県立学校ホムペ-ジを開設(岡山県)</p> <p>10・30 有害化学物質排出問題で学校焼却炉の原則廃止を通知</p> <p>11・17 ダイオキシン対策で学校焼却炉使用停止</p>

	<p>9・20 津山城西まるごと博物館フェア開催(~21日)</p> <p>10・10 第26回つやま市民スポーツ祭・市民憲章デー26周年合同祭典開催</p> <p>10・13 全国地域安全運動にあわせ、「こどもかけこみ110番」の想定訓練を津山鶴山小学校区内で実施</p> <p>10・19 津山まつり開幕</p> <p>10・29 津山市北町・幕末の藩医・宇田川興斎旧宅跡地に顕彰案内板設置</p> <p>11・2 第8回出雲街道「城東むかし町」開催(2万人)</p> <p>11・16 第10回津山国際交流車いす駅伝開催(外国6,国内21チーム参加)</p> <p>12・13 津山市沼・弥生住居2棟でカヤぶき屋根の取り替え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オランダ・ライデン市で、津田真道と西周の顕彰プレート設置の除幕式が行われる ・ ふれあいプラン(津山市障害者計画)策定 	
<p>平成10年 (1998年)</p>	<p>1・15 成人式開催(1,063人)</p> <p>1・16 市政功労者発表(個人17人、4団体)</p> <p>3・02 市教委が「第5回西東三鬼賞」発表</p> <p>3・16 県教委が津山郷土博物館の「紙本墨画淡彩江戸一目図屏風」を重要文化財に指定</p> <p>4・01 肢体不自由学級新設(中道中学校)</p> <p>4・01 津山さくらまつり開幕</p> <p>7・17 津山基督教図書館、知新館が国の文化財建造物に登録</p> <p>7・21 いきいき津山事業 中学生の保育園ボランティア開催</p> <p>7・24 市教委は津山城跡の本丸の備中櫓の復元をメインとした史跡津山城跡保存整備計画・第一期事業の内容を発表</p> <p>8・01 津山納涼ごんごまつり開催(~2日、12万5千人)</p> <p>8・04 市教委は徳守神社神輿、白加美神社絵図面を市の重要文化財に指定</p> <p>9・13 第9回音の城まつり開催</p> <p>9・15 '98市民総合音楽祭開催</p> <p>9・19 津山城西まるごと博物館フェア'98開催</p>	<p>2・10 県教委 ナイフ犯罪で緊急会議 所持品検査は各校判断</p> <p>2・24 文部省 完全学校週5日制、2002年から実施 1年前倒し方針</p> <p>3・24 バタフライナイフなど2種類 県が5月1日有害刃物に指定</p> <p>6・05 学校教育法改正案が成立 公立学校で中高一貫教育が導入可能に</p> <p>6・ 教育相談スタッフ巡回事業の開始</p> <p>10・13 岡山県情報ハイウェイ整備・全県立学校がインタ-ネットに接続</p> <p>10・18 台風10号により教育関係施設に多大な被害</p> <p>10・30 県教育委員会制度発足50周年式典</p> <p>10・30 県教育委員会発足50周年記念誌「岡山県教育委員会五十年の歩み」発刊</p> <p>12・14 文部省 幼稚園教育要領、小学校学習指導要領及び中学校学習指導要領を告示 幼稚園平成12年度、小中学校平成14年度から全面实施</p>

	<p>(~20、2万人)</p> <p>10・10 つやま市民スポーツ祭開催</p> <p>10・11 子ども議会が津山市議会議場で開催</p> <p>10・13 津山市文化功労表彰者 故・小山健三氏</p> <p>10・17 台風10号による集中豪雨で、土砂くずれや浸水被害が相次ぎ大損害を受ける(~18日)</p> <p>11・30 県北初の都市型公園「グリーンヒルズ津山」オープン</p> <p>12・25 竹本 巧 教育委員就任(~18.12.24)</p>	
平成 11 年 (1999 年)	<p>1・13 市教委が清眼寺の「絹本著色仏涅槃図」など3件を市重要文化財に指定</p> <p>1・15 成人式開催(1,046人)</p> <p>1・20 市政功労者発表(個人39人、3団体)</p> <p>2・12 津山市市制施行70周年記念式典開催、市の花に「さくら」を追加指定</p> <p>3・12 津山市・妙願寺の「妙向尼消息」県重要文化財に指定</p> <p>3・15 西東三鬼賞選定</p> <p>3・17 津山市中央幼稚園最後の卒園式開催</p> <p>3・31 音楽文化ホール・ベルフォーレ津山竣工</p> <p>4・01 情緒障害児学級新設(中道中学校、津山西中学校)</p> <p>4・01 津山さくらまつり開幕</p> <p>4・02 市街地再開発ビル「アルネ・津山」オープン。市立図書館、市立文化展示ホール、津山男女共同参画センター「さん・さん」、音楽文化ホール・ベルフォーレ津山を併設</p> <p>4・26 中尾嘉伸 第23代市長に就任</p> <p>4・ 津山市立中央幼稚園は津山市立西幼稚園に統合</p> <p>5・16 衆楽園で曲水の宴俳句会開催</p> <p>7・16 津山市西今町の翁橋が国の文化財建造物登録決定</p> <p>8・07 第21回津山納涼ごんごまつり(~8日、約13万人)</p> <p>9・18 津山城西まるごと博物館フェア'99開催(~13日)</p> <p>9・24 市教委は高野神社隨身門・復屋など3件を市重要文化財に指定</p> <p>10・1 津山市情報公開条例が施行</p>	<p>3・ 文部省 親が家庭を見つめ直し、自信を持って子育てに取り組むため「家庭教育ノート」(小中学生を持つ親に配布)、「家庭教育手帳」(乳幼児を持つ親に配布)作成、4月配布</p> <p>4・01 県教育庁へ競技力対策課が設置</p> <p>4・01 全国初の公立併設型の中高一貫校開校(岡山市)</p> <p>6・03 文部省 新学習指導要領への移行処置を告示</p> <p>6・16 苫田ダム着工</p> <p>8・09 国旗国歌法制立</p> <p>8・13 国旗及び国歌に関する法律が公布・施行</p> <p>9・17 文部省「学校における国旗及び国歌に関する指導について」を、付属学校を置く各国立大学長、各都道府県知事、各都道府県教育長に通知</p> <p>9・21 文部省 「教育改革プログラム」3回目の改訂、主要事項に心の教育の充実等4項目</p> <p>10・ 学校生活支援員を学校に配置するなど緊急地域雇用特別基金事業開始</p> <p>11・ 全県立学校へTV会議システム導入</p>

	<p>10・15 津山市山下・江見写真館が国の登録文化財に指定</p> <p>10・18 津山まつり開幕(~24日)</p> <p>10・29 津山城本丸跡で、石組みの「水ため」、堀の柱跡など発見</p> <p>11・7 津山城東むかし町開催(約3万人)</p> <p>11・14 第12回津山国際交流車いす駅伝競走大会開催</p> <p>11・30 第1回津山市市民栄誉賞にB'Zのボーカリスト稲葉浩志さんが決定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第5回津山国際総合音楽祭開催 ・ アメリカ・サンタフェ市との友好交流都市確認書に調印 	
平成12年 (2000年)	<p>1・10 成人式開催</p> <p>2・11 市制功労、善行表彰(個人10人、3団体)</p> <p>2・18 津山市戸川町・あけぼの旅館が国の文化財建造物に登録</p> <p>3・02 B'Zボーカリスト稲葉浩志さんに市民栄誉賞贈る</p> <p>3・ 東小学校・津山中央病院教室(院内学級)を林田小学校へ移管</p> <p>4・01 津山中央病院院内学級新設(津山東中学校)</p> <p>4・01 杉山知子 教育委員就任(~H18.12.24)</p> <p>4・01 津山さくらまつりが開幕(~16日、10万人を超える)</p> <p>8・05 津山納涼ごんごまつり開幕(~6日、15万人)</p> <p>9・23 津山城西まるごと博物館フェア2000開催(~24日)</p> <p>10・1 2000市民総合音楽祭開幕</p> <p>10・15 津山まつり開幕</p> <p>11・5 第11回出雲街道「津山城東むかし町」開催(3万3千人)</p> <p>11・19 津山国際交流車いす駅伝競走大会開催(26チーム)</p> <p>12・20 国勢調査津山市人口90,151人(前回より1,019人減)</p> <p>12・26 黒瀬通弘 教育委員就任(~H20・12・25)</p>	<p>1・21 学校教育法施行規則等の一部を改正する省令が公布</p> <p>(1) 学校評議員制度の導入</p> <p>(2) 校長・教頭の資格要件の緩和</p> <p>(3) 職員会議の位置付けの明確化</p> <p>2・15 岡山県生涯学習推進計画策定</p> <p>4・01 県教育機関組織を改編整備 岡山県情報教育センター設置岡山県教育センター部制の再編</p> <p>4・01 学校評議員制度及び学校自己評価の試行実施</p> <p>4・01 職員会議の法制化及び中核市への研修権限の委譲</p> <p>6・07 平成17年度岡山国体スロ・ガン「晴れの国おかやま国体」決定</p> <p>7・03 県教育庁内に「教職員の倫理及び生徒の暴力事件に関するプロジェクトチーム」を設置</p> <p>9・13 文部省 スポーツ振興法に基づく「スポーツ振興基本計画」を告示</p> <p>12・26 国勢調査・津山市人口90,156人(前回より1,019人減)</p>
平成13年 (2001年)	<p>1・08 「成人の日」</p> <p>1・17 市政功労受賞者14人、1団体、夫婦1組決定</p>	<p>1・06 中央省庁の再編整備により、文部省と科学技術庁が統合され、文部科学省となる</p> <p>1・15 教職員の倫理及び生徒の暴力事件に関する</p>

	<p>3・19 県教委は津山市西寺町の妙法寺本堂など8件を県指定重要文化財に指定</p> <p>4・01 津山さくらまつり開幕(~15日まで)</p> <p>6・03 「津山城址新能」開催(1,700人)</p> <p>6・12 「備中櫓の復元」が文化庁から許可</p> <p>7・18 第1回学校評議員会開催</p> <p>8・04 津山納涼ごんごまつり開催(~5日、14万人)</p> <p>9・23 城西まるごと博物館フェア開催(2万7千人)</p> <p>9・29 津山西中学校吹奏楽部が第49回全日本吹奏楽コンクールで2度目の金賞を受賞</p> <p>10・7 津山市民スポーツ祭開催</p> <p>10・7 「2001市民総合音楽祭」開幕</p> <p>10・17 津山市文化功労者 多湖昭彦(アマチュア天文家)</p> <p>10・21 「津山まつり」開幕</p> <p>11・4 津山城東むかし町開催(3万4千人)</p> <p>11・7 市内の全中学校2年生による「つやまっ子・デビュー14」が始まり、生徒が職場体験</p> <p>11・18 津山国際交流車いす駅伝競走大会開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 西部公園全面供用開始 ・ 市立南児童館開館 ・ 津山駅前広場整備 	<p>るプロジェクトチームが検討のまとめ(最終)を発表</p> <p>2・ 「岡山県教育改革プログラム」策定</p> <p>3・ 「危機管理マニュアル」を作成し、県内の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特殊教育諸学校、各教育委員会、関係機関に配布</p> <p>3・30 公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律等の一部を改正する法律が成立(13.4.1から施行)</p> <p>4・01 宮野正司 県教育長に就任</p> <p>4・03 文部科学省は、平成14年度から使用される新しい学習指導要領に基づいた、小学校及び中学校用教科書の検定結果を公表</p> <p>5・27 岡山県教育改革フォーラム開催</p> <p>6・08 大阪教育大学附属池田小学校に包丁を持った男が侵入し児童を襲う 文部科学大臣は談話を発表し、学校の安全管理体制の再点検を指示するとともに、地域ぐるみの幼児児童生徒の安全対策への協力を要請</p> <p>6・22 「小学校道徳用読み物資料等の取り扱いに関する協議会」開催</p> <p>6・26 「おかやま教育の日」を条例で制定 11月1日を「おかやま教育の日」と定め、この日から1週間を「おかやま教育週間」とする</p> <p>7・16 「岡山県青少年総合相談センター」(愛称「ハートフル岡山110」)が開設</p> <p>10・10 名古屋大学教授 野依良治氏がノーベル化学賞受賞</p> <p>11・1 「おかやま教育の日」オープニング行事開催</p> <p>12・ 子どもの読書活動の推進に関する法律が成立 子ども読書の日は4月23日</p>
<p>平成14年 (2002年)</p>	<p>1・14 「成人の日」(1,069人)</p> <p>1・16 津山城備中櫓復元整備工事起工式</p> <p>1・27 2002「つやま芸術祭」開幕(2・17閉幕)</p> <p>3・23 津山市コミュニティセンター「あいあい」開館</p> <p>3・31 箕作元甫のブロンズ立像の除幕式開催(「</p>	<p>1・11 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正を受け、岡山県教育委員会会議規則及び岡山県教育委員会傍聴規則の一部を改正し、平成14年1月11日から教育委員会会議を公開</p> <p>1・17 文科省は、新しい学習指導要領のねらいと</p>

	<p>R 津山駅前広場)</p> <p>4・07 津山さくらまつり「さくら時代絵巻」が繰り広げられる</p> <p>4・10 「西東三鬼賞」表彰式開催</p> <p>4・11 西東三鬼賞にちなむ「曲水の宴」俳句会開催</p> <p>4・24 津山城築城四百年記念事業実行委員会が発足</p> <p>5・12 携帯電話で検索可能な市立図書館の新システムが稼働</p> <p>5・29 津山市教委が「津山城石切場跡」「出雲街道絵図」の2件を市の重要文化財に指定</p> <p>6・01 津山市の「ふるさと景観賞」に田町の平井さん方長屋門が決定</p> <p>6・21 衆楽園が国の名勝に指定</p> <p>8・03 「ごんごまつり」開催(~4日まで、12万6千人)</p> <p>9・01 「音の城まつり」開催(2万5千人)</p> <p>9・22 「城西まるごと博物館フェア」開催(2万7千人)</p> <p>9・26 市教委が長法寺の「阿弥陀堂腰高障子」と個人所有の古文書2件を市の重要文化財に指定</p> <p>10・20 津山まつり開幕(~27日)</p> <p>11・1 津山市教育委員会発足50周年</p> <p>11・2 田熊八幡神社・国重文の農村歌舞伎舞台「田熊の舞台」で修復決定記念公演開催</p> <p>11・17 津山国際交流車いす駅伝競走大会開催</p> <p>11・23 津山市沼の弥生住居址群内で火災、竪穴式の復元住居1棟が全焼</p> <p>・ 津山市西苔田公民館開館</p>	<p>する「確かな学力の向上のための2002アピール~「学びのすすめ」~を公表</p> <p>3・ 「管理職のためのメンタルヘルスブック」刊行</p> <p>4・01 「完全学校週5日制」及び小中学校の「新学習指導要領」がスタート</p> <p>4・ 文科省は、児童生徒の「豊かな心」を育むため、道徳の内容をわかりやすく表した「心のノート」を作成し、全国の小・中学生に配布</p> <p>4・01 県教育庁 人権教育推進室、人権・同和教育課の設置</p> <p>4・01 小1グッドスタート支援事業、中学校第1学年の学級編成の弾力化、不登校対策のための教員派遣事業、高校スペシャリスト活用支援事業の実施</p> <p>10・8 ノーベル物理学賞に東京大学名誉教授の小柴昌俊氏、ノーベル化学賞に(株)島津製作所の田中耕一氏の受賞が決定</p> <p>11・ 「おかやま教育の日」関連事業開催 ・おかやま教育の日フェスタ・高校生ゆめ創造祭・おかやまヤングボランティアフェスタ・教職員のための人権教育セミナー</p>
平成 15 年 (2003 年)	<p>1・12 津山市成人を祝う会開催(1,042人)</p> <p>2・17 津山市教委が千代稲荷の本殿、本源寺の御霊屋・表門、森忠政座像の3件を市指定重要文化財に指定</p> <p>2・26 復元整備が進む津山城跡の備中櫓の上棟式が行われる</p> <p>・ 西東三鬼賞 横田昭子さん</p> <p>4・06 「津山さくらまつり」鶴山公園入園者今シーズン最高(23,530人)(~14日、10万人突破)</p>	<p>1・ 小学校学習到達状況調査・学習実態調査(5年生)の実施。5月に結果を公表</p> <p>4・01 県教育庁 障害児教育推進室(指導課の課内室)の設置</p> <p>5・21 岡山県高体連美術支部の創立50周年記念式典が開催</p> <p>7・ 「おかやま教育の日」シンボルマークの決定</p> <p>11・8 「子どもの本ワールド in おかやま」「全国読書フェスティバル岡山大会」の開催</p>

	<p>4・26 中尾嘉伸 第 24 代市長就任</p> <p>6・04 北陵中学校に南極の氷 5 ㌔が贈られる</p> <p>8・02 津山納涼ごんごまつり開催(～3 日、14 万 1 千人)</p> <p>9・09 津山洋学資料館友の会が京都大学理学部 一号館の中庭に建つ、津山出身の理学博士・京都帝大第四大総長・久原躬弦の胸像の修復を行い、京大から感謝状が贈られた</p> <p>9・20 第 6 回津山国際総合音楽祭開幕(～10.5)</p> <p>9・21 城西まるごと博物館フェア 2003 開催(2 万 7 千人)</p> <p>9・30 津山市教委は八出天満宮本殿と古文書・米井家文書(9 通)を津山市重要文化財に指定</p> <p>10・5 第 6 回津山国際総合音楽祭のフィナーレを飾るマーラーの交響曲「第 7 番」の演奏会 津山文化センター(520 人)</p> <p>10・19 津山まつりが開幕 大隅、高野神社のだんじり計 23 台が出動</p> <p>10・26 津山まつりのフィナーレを飾る徳守神社の秋祭りで大みこしが練る</p> <p>11・2 出雲街道「津山城東むかし町」が歩行者天国として開催(3 万人)</p> <p>11・3 津山市の平成 15 年度文化功労者表彰式</p> <p>11・9 さら山時代祭が開催</p> <p>11・23 津山国際交流車いす駅伝競走大会開催(国内外 23 チーム)</p> <p>11・25 奈良時代の史跡・美作国分寺跡が国の史跡指定</p> <p>12・5 津山市の 19 小学校で四季に一度の地場産材の給食実施(以後毎月 1 回実施)</p> <p>12・7 津山第九演奏会開催 119 人が「歡喜の歌」を大合唱</p> <p>12・20 津山市積雪 40 ㌔</p>	
平成 16 年 (2004 年)	<p>1・11 成人式(1,088 人)</p> <p>2・11 津山市政功労者表彰式開催(個人 14 人、1 団体)</p> <p>2・13 津山松平家のお抱え絵師・鍛形蕙斎の江戸時代の津山城下を描いた六曲一双の「津山景観図屏風」発見</p> <p>3・19 津山市二宮・高野神社所有の木造獅子二対</p>	<p>1・20 文科大臣は、安全対策推進のための「学校安全緊急アピール」を発表</p> <p>1・30 総合的な支援体制の整備のため、「小・中学校における LD、ADHD、高機能自閉症の生徒への教育支援体制の整備のためのガイドライン(試案)」を公表</p> <p>4・01 国立大学の法人化</p>

	<p>四体が国の重要文化財に指定</p> <p>3・27 津山市教委は津山市河面・清瀧寺所有の「木造千手観音菩薩立像」と個人所有の鋏形蕙斎の「津山景観図屏風」を市の重要文化財に指定</p> <p>4・01 神崎博彦 第9代教育長就任(～18.4.21)</p> <p>5・22 「津山歴史時代絵巻―築城大石曳き」(重さ16ト)再々挑戦、歴史再現シーンが市街地で繰り上げられる(15,000人)</p> <p>5・28 津山地域合併協定書に調印(津山市、加茂町、阿波村、勝北町、久米町)</p> <p>8・07 津山納涼ごんごまつり開催(～8日、15万5000人)</p> <p>8・19 鶴山塾の開塾20周年記念研究大会開催</p> <p>9・03 北小学校3年筒塩侑子さんが津山市総社の自宅で刺殺、津山警察署は殺人事件として捜査</p> <p>9・19 「津山・城西まるごと博物館フェア」開催(2万人)</p> <p>9・24 津山市教委は戸川町・妙願寺の庫裏と客殿を市重要文化財に指定</p> <p>10・1 岸本伍郎 教育委員就任(～20・9・30)</p> <p>10・9 津山城築城四百年記念講演会・秋の巻開催</p> <p>10・17 「津山まつり」開幕(～24日)</p> <p>10・20 大型台風23号が西日本を横断、津山市では観測史上最高の最大瞬間風速50.4m/sを記録、学校の校舎、家屋、山林に大被害</p> <p>11・7 出雲街道「津山城東むかし町」開催(3万5千人)</p> <p>11・14 「さら山時代祭」開催(5千人)</p> <p>11・21 津山国際交流車いす駅伝競走大会開催(国内外24チーム参加)</p> <p>11・25 津山市教委はアイススケート場・アイスランド津山の今シーズンの営業休止を決定</p> <p>12・18 県北初のボランティア・パトロール隊「津山防犯警備隊」発足</p> <p>・ 「美作国分寺跡」国史跡に指定</p>	<p>5・21 「学校教育法等の一部を改正する法律」が公布され、義務教育諸学校においては、平成17年4月1日から栄養教諭を置くことができることとなった</p> <p>5～ 特別支援教育コーディネーター養成講座開始</p> <p>6・09 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」を改正し、平成17年4月1日から、教育委員会は学校の運営に関して協議する機関として、学校運営協議会を置くことができるとした</p> <p>7・19 平成17年度教員採用試験に障害者特別選考を新設</p> <p>7・21 平成19年度第19回全国生涯学習フェスティバルの岡山県での開催が内定</p> <p>10・23 新潟県中越地震が発生。死者及び約4,500人の負傷者</p> <p>12・7 経済協力開発機構実施の生徒の学習到達度調査の結果、読解力が前回調査(2000年調査)より後退し、学力低下傾向が指摘</p> <p>12・14 国際教育到達度評価学会実施の国際数学・理科教育動向調査の結果、小学校理科、中学校数学の平均点は前回(1995年実施)と比較し優位に低下</p> <p>12・22 文科省内に「義務教育改革推進本部」を設置し、義務教育改革を推進</p>
<p>平成17年 (2005年)</p>	<p>1・09 津山市成人を祝う会開催(1,088人)</p> <p>1・11 津山市教育委員会が衆楽公園の発掘調査を開始</p>	<p>・ 国勢調査(津山市人口110,565人)</p> <p>4・01 食に関する指導(学校における食育)の推進に中核的な役割を果たすため、「栄養教</p>

	<p>2・17 新津山市の発足に伴い 5 市町村の体育協会の合併調印式が行われた</p> <p>2・18 県教委は津山市小田中、安国寺の梵鐘を県重要文化財に指定</p> <p>2・28 津山市に加茂町、阿波村、勝北町、久米町を編入した新「津山市」が誕生</p> <p>2・28 津山市立加茂小学校と改称 < 20 .加茂小学校 > (昭和 51 年 4 月加茂町立加茂小学校設立 [上加茂小学校(明治 7 年開校)、加茂西小学校(大正 7 年開校)、加茂小学校(明治 7 年開校)、加茂東小学校(大正 4 年開校)の 4 校が統合])</p> <p>2・28 津山市立阿波小学校と改称 < 21 .阿波小学校 > (明治 10 年 4 月立誠小学開校、明治 23 年阿波尋常小学校と改称、昭和 16 年 4 月阿波国民学校と改称、昭和 22 年 4 月阿波小学校と改称)</p> <p>2・28 津山市立新野小学校と改称 < 22 .新野小学校 > (明治 9 年 10 月新野小学開校、明治 26 年 4 月尋常新野小学校と改称、明治 28 年 4 月現在地に移転、明治 42 年 4 月新野尋常小学校と改称、昭和 16 年 4 月新野国民学校と改称、昭和 22 年 4 月新野小学校と改称)</p> <p>2・28 津山市立広戸小学校と改称 < 23 .広戸小学校 > (明治 8 年 4 月致志小学開校、昭和 30 年 4 月勝北町立広戸小学校と改称)</p> <p>2・28 津山市立勝加茂小学校と改称 < 24 .勝加茂小学校 > (明治 7 年 11 月開蒙小学開校、大正 3 年 4 月現在地に新築移転(この間 2 回の移転あり)、大正 4 年 4 月勝加茂尋常小学校と改称、昭和 16 年 4 月勝加茂国民学校と改称、昭和 22 年 4 月 勝加茂小学校と改称)</p> <p>2・28 津山市立喬松小学校と改称 < 25 .喬松小学校 ></p>	<p>論」制度の創設、施行</p> <p>4・01 県の津山、真庭、勝英の 3 振興局を統合した、美作県民局がスタート</p> <p>4・01 県 3 教育事務所体制への移行</p> <p>4・01 新しい教職員の評価システムの試行開始 県内 19 校で実施(小学校 7 校、中学校 7 校、高校 4 校、養護学校 1 校)</p> <p>4・ 「中学校学習到達状況調査」を初めて実施 県内公立中学校の第 1 学年全生徒を対象に、小学校修了段階の学習到達状況を岡山県教育委員会が独自で調査 調査教科は、国語・社会・算数・理科の 4 教科</p> <p>7・15 「食育基本法」施行</p> <p>7・29 平成 19 年度第 19 回全国生涯学習フェスティバル(まなびピア岡山 2007)の企画準備委員会が発足</p> <p>8～ 学校施設等における吹付けアスベストの使用が問題 県教育委員会では、県が定めた「吹き付けアスベスト飛散防止対策対応方針」に基づき対応</p> <p>9・10 第 60 回国民体育大会「晴れの国おかやま国体」夏季大会の開催(～13 まで)</p> <p>10・12 小・中学校の巡回により学校防犯について指導助言を得るため、警察官 O B を「地域学校安全指導員(スクールガード・リーダー)」として初めて委嘱 (平成 17 年度地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業)</p> <p>10・22 第 60 回国民体育大会「晴れの国おかやま国体」秋季大会の開催(43 年ぶり 2 回目) 岡山県は天皇杯・皇后杯を獲得(～27 まで)</p> <p>11・5 第 5 回全国障害者スポーツ大会「輝いて!おかやま大会」が開催(～7 まで)</p> <p>11・11 セクシュアル・ハラスメントについて教職員の理解を深めるため、パンフレット「NO!セクハラ」を作成。県内の小・中・高・特殊教育諸学校の教職員へ配布。セクシュアル・ハラスメントの相談窓口として県教育委員会内に専用電話「セクハラ</p>
--	--	--

	<p>(明治6年1月創立、明治7年8月喬松校と命名、明治20年岩谷小学校と合併、明治42年喬松尋常小学校と改称、大正8年農業補習学校を付設、昭和16年4月喬松国民学校と改称、昭和22年4月喬松小学校と改称、昭和30年1月久米町立喬松小学校と改称)</p> <p>2・28 津山市立中正小学校と改称 <26 .中正小学校></p> <p>(明治26年7月公正尋常小学校・大井尋常小学校開校、明治45年4月公正尋常高等小学校・大井尋常高等小学校と改称、昭和8年4月公正小・大井小統合、久米郡中正小学校と改称、昭和16年4月中正国民学校と改称、昭和22年4月久米郡中正小学校と改称、昭和30年1月久米町立中正小学校と改称)</p> <p>2・28 津山市立誠道小学校と改称 <27 .誠道小学校></p> <p>(明治20年4月精業小学校(明治7年11月開校)と成名小学校(明治9年5月開校)を合併し尋常誠道小学校と改称、明治26年4月誠道尋常小学校と改称、明治42年4月誠道尋常高等小学校と改称、大正10年7月誠道実業補習学校を併設(15年4月併設を廃止)、昭和16年4月 誠道国民学校と改称、昭和22年4月 誠道小学校と改称、昭和28年1月組合立誠道小学校と改称、昭和30年1月久米町立誠道小学校と改称)</p> <p>2・28 津山市立秀実小学校と改称 <28 .秀実小学校></p> <p>(明治8年6月秀実小学校開校)</p> <p>2・28 津山市立加茂中学校と改称 <6 .加茂中学校></p> <p>(昭和22年4月加茂中学校開校(加茂小学校校舎)、昭和22年5月阿波中学校開校(阿波小学校・上加茂小学校校舎)、昭和22年11月阿波中学校を阿波村・上加茂村学校組合矢筈中学校と改称、昭和27年3月加茂町・新加茂町学校組合立加茂中学</p>	<p>相談ホットライン」を新設</p>
--	--	---------------------

	<p>校と改称、昭和 29 年 4 月加茂町立加茂中学校と改称、昭和 46 年 4 月加茂中学校と矢筈中学校を統合し加茂町立加茂中学校創設)</p> <p>2・28 津山市立勝北中学校と改称 <7. 勝北中学校> (昭和 22 年 4 月勝加茂村・新野村・広戸村組合勝北中学校開校、昭和 30 年 4 月勝北町立勝北中学校と改称)</p> <p>2・28 津山市立久米中学校と改称 <8. 久米中学校> (昭和 22 年 4 月大東村・久米村・郷村学校組合立格到中学校開校、倭文村立秀実中学校開校、昭和 27 年 11 月大井町外三ヶ村学校組合立格到中学校と改称、大井町外三ヶ村学校組合立秀美中学校と改称、昭和 30 年 1 月久米町立秀実中学校と改称、昭和 33 年 4 月久米町立格到中学校と改称、昭和 35 年 4 月格到中学校と大井西中学校統合、昭和 42 年 4 月格到中学校・秀美中学校名目統合し久米中学校と改称、昭和 44 年 4 月久米中学校新校舎開校式、実質統合)</p> <p>2・28 津山市立加茂幼稚園と改称 <13. 加茂幼稚園> (昭和 29 年 10 月加茂東小学校に加茂町立加茂幼稚園創立、昭和 37 年 4 月加茂西小学校に加茂幼稚園西分園設立、昭和 38 年 4 月加茂町立加茂幼稚園東園舎、西園舎と改称、昭和 39 年 4 月東・西園舎統合し、加茂町立加茂幼稚園と改称、新園舎落成)</p> <p>2・28 津山市立阿波幼稚園と改称 <14. 阿波幼稚園> (昭和 32 年 9 月阿波村幼稚園開設、昭和 35 年 4 月阿波幼稚園と改称)</p> <p>2・28 新「津山市」誕生による社会・文化施設 ・加茂町公民館(昭和 46 年 10 月加茂町山村開発センターとして建設された施設を昭和 54 年 4 月から公民館としても利用) ・阿波公民館(昭和 57 年 7 月山村開発センターとして完成した施設を公民館と</p>	
--	---	--

	<p>しても利用)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勝北公民館(平成10年3月完成) ・久米公民館(昭和49年3月完成) ・加茂町文化センター(平成9年3月竣工) ・勝北文化センター(平成10年3月竣工) ・加茂町歴史民俗資料館(昭和63年3月開館) ・勝北歴史民俗資料館(昭和50年4月開館) ・久米歴史民俗資料館(昭和55年7月開館) ・久米民具館(平成5年4月開館) <p>3・19 津山城備中櫓復元整備工事竣工、完成記念式典開催(20日から一般公開)</p> <p>3・24 津山市宮脇町の「徳守神社攝社住吉神社」が市重要文化財に指定</p> <p>4・17 第13回津山加茂郷フルマラソン全国大会開催(毎年開催)</p> <p>4・23 清泉小学校が平成17年度「読書活動優秀実践校・文部科学大臣表彰」を受賞</p> <p>5・01 津山市田熊の国指定重要有形民俗文化財「田熊の舞台」の修復工事完了記念こけら落とし公演</p> <p>5・03 備中櫓完成記念「津山お城まつり」が鶴山公園で開催(～5日まで)(約1万8千人)</p> <p>5・20 津山市合併記念式典開催</p> <p>5・26 津山市営プールが老朽化対策のため営業中止</p> <p>7・01 津山朝日新聞は、明治43年(1910年)創刊以来95周年</p> <p>7・16 津山スポーツ賞の表彰式が行われ、功労者7人、優秀選手14人、優良団体3団体が表彰</p> <p>8・01 津山市が津山城跡の裏下門跡一帯の発掘調査を開始</p> <p>8・06 津山納涼ごんごまつりが開催(～7日まで)(約16万6千人)</p> <p>9・03 筒塩侑子さん(当時9歳、北小3年)が自宅で刺殺され1年が経過、捜査続行中</p> <p>9・18 「城西まるごと博物館フェア」が津山市城西地区で開催(約2万6千人)</p>	
--	--	--

	<p>9・25 「音の城まつり」が津山市大田のグリーンヒルズ津山で開催（約2万人）</p> <p>10・15 「高野神社の文化財」展が津山郷土博物館で開催</p> <p>10・16 「津山まつり」開幕</p> <p>10・16 「津山藩医久原家と化学者久原」が津山洋学資料館で開催</p> <p>10・23 晴れの国おかやま国体・第60回国体秋季大会が43年ぶり開催（柔道全種目、剣道成年男女、ハンドボール成年男子、軟式野球成年、ゲートボール〔デモンストレーション〕）</p> <p>岡山県として悲願の天皇杯と皇后杯を獲得</p> <p>11・6 出雲街道「津山城東むかし町」が開催（約1万人）</p> <p>11・13 「さら山時代祭」が開催（約8千人）</p> <p>11・27 津山国際交流車いす駅伝競走大会開催（参加20チーム）</p> <p>12・23 津山市志戸部のスケート場・アイスランド津山が2年ぶりにオープン</p>	
平成18年 (2006年)	<p>1・08 津山市成人を祝う会開催(市町村合併後初の会、1,269人)</p> <p>2・13 津山城が「日本名城100選」(日本城郭協会)に選定</p> <p>2・20 県教委は津山市西寺町、愛染寺の鐘楼門と仁王堂を県の文化財に指定。加茂町山下・知和にある矢筈城跡(高山城跡)を史跡に決定</p> <p>3・19 桑山博之 第25代津山市長に就任</p> <p>4・01 「津山さくらまつり」が鶴山公園を主会場に開幕</p> <p>4・21 季節外れの大雪・加茂町倉見地区では約10㍉の積雪</p> <p>5・01 藤田長久 第10代教育長就任(～H22・3・31)</p> <p>6・16 津山郷土博物館が国の有形文化財に登録</p> <p>6・27 津山市体育協会の合併祝賀会が開催</p> <p>8・05 「第28回津山納涼ごんごまつり」が開催(～6日)(約18万人)</p> <p>9・03 津山市総社の筒塩侑子さん(当時9歳、北</p>	<p>1・17 文科大臣が「教育改革のための重点行動計画～どの子どもにも豊かな教育～」を発表</p> <p>2・ 岡山県教育委員会が「岡山県教育史(昭和51年～平成7年)」を20年ぶりに刊行(昭和12年に「教育史上巻」を発行して以来、今回が6巻目)</p> <p>3・27 文科省が「義務教育諸学校における学校評価ガイドライン」を策定</p> <p>3・31 「食育推進基本計画」の策定</p> <p>4・01 門野八洲雄 県教育長就任</p> <p>4・01 全国生涯学習フェスティバル推進室(生涯学習課の課内室)の設置</p> <p>スポーツ行政におけるスポーツ振興部門の知事部局移管</p> <p>4・01 新しい教職員評価システムを全公立学校に導入(昨年度19校をモデルに試行した結果を踏まえて実施マニュアルを策定)</p> <p>5・09 文科省と厚生労働省が「放課後対策事業の連携-「放課後子どもプラン」(仮称)の創設-」を公表</p>

	<p>小3年)が自宅で殺害された事件は未解決のまま丸2年が経過</p> <p>10・1 「城西まるごと博物館フェア」が開催(約1万5千人)</p> <p>10・7 「津山藩狩野派絵師 - 狩野洞学」が津山郷土博物館で開催</p> <p>10・8 第35回津山市民スポーツ祭が津山陸上競技場を主会場に開催(約1万5千人)</p> <p>10・15 「津山まつり」開幕</p> <p>10・15 「森本家が守り伝えた津山洋学の至宝展」が津山洋学資料館で開催</p> <p>10・26 津山市檜の「檜船着場跡の常夜灯」、中島の「嵯峨山城跡」を市重要文化財に指定</p> <p>11・5 第17回出雲街道「津山城東むかし町」が開催(約3万3千人)</p> <p>11・6 津山市綾部の多湖昭彦さんが新たな変光星を発見、国際天文連合が公表</p> <p>11・11 中学生の「子ども議会」が津山市議会議場で開催</p> <p>11・12 「第9回さら山時代祭」が開催(約8千人)</p> <p>11・25 鶴山公園(津山城跡)が「日本の歴史公園百選」に選定</p> <p>12・3 第24回第九演奏会が津山文化センターで開催</p> <p>12・8 第14回県国際理解教育研究大会、第1回全海研中国ブロック岡山大会が鶴山小学校で開催</p> <p>12・17 津山市志戸部のスケート場・アイスランド津山がオープン</p> <p>12・21 津山市沼、竪穴式の復元住居1棟が不審火で全焼</p> <p>12・25 八木恵三子教育委員就任(～H22・12・24)</p> <p>12・25 苅田裕也教育委員就任(～H22・12・24)</p>	<p>5・09 「就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律(就学前保育等推進法)が成立(6月15日公布)</p> <p>6・20 文科省は「平成19年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領」を策定し、各都道府県教育委員会に通知</p> <p>6・21 特殊教育から特別支援教育への移行を内容とする「学校教育法等の一部を改正する法律」の公布(平成19年4月1日施行)</p> <p>7・ 保護者向けのデートDV防止のリーフレットを26万部作成、県内の中、高、盲・聾・養護学校の保護者、全教職員に配布</p> <p>7・01 「岡山県青少年健全育成条例」の施行</p> <p>8・04 「認定子ども園の認定基準に関する国の指針」の策定 (指針に基づき、各都道府県が認定基準を作成)</p> <p>10・1 「認定子ども園」制度のスタート</p> <p>10・26 第92回全国図書館大会岡山大会の開催(～27まで)</p> <p>11・2 県生涯学習センター開所10周年記念、第19回全国生涯学習フェスティバル(まなびピア岡山2007)プレフェスティバルの開催、開会式で大会イメージソング(歌詞)の表彰式を実施</p> <p>11・17 文科大臣がいじめ自殺問題で「文科大臣からのお願い」と題する2通のアピール文を発表、都道府県教育委員会を通じて小中高校生全員に配布</p> <p>11・22 県教育長と県内の校長会会長が連名で「あなたを守りたい～緊急アピール」を発表、県内の小、中、高、盲・聾・養護学校的全児童生徒に配布</p> <p>11・26 子どもの生活リズム向上フォーラム in 岡山の開催</p> <p>12・2 中学校でも未履修問題が発覚し、文科省が中学校の未履修実態調査を都道府県教育委員会等に通知</p> <p>12・19 県独自にいじめ調査を緊急に実施、平成18年4月から10月までの公立学校のいじめ件数(1,263件)を公表</p>
--	--	---

		<p>いじめ対応マニュアルの作成に着手、平成18年度中に公立学校に配布予定</p> <p>12・22 改正教育基本法公布、施行（1947年の制定以来初めての改正、12月15日成立）</p> <p>12・26 「岡山県食の安全・安心の確保及び食育の推進に関する条例」の施行</p>
平成19年 (2007年)	<p>1・01 年未年始防犯パトロール実施（桑山市長、岸本委員長、藤田教育長、市教委・学校関係者、津山防犯警備隊）</p> <p>1・07 成人を祝う会開催(1,245人)</p> <p>1・08 全国高校サッカー選手権大会決勝、作陽高校は盛岡商業に1-2で惜敗し、準優勝</p> <p>1・13 作陽高校全国高校サッカー選手権大会で準優勝パレード後、祝賀セレモニーで津山市スポーツ栄誉賞授与、津山の子どもたちに夢と感動を与えた</p> <p>1・ 津山加茂郷フルマラソン全国大会実行委員会が第65回山陽新聞賞・奨励賞に選定</p> <p>1・15 沼・弥生住居址群の復元高床倉庫が焼失</p> <p>1・15 津山市指定史跡沼弥生住居址群・復元高床倉庫が火災焼失連続放火事件について校長会で「規範意識の向上」を指示(18.12.21復元小型住居火災再消失、美作の国・津山の「歴史と伝統」「郷土の文化財」「郷土愛」を育む教育の充実が大切)</p> <p>1・25 学校給食期間で桑山市長、岸本委員長、藤田教育長ほか市教委関係者が勝北中学校を訪問、生徒と一緒に給食を試食、食育基本法、食育について認識を深めた。</p> <p>1・25 津山市体育施設条例施行規則の一部改正(4月1日から施行)</p> <p>2・11 第37回市政功労者表彰式開催(個人22人、2団体)</p> <p>2・17 第18回津山幼児音楽祭開催(津山文化センター、11園)</p> <p>2・ 平成19年度当初予算</p> <p>2・ 「60・15(ろくまるいちごう)キャンペーン」(60分早寝・15分早起き、朝ごはんを食べよう!)「挨拶運動」の実施</p> <p>2・24 美作国府跡現地説明会(山北の都計道路の発掘調査、国府と弥生時代の生活)</p>	<p>1・10 子どもを守り育てるための体制づくりのための有識者会議(文科省内設置)が、現行のいじめの定義を見直す方針を発表</p> <p>2月、「いじめを早期に発見し、適切に対応できる体制づくり～ぬくもりのある学校・地域社会を目指して～(第1次)」を公表</p> <p>12月27日、「ネット上のいじめ問題」に対する喫緊の提案を公表</p> <p>1・19 子どもを守り育てる体制づくり推進本部(文科省内設置)が「いじめ・自殺問題に関する取り組みについて(中間まとめ)」を公表</p> <p>1・24 教育再生会議が「社会総がかりで教育再生を・第一次報告～公教育再生への第一歩～」を提出</p> <p>1・27 高梁市内で高病原性鳥インフルエンザの発生(県内の学校で飼育している鳥類に異常なし)</p> <p>1・30 中教審が「新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について(中間報告)」を公表</p> <p>2・ 岡山県人権教育推進プランの策定</p> <p>2・ 文科省と国立教育政策研究所生徒指導研究センターが「いじめ問題に関する取組事例集」を作成</p> <p>2・05 文科省が「問題行動を起こす児童生徒に対する指導について」(通知)を各都道府県教育委員会等に発出</p> <p>2・10 文科省が「新学校図書館整備5カ年計画」を策定</p> <p>3・02 岡山県食育推進計画(2007～2010年度)の策定</p> <p>3・29 児童生徒の自殺予防に向けた取組に関する検討会(文科省内設置)が「子どもの自殺予防のための取組に向けて(第1次報告)」を公表</p>

<p>2・25 勝北地域の皆さんの市民ミュージカル「黒姫物語」ファイナル公演（勝北文化センター）</p> <p>3・04 阿波地域防災・防犯会発足</p> <p>3・12 佐良山学区に自主防犯防災会発足</p> <p>3・15 津山市立幼稚園卒業式</p> <p>3・16 津山市立中学校卒業式</p> <p>3・16 津山市教育委員会庶務規則の一部改正（公布の日から施行）</p> <p>3・16 津山市体育施設条例の一部改正（4月1日から施行）</p> <p>3・16 久米山ロッジ条例の全部改正（20年1月1日から施行）</p> <p>3・16 3月定例市議会（5～9日）</p> <p>3・16 アイスランド津山の利用状況（18年度16,070人（前年度より640人増））</p> <p>3・16 平成18年度の各課の課題と取組結果</p> <p>3・20 津山市立小学校卒業式</p> <p>4・01 通級指導教室設置（津山西中学校）</p> <p>4・01 津山さくらまつり開幕</p> <p>4・07 第14回西東三鬼賞表彰式開催（応募総数4,132句、大賞1句、秀句10句、佳作30句）</p> <p>4・08 曲水の宴俳句会開催（衆楽園・曲水周辺）</p> <p>4・11 戸島学校食育センターの起工式開催（津山市戸島・津山総合流通センター内）</p> <p>4・15 第15回津山加茂郷フルマラソン全国大会開催（エントリー数 フルマラソン1,317人、ミニマラソン204人、合計1,521人）</p> <p>4・17 「岡山県総合教育センター」新設（吉備中央町）、「平成19年度教育問題懇談会」（岡山津山教育事務所管内 小中学校長）開催（平成19年度教育行政基本方針・重点施策の概要説明）</p> <p>4・24 文科省「全国学力・学習状況調査」43年ぶりに実施（小学校6年国語・算数、中学校3年国語・数学）</p> <p>4・26 津山市教委「平成19年度教育方針」「各課の課題と目標」</p> <p>4・26 津山市立学校管理規則の一部改正（4月1日施行）</p>	<p>3・29 文科省・国交省が「プールの安全標準指針」を策定</p> <p>3・30 安倍内閣が「学校教育法等の改正」「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正」「教育職員免許法及び教育公務員特例法の改正」の3法案を第166回通常国会に提出</p> <p>5月18日衆議院本会議で可決</p> <p>6月20日参議院本会議で可決・成立</p> <p>6月27日公布</p> <p>4・01 特別支援教育が法的に位置づけられた改正学校教育法の施行にあたり、文科省が「特別支援教育の推進について」（通知）を各都道府県教委等に発出</p> <p>4・09 第19回全国生涯学習フェスティバル（まなびピア岡山2007）200日前イベントの開催（津山市鶴山公園）</p> <p>4・11 県内第1号の認定こども園の開園（真庭市落合こども園）</p> <p>4・12 県総合教育センターの開所</p> <p>4・24 全国学力・学習状況調査の実施（43年ぶりの全国一斉調査、小学校第6学年・中学校第3学年が対象、参加した校数、児童生徒数は国公私立合わせて、小学校22,072校、1,139,492人、中学校10,544校、1,077,209人）</p> <p>10月24日、調査結果の公表（県・文科省同時発表）</p> <p>11月12日、結果の分析状況の公表（県独自の発表）</p> <p>4・27 文科省が「全ての教員のICT活用指導力向上のために～教員のICT活用指導力の基準の普及・活用方策について～」を公表</p> <p>5・25 改正児童虐待防止法の成立（児童相談所に家庭への強制的な立ち入り権限を認める等、子どもの安全確保策を強化）</p> <p>平成20年4月1日、施行</p> <p>5・25 改正少年法が成立（少年院への送致年齢の下限を「14歳」から「おおむね12歳」に引き下げ）</p> <p>11月1日、施行</p>
--	---

<p>4・26 津山市指定重要無形文化財の新指定(木地師及び塗師技術、横野和紙政策技術)</p> <p>4・29 津山市立勝北中学校創立 60 周年・新校舎全面改築落成記念式典開催</p> <p>5・18 津山市教育委員 学校訪問(東・鶴山小学校、北陵中学校)、一宮小学校増築工事現場、新給食センター建設現場の視察</p> <p>5・31 津山市指定文化財の指定解除(史跡・エノキ跡)</p> <p>5・31 津山市文化センター条例の一部改正(公布の日から施行)</p> <p>5・31 津山市加茂町文化センター条例の全部改正(20年4月1日から施行)</p> <p>5・31 津山市勝北文化センター条例の全部改正(20年4月1日から施行)</p> <p>5・31 津山市公民館の一部を改正する条例(8月1日から施行)</p> <p>5・31 中学校給食に関するアンケート結果</p> <p>6・10 一宮小学校校舎増築工事完成記念式典開催</p> <p>6・18 新津山洋学資料館の基本設計完成、市教委が市議会・総務文教委員会で概要説明</p> <p>6・20 教育3法成立(昨年末に約60年ぶりに教育基本法が改正、今回その関連3法の改正)</p> <p>6・21 津山市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正</p> <p>6・21 津山市立幼稚園保育料徴収条例施行規則の一部改正</p> <p>6・21 6月定例市議会</p> <p>6・21 学校の耐震化事業(診断完了校・8校、診断予定校・19年度5校、20年度5校、21年度7校)(実施設計・19年度2校)(工事実施・20年度2校)</p> <p>6・21 新洋学資料館建設事業の概要(基本計画の完成)</p> <p>6・21 津山市立図書館の概要</p> <p>6・28 美作地区市町村教育委員会連絡協議会総会及び研修会(津山市、講演「子どもたちを被害者にも加害者にもしないために」、講話「人権教育の推進について」)</p>	<p>6・01 教育再生会議が「社会総がかりで教育再生を・第二次報告～公教育再生に向けた更なる一歩と『教育新時代』のための基盤の再構築～」を提出</p> <p>6・22 県コンプライアンス委員会の提言に基づき、県職員に対する提言等への対応に関する取扱要綱を判定 7月1日、施行 10月15日、県教委・県警において要綱の制定 12月1日、施行</p> <p>7・06 文科省が「災害共済給付制度」(独立行政法人日本スポーツ振興センター)の対象に学校外でのいじめによる自殺を加えるように、関連省令を改正 7月9日、施行</p> <p>7・11 文科省が「学校施設整備指針の改定等について～学校施設整備指針策定に関する調査研究協力者会議報告～」を公表 (特別支援教育の推進に伴う学校施設における新たな課題等に対応するため)</p> <p>8・25 県立図書館入館者が開館849日目で300万人突破 平成18年度の入館者数・貸し出し冊数が全国の都道府県立図書館の中で第1位(2年連続全国トップ)</p> <p>8・27 学校評価の推進に関する調査研究協力者会議(文科省内設置)が「学校評価の在り方と今後の推進方策について(第1次報告)」を公表</p> <p>9・11 岡山県いじめ対策行動推進会議が県教育長に「いじめ問題に対する新たな提言」を提出</p> <p>9・26 福田内閣が発足し、^{と かい き さ ぶ ろ う}渡海紀三朗氏が文科大臣に就任</p> <p>9・27 世界遺産暫定一覧表記載資産候補に係わる提案書「近世岡山の文化・土木遺産群 - 岡山藩郡代津田永忠の事績 - 」を文化庁に提出(岡山県・岡山市・備前市・赤磐市・和気町が共同で提案)</p> <p>9・29 第62回国民体育大会「秋田わか杉国体」</p>
--	--

	<p>7・02 第 1 回津山市学校給食費未納対策検討委員会開催、年度内に方針と手段をまとめる決定</p> <p>7・10 第 1 回津山市学校給食センター整備委員会開催(今後、専門部会、献立、食材調達、給食費算定方法等協議)</p> <p>7・10 岡山県市町村教育委員会連絡協議会・研修会(岡山市、講演「今、子どもたちは…家庭・地域・学校との連携」、情報交換)</p> <p>7・12 第 6 回中国地区市町村教育委員会連合会研修大会(呉市、13 日まで)(講演・実践発表「協創・協働で育む教育の展開」「2 学期制の導入」「小中一貫教育」「生涯輝く大人づくりを目指した小中一貫教育」等)</p> <p>7・26 津山市学校給食センターについて報告</p> <p>7・26 生涯学習フェスティバル実行委員会の報告</p> <p>8・02 津山市学校教育研究センター全員研修会開催(ベルフォーレ津山、事例発表「早寝・早起き・朝ごはん 60・15 キャンペーン」田邑幼稚園、北小学校、北陵中学校 埼玉医科大学医師・奈倉先生講演「生活リズムを整える」～早寝早起きがいいのはなぜか?～)</p> <p>8・04 第 29 回津山納涼ごんごまつり開幕(～5 日、15 万人)</p> <p>8・08 津山市城西公民館落成式開催(津山市としては 22 番目)</p> <p>8・23 津山市教育委員 津山市郷土博物館、津山洋学資料館の建設用地、箕作元甫旧宅、津山洋学資料館、津山弥生の里文化財センターを視察</p> <p>9・03 津山市総社・筒塩侑子さん(当時 9 歳、北小学校 3 年)が自宅で殺害された事件は未解決で丸 3 年経過、捜査は難航</p> <p>9・15 津山市立中学校体育祭開催</p> <p>9・20 9 月定例市議会(10～14 日 一般質問) 一般会計 9 月補正予算</p> <p>9・20 平成 20 年度津山市立幼稚園の園児募集について</p> <p>9・22 第 7 回津山国際総合音楽祭開幕、「未来に</p>	<p>の開催(天皇杯 16 位、皇后杯 21 位)(～10・9)</p> <p>10・9 (財)岡山県学校給食会設立 50 周年記念式の開催</p> <p>11・2 第 19 回全国生涯学習フェスティバル(まなびピア岡山 2007)の開催(県内全市町村の参加は大会史上初、入場者数約 81 万人)(～6 日)</p> <p>11・7 中教審が学習指導要領改訂に向けた「教育課程部会におけるこれまでの審議のまとめ」を公表</p> <p>11・15 文科省が「学校現場の負担軽減プロゼクトチーム」を発足 12 月 7 日、「中間まとめ」の公表</p> <p>11・19 岡山県特別支援教育推進検討委員会が県教育長に「岡山県における特別支援教育推進のあり方について(中間まとめ)」を提出</p> <p>11・25 文科省が学校給食法を改正する方針を決定、平成 20 年の通常国会に提出予定(給食の主要目的を「栄養改善」から「食育」に転換、学校給食法的大幅な改正は昭和 29 年の施行以来初めて)</p> <p>12・3 岡山大学において教職大学院の開設が決定(平成 20 年度から、中国地方で第 1 号の開設)</p> <p>12・4 2006 年度の OECD 生徒の学習到達度調査(PISA)結果の公表(57 カ国・地域の約 40 万人の 15 歳児が参加、日本は、科学的リテラシーが 6 位で上位グループ、数学的リテラシーは 10 位で加盟国平均より高得点、グループ、読解力は 15 位で加盟国平均と同程度)</p> <p>12・8 岡山県玉野市、香川県直島町で「渡海大臣と語ろう～教育・科学技術談義～」を開催(文科大臣が放課後子ども教室の実施状況の提案、教育関係者との対話を実施)</p> <p>12・21 県渋川青年の家、県青少年教育センター 閑谷学校の指定管理者が決定</p> <p>12・25 教育再生会議が「社会総がかりで教育再生を・第三次報告～学校、家庭、地域。企</p>
--	---	--

	<p>架ける人の輪・音の輪」をテーマに10月4日から13日間、総入場者数12,844人、総客席数の93%、素晴らしい音楽祭で成功21のプログラム実施</p> <p>9・23 津山市立小学校運動会開催(29日開催の学校あり)</p> <p>9・25 新津山洋学資料館の利活用について「懇談会」発足</p> <p>9・30 城西まるごと博物館フェア開催(2万5千人)</p> <p>10・06 津山市立幼稚園運動会開催</p> <p>10・07 第36回つやま市民スポーツ祭・津山市民憲章制定36周年市民憲章デー合同祭典開催。津山陸上競技場に、多くのスポーツ団体、市民が多種目に参加(1万5千人)</p> <p>10・12 津山市立幼稚園合同保育 第13回ワイワイまつり開催(グリーンヒルズ津山にて14園園児約500人、テーマ「広くて、高い、空の下、グリーングリーンで遊ぼうよ」)</p> <p>10・13 まなびピア岡山 2007 in 津山 1ヶ月前イベント開催(グリーンヒルズ津山リージョンセンター、第2回ひと・ふれあい講演会「熱き感動を求めて」講師・山口良治氏)</p> <p>10. 北陵中学校吹奏楽部第55回全日本吹奏楽コンクール中学校の部で、3年連続金賞受賞(課題曲の「マーチ・ブルースカイ」と「喜歌劇伯爵夫人マリツァセレクション」の2曲を演奏)</p> <p>10・21 津山まつり開幕(~28日)</p> <p>10・25 津山市体育施設条例の一部改正(12月議会上程、20年4月1日から施行)</p> <p>10・25 津山市体育施設条例施行規則の一部改正(20年4月1日から施行)</p> <p>10・25 加茂町・勝北文化センターの指定管理者の選定について</p> <p>10・26 全国学力・学習状況調査の結果公表(県教委は「全国平均を下回った結果を重く受け止め、課題をしっかりと分析し、授業改善に取り組みたい」とし、11月県内4ヶ</p>	<p>業、団体、メディア、行政が一体となって、全ての子供のために公教育を再生する～」を提出</p>
--	---	---

	<p>所で説明会、各学校で授業改善プラン作成)</p> <p>11・01 「津山市教育委員会 55 年のあゆみ」編集</p> <p>11・01 「おかやま教育の日」、「津山市教育委員会発足 55 周年」我が国の教育行政上特筆すべき教育委員会制度が生まれ、昭和 23 年 11 月 1 日岡山県教育委員会が発足、昭和 27 年 11 月 1 日津山市をはじめ各市町村教育委員会が発足し、この年津山市教育委員会発足 55 周年の記念すべき節目を迎えた。(津山市教育委員会として周年記念の行事、記念誌の編纂等は行っていないので、「津山市教育委員会五十五年」の資料収集・整理、冊子の編纂作業を始める。)</p> <p>11・3 第 19 回全国生涯学習フェスティバル「まなびピア岡山 2007 in 津山」開幕、津山市ではアルネ津山・東広場等各地で、4 日まで「体験活動を通じて、子どもの夢を育み、可能性を開く」というテーマで体験型の多彩なイベント開催(大成功裏に終了、約 9 千人)</p> <p>11・4 第 18 回出雲街道「津山城東むかし町」開催(3 万 5 千人)</p> <p>11.11 岡山県中学校秋季体育大会開催(13 競技、津山市の各学校は近年にない素晴らしい成績をあげた。12 日まで。)</p> <p>11・11 第 10 回「さら山時代祭」開催(1 万人)</p> <p>11・15 津山市小中学校音楽研究演奏会開催(ベルフォーレ津山、児童生徒の演奏技能と豊かな感情の育成を目的に、迫力ある元気の歌声や演奏が行われた～16 日まで)</p> <p>11・15 岡山県市町村教育委員会連絡協議会研修会開催(岡山市、講演「全国学力・学習状況調査について」、協議)</p> <p>11・ 各学校とも学習発表会が行われ、素晴らしい合唱、合奏が整然と実施</p> <p>11・17 津山市立津山西中学校創立 30 周年記念式開催(昭和 53 年(1947 年)4 月「新しい津山西中学校」として開校、その淵源をたどれば、60 年前、昭和 22 年(1947 年)4</p>	
--	--	--

	<p>月、学制改革により 6・3 制が実施され、新制中学校が発足し、その後幾多の変遷を経て、一部学区の変更、統合整備が行われ今日に至る)</p> <p>11・21 津山市指定重要文化財の指定解除(史跡・山形神事場)</p> <p>11・21 津山市立幼稚園規則の一部改正(4 月 1 日から施行)</p> <p>11・21 津山市心身障害児就学指導委員会規則の一部改正(4 月 1 日から施行)</p> <p>11・21 一般会計 12 月補正予算</p> <p>11・21 平成 19 年度末津山市立小・中学校教職員人事異動要綱</p> <p>11・21 指定管理者選定の報告(加茂町・勝北文化センター)</p> <p>11・21 新津山洋学資料館建設事業 実施設計概要説明(業者選定、20 年度本体工事、21 年度移転、同 11 月開館)</p> <p>11・21 第 19 回全国生涯学習フェスティバル in 津山実施報告(11 月 3・4 日津山市主催事業 9,000 人、参加事業 36,250 人、協賛・協力事業 12,200 人、合計 57,450 人)</p> <p>11・21 新給食センターの進捗状況</p> <p>11・21 平成 20 年度市立幼稚園園児募集状況</p> <p>11・21 平成 19 年度全国学力・学習状況調査津山市結果の概要</p> <p>11・21 津山っ子こころのふれあいトーク開催説明(12 月 15 日)</p> <p>11・26 津山市は 20 年 4 月 1 日実施の組織機構改革の概要を発表</p> <p>12・15 津山市立鶴山中学校創立 30 周年記念が校内で開催、記念事業・合唱祭が 12 月 15 日ベルフォーレ津山で盛大に開催</p> <p>12・15 津山っ子こころのふれあいトーク開催(リージョンセンターペンタホール)</p> <p>12・15 アイススケート場・アイスランド津山がオープン</p> <p>12・20 津山市就学援助規則の制定 12 月定例市議会、一般質問内容 第 58 回津山市成人を祝う会開催説明</p> <p>12・25 津山市組織機構改革発表(基本的な立場・</p>	
--	--	--

	考え方、機構改革の主な特徴点)	
平成 20 年 (2008 年)	<p>1・07 津山市体育協会・新年互礼会開催</p> <p>1・13 第 58 回津山市成人を祝う会開催(1,268 人)</p> <p>1・25 津山文化センター条例施行規則の一部改正</p> <p>1・25 津山市加茂町文化センター条例施行規則の一部改正</p> <p>1・25 津山市勝北文化センター条例施行規則の一部改正</p> <p>1・25 音楽文化ホール・ベルフォーレ津山条例施行規則の一部改正</p> <p>1・25 平成 20 年度津山市立図書館の休館日</p> <p>1・25 津山市立学校給食センター条例の一部改正</p> <p>1・25 津山市機構改革に伴う教育委員会の組織・機構、事務分担</p> <p>1・25 給食センター業務委託</p> <p>1・30 学校給食試食会参加、市長、教育委員長、教育長、市教委関係者が加茂小学校を訪問、給食センター・学校・給食・献立等の説明を受け、各教室に分かれ児童と一緒に給食を試食</p> <p>2・01 津山市教育委員学校訪問(清泉小、清泉幼、広戸小、新野小、勝加茂小、広野小)</p> <p>2・08 教育問題懇談会(県教育庁、県教育委員 6 名と市町村教委連絡協議会の岡山市・吉備中央町・高梁市・津山市・美咲町の各教育委員長 5 名、懇談内容は 確かな学力の向上 特別支援教育)</p> <p>2・11 第 38 回津山市政功労者表彰式開催(個人 25 名)</p> <p>2・16 第 19 回津山幼児音楽祭開催(津山文化センター、10 園)</p> <p>2・21 津山市機構改革に伴う規則等の改正 津山市教育委員会教育長に対する事務委任規則の一部を改正する規則 津山市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の制定 津山市教育委員会処務規則の全部改正 津山市教育委員会事務決裁規定の一部を</p>	<p>1・17 中央教育審議会答申「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善について」</p> <p>2・24 橋本信子県教育委員長の就任</p> <p>3・28 文科省、新しい幼稚園教育要領、小学校学習指導要領及び中学校学習指導要領公示</p> <p>3・28 学校教育法施行規則の一部改正省令公布</p> <p>3 「第 2 次岡山県子ども読書活動推進計画～おかやまどんどん読書プラン～」の策定</p> <p>4・04 岡山県立新設特別支援学校開校準備事務局開所</p> <p>4・10 「県下一斉あいさつ運動」開始</p> <p>6・02 岡山県、財政危機宣言発表</p> <p>6・02 「いじめについて考える週間」として関連行事を開催</p> <p>6・20 文科省、「公立学校施設の耐震改修状況調査の結果について」公表</p> <p>7・01 教育振興基本計画策定</p> <p>7・10 「学校給食衛生管理の基準」の一部改訂について(通知)</p> <p>8・22 教員採用候補者選考試験等に係わる調査チームの調査結果として、不正行為は認められなかったことを公表するとともに、信頼確保のために今後の取り組むべきこと等を指摘</p> <p>8・22 中四国初高等部単独の特別支援学校の校名が「岡山瀬戸高等支援学校」に内定</p> <p>8・29 平成 20 年度全国学力・学習状況調査の岡山県結果の公表</p> <p>8・29 文科省、平成 20 年度全国学力・学習状況調査の結果について公表</p> <p>9・24 県内の学校給食における事故米穀の混入が判明</p> <p>10・18 「第 6 回森林(もり)を考える岡山県民のつどい」が、グリーンヒルズ津山で開催</p> <p>10・26 県知事選で、現職の石井正弘氏 4 選</p> <p>10・31 教育委員会発足 60 周年記念誌「岡山県教育委員会の歩み」を発行</p> <p>11・8 第 6 回おかやま県民文化祭・総合フェスティバル in 津山のイベント開催</p>

	<p>改正する規則</p> <p>津山市教育委員会で特殊な勤務に属する職員の勤務時間等に関する規程の一部を改正する規程</p> <p>津山市立学校整備審議会規則の一部を改正する規則</p> <p>非常勤嘱託給食調理員の任用および報酬、勤務時間その他の勤務条件に関する規程</p> <p>津山市立図書館条例施行規則の一部を改正する規則</p> <p>津山市文化振興基金事業運営委員会条例施行規則の一部を改正する規則</p> <p>津山市体育施設条例施行規則の一部を改正する規則</p> <p>津山市教育機関等職員採用規定を廃止する規程</p> <p>津山市立幼稚園施設整備補助金要綱を廃止する要綱</p> <p>津山市立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の廃止</p> <p>阿波山村開発センター奨励施行規則を廃止する規則</p> <p>加茂農林センター条例施行規則を廃止する規則</p> <p>勝北陶芸の里工房条例施行規則を廃止する規則</p> <p>津山市社会教育指導員設置規則を廃止する規則</p> <p>学校週 5 日制推進委員会要綱を廃止する要綱</p> <p>2・21 平成 19 年度 3 月補正予算</p> <p>2・21 平成 20 年度当初予算</p> <p>2・21 平成 20 年度津山市教育委員会学校教育課指導の方針と重点</p> <p>2・21 工事請負契約議案(津山洋学資料館新築関連工事)</p> <p>2・21 平成 19 年度青少年育成運動の実践調査研修事業、平成 19 年度津山っ子こころのふれあいトーク記録集</p> <p>2・21 津山市立幼稚園のあり方について(まとめ)及び幼児教育検討委員会</p>	<p>11・12 文科省、「『ネット上のいじめ』に関する対応マニュアル・事例集』発表</p> <p>12・19 県立岡山大安寺高等学校に、県内初の県立中等教育学校の設置を決定</p> <p>12・23 文科省、高等学校学習指導要領 改定案公表</p>
--	---	---

	<p>2・21 新給食センター関連業務</p> <p>2・21 津山市立加茂町公民館、久米公民館整備検討委員会</p> <p>2・26 津山市教育委員学校訪問(大崎小、林田小、高野小、成名小、高倉小、高田小)</p> <p>3・14 津山市立中学校卒業式 平成 19 年度末津山市学校教職員人事異動内申</p> <p>3・18 津山市立幼稚園卒園式</p> <p>3・19 津山市立小学校卒業式</p> <p>3・19 津山市規則等の改正 津山市立学校給食センター条例施行規則の一部を改正する規則 津山市就学規則の一部を改正する規則 津山市教育委員会公印規則の一部を改正する規則 津山市立学校管理規則の一部を改正する規則</p> <p>3・19 津山市指定文化財の名称等の変更</p> <p>3・19 平成 20 年度教育方針(案)</p> <p>3・19 津山市スポーツ振興基本計画</p> <p>3・19 平成 19 年度 3 月定例市議会</p> <p>3・19 平成 20 年度教育予算と主な事業</p> <p>3・19 平成 19 年度教育委員会各課の課題と実績</p> <p>3・27 津山市教育委員新給食センター施設見学会</p> <p>4・1 藤田長久 教育長に再任(～H22・3・31)</p> <p>4・1 機構改革により、教育委員会事務局は 5 課体制となり義務教育に特化 幼稚園はこども課が所管となる。</p> <p>4・1 戸島学校食育センターがオープン</p> <p>4・1 全小中学校に AED を設置</p> <p>4・1 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正(教育委員会の責任体制の明確化)</p> <p>4・1 「津山市教育委員会 55 年のあゆみ」教育委員会発足 55 周年 発刊</p> <p>4・3 津山市役所まるごと美術館オープン</p> <p>4・4 「第 15 回西東三鬼賞」表彰式で、大賞に花谷清氏の句を選定</p> <p>4・8 津山市立小学校入学式</p>	
--	---	--

<p>4・9 津山市立中学校入学式</p> <p>4・10 津山市立幼稚園入園式</p> <p>4・15 津山市が勝北地区4保育所を統合、子育て支援拠点「勝北統合保育所（仮称）」の起工式挙行</p> <p>4・18 津山さくらまつり開催</p> <p>4・22 全国学力・学習状況調査実施</p> <p>4・26 新津山洋学資料館の起工式挙行</p> <p>5・1 学校給食の未納対策の取組強化</p> <p>5・8 「まちの再生・活性化のありかた委員会」発足</p> <p>5・9 箕作阮甫が創立にかかわった東大医学部付属病院の150年記念式典に津山市招待</p> <p>5・10 東小学校耐震改修工事（校舎は改築、体育館は補強工事）の実設計着手</p> <p>5・19 「第1回津山市学力向上構想懇談会」開催</p> <p>5・23 教育委員学校訪問（第1日目）開始〔12月16日までの10日間〕</p> <p>6・25 「津山市高倉地区活性化実行委員会」発足（地域の歴史や文化を共有し、地域づくりに生かす）</p> <p>6・26 高田小学校の管理棟改築工事及び教室棟耐震補強・大規模改修工事着工</p> <p>6・26 西小学校の校舎及び屋内運動場耐震・大規模改修工事着工</p> <p>6・26 津山市幼稚園保育料徴収条例施行規則の一部改正</p> <p>7・7 イルカ（本名・神部としえ）さん津山市政アドバイザーに就任</p> <p>7・11 南小学校、秀実小学校、中正小学校の耐震補強等の実施計画着手</p> <p>7・11～13 美作地区中学校総合体育大会開催</p> <p>7・12 「福祉の就職総合フェア2008 夏」が津山国際ホテルで開催</p> <p>7・22 津山城跡本丸の天守台北側で古墳の土止めと思われる列石発見</p> <p>8・2 津山納涼ごんごまつり開幕</p> <p>8・7 津山市総社の美作国府跡から奈良時代の1辺約3㍍の大井戸が見つかり、中から「檜扇」出土</p> <p>8・6 北京五輪サッカーの競技が始まり、岡山湯</p>	
--	--

	<p>郷ベルの宮間、福元両選手出場</p> <p>8・6 秀実小学校体育館の耐震工事完了</p> <p>8・6 作陽高校ゴルフ部、全国高校ゴルフ選手権大会の女子団体が初優勝（創部3年目で快挙）</p> <p>8・9～11 第45回津山市中学生野球大会開催</p> <p>8・28 津山市文化センター条例の一部改正</p> <p>8・28 津山市文化センター条例施行規則の一部改正</p> <p>8・28 音楽文化ホール・ベルフォーレ津山条例の一部を改正する条例</p> <p>8・28 音楽文化ホール・ベルフォーレ津山条例施行規則の一部を改正する規則</p> <p>8・28 津山市展示ホール条例の一部を改正する条例</p> <p>8・28 津山市展示ホール条例施行規則の一部改正</p> <p>8・28 津山市立学校管理規則の一部改正</p> <p>8・28 教育委員会職員職名規則の一部改正</p> <p>8・29 津山市立小中学校適正規模・適正配置検討懇談会を設置</p> <p>9・1 津山市戸島学校食育センターが本格的に稼働、旧市内の小中学校の5,000食を調理、市内すべての小中学校が完全給食</p> <p>9・24 南小学校耐震化工事着手</p> <p>9・26 国の文化審議会は、JR 因美線美作滝尾駅の駅舎を登録有形文化財にするよう文部科学大臣に答申</p> <p>10・1 岸本伍郎 教育委員再任（～H24・9・30）</p> <p>10・3 津山市教委は、佐良山小学校でパソコン4台盗難の発表</p> <p>10・5 「城西まるごと博物館フェア」開催</p> <p>10・12 「第37回つやま市民スポーツ祭」が津山陸上競技場を主会場に開催</p> <p>10・15 「60・15キャンペーン」啓発キャラクターデビュー</p> <p>10・15 「第14回津山市立幼稚園合同保育ワイワイまつり」開催</p> <p>10・19 「津山まつり」が大隅神社・高野神社の例祭で開幕（だんじり23台出動）</p> <p>10・30 幼稚園規則の一部改正</p>	
--	--	--

	<p>10・31 「津山で育って良かった」津山っ子育成共同アピール発表</p> <p>11・2 第 19 回出雲街道「津山城東むかし町」が津山市の城東地区で開催</p> <p>11・3 津山市文化功労者表彰式</p> <p>11・10 J R 滝尾駅が国の登録文化財に選定</p> <p>11・13～14 津山市小中学校音楽研究演奏会開催</p> <p>11・25 津山市幼児教育検討委員会「これからの津山市の幼児教育のあり方について」中間報告</p> <p>12・13 県北唯一のアイススケート場、アイスランド津山がオープン</p> <p>12・14 第 26 回津山第九演奏会が音楽文化ホール・ベルホーレ津山で開催</p> <p>12・18 津山市教育委員会会議規則の一部改正</p> <p>12・18 津山市教育委員会傍聴人規則の全部改正</p> <p>12・26 吉井常浩 教育委員就任(～H24・12・25)</p>	
平成 21 年 (2009 年)	<p>4・1 学力向上「げんぼプロジェクト」の取組スタート(学力向上キャラクター[げんぼくん]登場)</p> <p>4・3 「第 16 回西東三鬼賞」表彰式で、大賞に谷口静江氏の句を選定</p> <p>4・7 津山市立小学校入学式</p> <p>4・8 津山市立中学校入学式</p> <p>4・9 津山市立幼稚園入園式</p> <p>4・18 津山市教委は、地蔵院(小田中)の本堂と愛宕堂附(つきたり)棟礼の 2 件を市重要文化財に指定</p> <p>4・21 全国学力・学習状況調査実施</p> <p>4・23 津山市立学校職員服務規程の一部改正</p> <p>4・23 津山市就学援助規則の一部改正</p> <p>4・23 津山市文化財保護条例施行規則の一部改正</p> <p>5・8 津山市立小中学校の耐震化診断公表</p> <p>5・19 教育委員学校訪問(第 1 日目)開始[11 月 30 日までの 10 日間]</p> <p>5・21 津山洋学資料館設置条例の一部改正</p> <p>5・26 津山新洋学資料館が完成(来春オープン予定)</p> <p>5・30 津山市で初の J リーグ公式戦が開催</p> <p>6・4 東小学校耐震改修工事(校舎は改築、体育</p>	<p>1・21 県の平成 20 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を発表</p> <p>1・23 県立図書館、貸出冊数 500 万部突破</p> <p>1・30 文部科学省 携帯電話の取扱い等に関する調査の結果を踏まえ「学校における携帯電話等の取扱い等について」を通知。児童生徒の小・中学校へ携帯電話の持ち込みを原則禁止したほか、高等学校においても使用の制限を設けることを通知</p> <p>2・24 中島義雄県教育委員長の就任</p> <p>4・06 県立新設中等教育学校開校準備事務局の開所 県立新設特別支援学校開校準備事務局の開所</p> <p>4・10 県立岡山瀬戸高等支援学校の開校及び第 1 回入学式</p> <p>4.13 県立久米・津山地域新高等学校開校準備委員会の開所</p> <p>4・21 平成 21 年度全国学力・学習状況調査の実施</p> <p>4・27 「海外での豚インフルエンザの発生について」通知(以後、継続して「新型インフルエンザ」に関する通知を出し、対応等について周知)</p> <p>5・ 新型インフルエンザの国内発生</p> <p>6・16 岡山県の「公立学校施設の耐震改修状況調</p>

	<p>館は補強工事)の実施設着手</p> <p>6・24 津山市幼稚園保育料徴収条例施行規則の改正</p> <p>6・25 津山地区の中学校、高校、医療機関、市民団体等は、不登校の調査研究、生徒、保護者への情報提供等を行う「美作地域不登校支援ネットワーク(仮称)」の設立協議</p> <p>6・27 前津山市長・中尾嘉伸氏逝去</p> <p>7・10 広報紙「教育委員会だより(かわら版)」発行(7月・12月・3月)</p> <p>7・10～12 美作地区中学校総合体育大会開催</p> <p>7・20 津山市子どもまつり開催</p> <p>7・23 史跡美作国分寺跡追加指定(追加指定面積:約3,155㎡、指定面積が約30,790㎡)</p> <p>7・23 津山洋学資料館設置条例施行規則の一部改正</p> <p>8・1 県近代化遺産の旧中島病院本館がまちづくり拠点施設「城西浪漫館」として開館</p> <p>8・1～2 第31回津山納涼ごんごまつり開催</p> <p>8・4 中国地方が梅雨明け(過去最遅)</p> <p>8・4 津山市制80周年記念イベント「夏季巡回ラジオ体操」が、津山市中央公園グラウンドで開催</p> <p>8・8～10 第46回津山市中学生野球大会開催</p> <p>8・26 中正小学校体育館の耐震工事完了</p> <p>9・1 津山市立小中学校の耐震化推進計画公表</p> <p>9・2 津山市立図書館巡回カー「ぶっくまる」お披露目</p> <p>9・13 津山市民総合音楽祭開幕</p> <p>9・20 B級グルメの祭典「第4回B-1グランプリ」で、津山ホルモンうどん研究会が初出場で3位</p> <p>9・28 新潟国体ゴルフ競技で、作陽高校1年・加藤龍太郎選手が少年男子個人で優勝</p> <p>9・30 津山市学校給食食育将来計画検討懇談会を設置し、第1回検討懇談会を開催</p> <p>10・4 津山・城西まるごと博物館フェアで、県内最古のだんじり、宮脇町「簾珠台」が「昇(か)き山」へ戻して担がれる(約120年ぶり)</p>	<p>査」の結果公表、全国の結果の公表</p> <p>7・21 「新型インフルエンザの影響による国内修学旅行の中止又は延期の状況等に関する調査」結果の公表</p> <p>7・22 日本で46年ぶりとなる皆既日食があり、美作地域でも部分日食</p> <p>8・27 「平成21年度全国学力・学習状況調査」岡山県の結果の公表、国の結果の公表</p> <p>10・1 「ネットパトロール事業」の開始(年度末まで)</p> <p>10・18 県立岡山大安寺中等教育学校の第1回説明会実施</p> <p>11・26 県立学校入学者選抜において、新型インフルエンザへの対応として、高等学校の1期及び高等特別支援学校、特別支援学校高等部の選抜において追受検の機会を設けることを決定</p> <p>11・30 平成20年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」結果(暴力行為、いじめ等)の発表</p> <p>12・18 平成21年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の岡山県の結果について発表</p>
--	---	--

	<p>10・11 「第 38 回つやま市民スポーツ祭」開催</p> <p>10・20 津山市制施行 80 周年記念事業「第 15 回記念大会津山市立幼稚園合同保育ワイワイまつり」開催</p> <p>10・23 高田小学校管理棟改築工事完了</p> <p>10・25 津山市教育センター「鶴山塾」開塾 25 周年</p> <p>10・28 西小学校耐震化大規模改修工事完了</p> <p>10・31 「津山ふるさと検定」実施</p> <p>11・6 新津山洋学資料館、オランダ・ライデン市にある博物館「シーボルトハウス」と友好館提携</p> <p>11・3 津山市文化功労者表彰式</p> <p>11・7 産業考古学会の全国大会が津山高旧本館で開催</p> <p>11・12 県、グラスハウスを津山市へ無償譲渡</p> <p>11・19～20 津山市小中学校音楽研究演奏会開催</p> <p>11・22 津山市体育協会 60 周年記念式典開催</p> <p>11・24 秀実小学校校舎・体育館の耐震工事完了</p> <p>11・25 津山市学校管理規則の一部改正</p> <p>12・5 明石署は、女子高生に対する脅迫の疑いで津山東中教諭を容疑者として逮捕</p> <p>12・16 本願寺本堂・庫裏など新たに 2 件を市重要文化財に指定</p> <p>12・24 津山市公民館条例施行規則の改正</p> <p>12・24 岡山県婦人青年の家の管理運営に関する規則の廃止</p>	
平成 22 年 (2010 年)	<p>1・4 津山ホルモンうどんのテレビ、雑誌などによる PR 効果が 2008 年 3 月からの 1 年 10 ヶ月間で 2 億 3,700 万円の上と推計</p> <p>1・10 第 60 回津山市成人を祝う会開催(1,160 人)</p> <p>1・26 津山市が弥生住居址群で進めていた復元竪穴式住居の改築工事が完了し、完成式典挙行 2・11 津山市政功労者の表彰式開催(善行表彰 2 団体と 2 人、一般表彰の 13 人)</p> <p>2・19 久米中学校屋内運動場の耐震改修工事着手</p> <p>2・21 任期満了に伴う津山市長選が投票、新人の宮地昭範氏が初当選</p>	<p>1・25 教職員の相次ぐ不祥事の発生を受け、緊急校長会実施</p> <p>2・01 「第 3 次岡山県生涯学習推進基本計画」策定</p> <p>2・05 「岡山県教育振興基本計画 - 未来を拓く人づくりプラン -」策定(平成 22～26 年度)</p> <p>2・24 松田欣也教育委員長就任</p> <p>3・04 平成 22 年度全国学力・学習状況調査における抽出調査への協力及び希望利用に関する照会の回答状況について発表(岡山県の抽出率 37.2%、抽出及び希望利用の割合 91.2%)</p> <p>4・ 公立高等学校授業料無償化の開始</p> <p>4・02 生徒指導に関する学校・教職員向けの基本</p>

2・25	津山市教育委員会公印規則の改正	書「生徒指導提要」配付
2・25	津山市立学校管理規則の改正	4・08 県立岡山大安寺中等教育学校第1回入学式
2・26	「津山市学力向上構想懇談会」の最終報告	4・09 平成21年度児童生徒の自殺予防に関する調査研究協力者会議審議のまとめ発表
3・3	「第17回西東三鬼賞」表彰式で、大賞に安藤辰彦氏の句を選定	4・20 平成22年度全国学力・学習状況調査の県内実施状況発表(平成22年度から抽出にて実施)
3・3	蔵書管理に「ICタグシステム」を導入し、津山市立図書館と三つの地区図書館がリニューアルオープン	7・21 「公立学校施設の耐震改修状況調査」の岡山県の結果について発表、国も公表
3・16	津山市立中学校卒業式	7・30 「平成22年度全国学力・学習状況調査」岡山県の結果の概要について発表
3・18	津山市立幼稚園卒園式	8・05 「児童生徒の問題行動等に関する調査」岡山県の結果について発表
3・19	新津山洋学資料館が西新町の城東町並み保存地区にオープン	8・05 「平成21年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」(小中不登校)について(8月速報値)国が発表
3・20	全国ご当地グルメが一堂に集結した「おかやまB級グルメフェスタ」が、津山市大田のグリーンヒルズ津山で開幕(2日間で県内外から約15万人)	8・17 中国5県で全国中学校体育大会の開催(~25日まで)
3・18	津山市立幼稚園卒園式	8・24 「県庁 子ども参観日」の実施
3・24	津山市立小学校卒業式	9・14 平成21年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」結果(暴力行為、いじめ、高等学校不登校等)について国が発表
3・25	津山市学校給食食育将来計画の策定	9・16 教員免許更新制について現行制度の確認
3・25	津山市立学校管理規則の改正	10・30 「第25回国民文化祭・おかやま2010 あっ晴れ!おかやま国文祭」の開催(美作地域では18の催し)
3・25	津山市青少年育成センター条例施行規則の改正	11・7 「おかやま国文祭」閉幕(8,000人)
4・1	田村芳倫 教育長就任(~H24・3・31)	12・1 平成21年度の学校給食費の徴収状況を抽出により調査し、「学校給食費の徴収状況に関する調査の結果」発表(未納者のいる学校の割合約55.4%、原因に対する学校の認識では「保護者としての責任感や規範意識の問題」が(53.4%))
4・8	津山市立小学校入学式	12・7 O E C D生徒の学習到達度調査(P I S A)2009年調査の結果について発表(2006年調査に比較し向上)
4・8	米粉入りパン給食スタート	12・16 平成22年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果発表(岡山県、全国)
4・9	津山市立中学校入学式	
4・12	津山市立幼稚園入園式	
4・16	津山文化連盟は、2009年度「くすのき賞」受賞者に「タンポポの家」代表の檜本真弓さんと、「津山《風と光と心の劇場》実行委員会」を選定	
4・20	全国学力・学習状況調査実施	
4・21	津山市教育センター鶴山塾運営委員会規則の一部改正	
5・13	津山市の城東地区旧出雲街道130㍍区間で無電柱化	
5・21	津山市教育委員会処務規則の一部改正	
5・21	津山市教育委員会職員職名規則の一部改正	
5・21	津山市加茂町文化センター条例の一部改正	

<p>5・21 津山市勝北文化センター条例の一部改正</p> <p>6・4 津山市教委は泰安寺境内を市重要文化財に指定（市重要文化財は152件）</p> <p>6・18 教育委員学校訪問（第1日目）開始〔11月22日までの10日間〕</p> <p>6・28 津山市立学校給食センター条例施行規則の一部改正</p> <p>6・28 津山市立幼稚園保育料徴収規則の一部改正</p> <p>6・28 津山市公民館使用基準の制定</p> <p>6・29 津山市立学校の適正な規模や配置等に関する基本方針の策定</p> <p>7・7 津山っ子を守り育てる市民の会・結成 20年</p> <p>7・7 佐良山小学校屋内運動場・付属棟増築工事完了</p> <p>7・9～11 美作地区中学校総合体育大会開催</p> <p>7・16 旧中島病院本館が国の登録有形文化財に選定</p> <p>7・27 津山市加茂町文化センター条例施行規則の一部改正</p> <p>7・27 津山市勝北文化センター条例施行規則の一部改正</p> <p>8・7～9 第47回津山市中学生野球大会開催</p> <p>8・20 東中学校の武道場の改修工事にかかる実施設計着手</p> <p>8・25 津山市が本年度から6年間の指針とする第9次行財政改革大綱策定</p> <p>8・26 通級指導教室新設が北小学校設置に決定（市内小学校2校目）</p> <p>9・3 西中学校の武道場の改修工事にかかる実施設計着手</p> <p>9・5 「2010津山市民総合音楽祭」開幕（約70団体）</p> <p>9・9 久米中学校管理棟・特別教室棟の耐震化改修工事着手</p> <p>9・19 神奈川県厚木市で開かれた「第5回B-1グランプリ」で津山ホルモンうどんは4位</p> <p>9・23 津山城の「鐘の音」復活</p> <p>9・27 津山市立学校管理規則及び津山市立学校職員服務規程の一部改正</p>	
--	--

	<p>9・29 津山市体育協会に加盟の武道 7 団体で構成する「津山武道学園」設立</p> <p>10・10 「第 39 回つやまスポーツ祭」開催</p> <p>10・19 「第 16 回津山市立幼稚園合同保育ワイワイまつり」開催</p> <p>10・22 東小学校の起工式行挙行（来年 8 月に完成予定）</p> <p>10・27 津山郷土博物館条例施行規則の一部改正</p> <p>10・27 津山洋学資料館設置条例施行規則の一部改正</p> <p>10・27 津山市執行機関の付属機関設置条例の一部を改正する条例</p> <p>10・27 津山市体育施設条例の一部改正</p> <p>10・27 津山市立幼稚園預かり保育条例の制定</p> <p>11・3 津山文化功労者表彰式</p> <p>11・7 津山城東むかし町が開催(2万5,000人)</p> <p>11・12 第 2 回「JIA 中国建築大賞 2010」で津山洋学資料館が一般建築部門の大賞受賞</p> <p>11・18～19 津山市小中学校音楽研究演奏会開催</p> <p>11・25 津山市立図書館管理運営検討委員会設置要綱の廃止</p> <p>12・1 鶴山小学校創立 30 周年記念で、児童が制作した愛唱歌「心つなげて」を初披露</p> <p>12・11 津山っ子こころのふれあいトーク開催（150名）</p> <p>12・22 津山市学校給食施設等整備検討委員会規則の制定</p> <p>12・22 津山市体育施設条例施行規則の一部改正</p> <p>12・22 津山市立幼稚園預かり保育条例施行規則の制定</p> <p>12・22 久米集会ホール条例施行規則の廃止</p> <p>12・25 居原田洋子 教育委員就任 (～H26・12・24)</p> <p>12・25 渡邊信介 教育委員就任 (～H26・12・24)</p>	
<p>平成 23 年 (2011 年)</p>	<p>1・9 第 61 回津山市成人を祝う会開催(1,083人)</p> <p>1・25 津山市立学校管理規則の一部改正</p> <p>2・18 県教委は県重要無形文化財に木工芸作家小椋芳之さん(鉄砲町)を認定</p> <p>2・22 津山市教育委員会処務規則の一部改正</p>	<p>2・21 新岡山幼稚園教育振興計画策定</p> <p>2・24 橋本信子教育委員会委員長就任</p> <p>3・11 東日本大震災発生 午後 2 時 46 分頃国内観測史上最大の地震があり、東北を中心に北海道から九州にかけて揺れを観測。さらに大津波が発生して</p>

	<p>2・22 津山市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の一部改正</p> <p>2・22 教育長の職務代理者を定める規則の一部改正</p> <p>2・22 津山市教育委員会職員職名規則の一部改正</p> <p>2・7 南小学校校舎耐震工事完成</p> <p>3・5 「殿田1号墳及び荒神西古墳出土遺物」1件を市重要文化財に指定</p> <p>3・13 東日本大震災を受け、美作地区でも支援体制の輪が広がり式典などは自粛相次ぐ</p> <p>3・15 津山市立中学校卒業式</p> <p>3・18 津山市立幼稚園卒園式</p> <p>3・23 津山市立小学校卒業式</p> <p>3・26 津山市の中央公園グラウンドに整備を進めていた弓道場が完成し、落成式開催</p> <p>3・28 津山市公民館条例施行規則の一部改正</p> <p>3・28 津山市教育委員会公印規則の一部改正</p> <p>3・28 津山市立学校整備審議会規則の一部改正</p> <p>3・28 津山市教育委員会事務決裁規定の一部改正</p> <p>3・28 津山市教育委員会で特殊な勤務に従事する職員の勤務時間に関する規程の一部改正</p> <p>3・28 津山市学校教育研究センター規程の廃止</p> <p>3・28 津山市学校教育研究センター規程の制定</p> <p>3・28 津山市心身障害児就学指導委員会規則の一部改正</p> <p>3・28 津山市学校給食施設等整備検討委員会規則の一部改正</p> <p>3・28 グラスハウス条例施行規則の制定</p> <p>3・28 津山市体育施設条例施行規則の一部改正</p> <p>3・31 津山だんじり、大隅神社御輿等修理事業。国の補助事業「ふるさと文化再生事業」で、県指定の津山だんじり4基、市指定の大隅神社神輿1基の修理及び県指定高田神社の獅子舞・市指定横野和紙制作技術の記録映画を作成</p> <p>4・1 津山市教育委員会が、機構改革により、学校教育部（教育総務課・学校施設課・学校教育課・保健給食課）と生涯学習部（生涯学</p>	<p>多くの家屋が倒壊、流された。また、福島第一原発の炉の一つが冷却できない状況となり、政府が初の原子力緊急事態宣言</p> <p>3・14 東日本大震災における被災地域の児童生徒等の就学機会の確保等について都道府県教育委員会へ通知</p> <p>3・17 被災地域の児童生徒の就学機会の確保等について県立学校・市町村教育委員会へ通知</p> <p>3・18 震災の影響により、平成23年度の全国学力・学習調査の実施を取りやめ</p> <p>4・01 竹井千庫教育長就任</p> <p>4・01 指導課生徒指導推進室設置</p> <p>4・01 教員免許更新制における免許状更新講習の修了確認申請状況等に関する調査結果を発表</p> <p>4・14 公立中学1年生を対象に、独自の学力テストを実施</p> <p>5・23 特別支援学校の生徒が死亡した件で、母親が逮捕監禁致死で逮捕</p> <p>5・26 全国学力・学習調査の問題冊子等の配付を決定</p> <p>6・01 平成22年度児童生徒の自殺予防に関する調査研究協力者会議審議のまとめを発表</p> <p>6・16 公立学校園における児童虐待の状況等を発表</p> <p>7・01 独自学力テストの結果を公表</p> <p>7・07 東日本大震災の被害を踏まえた学校施設の整備について緊急提言を公表</p> <p>7・11 養護教諭制度70周年記念学校保健功労者文部科学大臣表彰被表彰者決定</p> <p>7・14 児童虐待防止検討委員会設置、第1回会議を開催</p> <p>7・18 女子サッカーW杯ドイツ大会の決勝で、日本女子代表・なでしこジャパンが岡山湯郷ベルのMF宮間あやの活躍などで、アメリカを2-2(PK3-1)で破り、悲願の初制覇</p> <p>8・04 平成22年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査結果を公表</p> <p>8・04 児童生徒の問題行動等に関する調査結果で、不登校及び暴力行為が全国ワースト1</p> <p>8・22 児童生徒の問題行動等に関する臨時校長会を2日間にわたり開催</p> <p>9・02 生涯学習センター未来科学棟(仮称)整備基本計画を策定</p> <p>9・05 平成23年度全国学力・学習調査の問題冊子等を配付</p> <p>10・03 全庁横断的な[学校の荒れ]対策検討チ</p>
--	---	--

	<p>習課・図書館・文化課・スポーツ課)の2部制でスタート</p> <p>4・1 学級安全サポート事業スタート(市内の小中学校で36人以上の学級と在籍数6人以上の特別支援学級のうち8学級に、非常勤講師を配置し、少人数指導を充実)</p> <p>4・1 津山市佐良山地区で住民と協力事業所5団体による高齢者家庭が対象の「見守り・安心お互いさま協働運動」開始</p> <p>4・1 学齢簿電算化スタート</p> <p>4・2 「第18回西東三鬼賞」表彰式で、大賞に石井久子氏の句を選定</p> <p>4・8 津山市立小学校入学式</p> <p>4・8 単独調理校の地場産野菜使用日の拡大(月1回から週2回)</p> <p>4・11 津山市立中学校入学式</p> <p>4・12 津山市立幼稚園入園式</p> <p>4・24 津山市弓道場の道場開き</p> <p>4・26 津山市教育振興基本計画検討委員会設置規則の制定</p> <p>4・29 今月から市営化したガラスハウスがリニューアルオープン</p> <p>5・12 「津山松平藩主所用輿」と「津山松平藩主所用乗物」の2件を市重要文化財に指定</p> <p>5・21～22 B級ご当地グルメの祭典「近畿・中国・四国B-1グランプリ in 姫路」が開催(津山ホルモンうどん2位)</p> <p>5・25 文化庁が国宝や重文の修復資材確保などのために設ける「ふるさと文化財の森」に、初めて津山市から県有杉・ヒノキ林(加茂町倉見)と西上山林組合ヒノキ林(西山)選定</p> <p>5・26 教育委員学校訪問(第1日目)開始[11月24日までの10日間]</p> <p>5・29 台風2号で被害発生</p> <p>6・9 津山市教育振興基本計画検討委員会の設置</p> <p>6・26 老朽化に伴う久米公民館改築工事の起工式挙行(H24・2月末完成予定)</p> <p>6・28 津山市立幼稚園保育料徴収条例施行規則の一部改正</p> <p>7・8～10 美作地区中学校総合体育大会開催</p>	<p>ーム設置、第1回会議を開催</p> <p>10・07 児童虐待防止検討委員会においてまとめた、児童虐待防止に向けて取り組むべき内容を報告</p> <p>10・18 優れた[地域による学校支援活動]推進にかかる文部科学大臣表彰を創設</p> <p>11・13 伊藤園レディースゴルフトーナメントで、津山市国分寺の藤本麻子プロが、劇的な逆転で初優勝</p> <p>12・09 平成24年度学力・学習状況調査の実施要領の通知</p> <p>12・22 第3次岡山夢づくりプラン策定</p>
--	--	--

	<p>8・6～7 「第33回津山納涼ごんごまつり」開催</p> <p>8・6～8 第48回津山市中学生野球大会開催</p> <p>8・17 東小学校校舎改築工事完成</p> <p>8・10 全国高校総体で、作陽高校柔道部が男子団体で準優勝</p> <p>8・20 北陵中学校屋内運動場の耐震化工事着手</p> <p>8・23 津山市立学校職員服務規程の一部改正</p> <p>8・29 津山市は、平成15年10月21日に小学校で女子児童が授業中転倒し、半身まひなどの後遺症が残った事故について管理責任を認め、1億円の損害賠償金を支払うことで和解したと発表（市の賠償額では過去最高）</p> <p>9・7 津山市勝間田町の「荻田家住宅と酒造場」市指定文化財</p> <p>9・15 津山西中学校武道場の建築は木造で建設に着工</p> <p>9・17 津山市総合音楽祭が「未来に架ける人の輪・音の輪」をテーマに開幕</p> <p>9・20 鶴山動物園が閉園（56年の歴史に幕）</p> <p>9・28 津山市立学校管理規則の一部改正</p> <p>9・28 津山市就学援助規則の廃止</p> <p>10・4 放送大学岡山学習センター津山教室開設</p> <p>10・7 勝北柔剣道クラブが「生涯スポーツ優良団体・文部科学大臣表彰」受賞</p> <p>10・7 第66回国民体育大会の男子の部で、作陽高校のトリオが優勝し、個人でも加藤龍太郎選手（3年）が優勝</p> <p>10・9 「第40回つやまスポーツ祭」開催</p> <p>10・13 「第17回津山市立幼稚園合同保育ワイワイまつり」開催</p> <p>10・27 西小学校が「学校保健及び学校安全・文部科学大臣表彰」受賞</p> <p>11・3 津山市文化功労者表彰式開催</p> <p>11・12 姫路市で開かれた「第6回B-1グランプリ」で、津山ホルモンうどんがシルバーグランプリ</p> <p>11・14 「津山市学校給食施設等整備計画」（案）公表</p> <p>11・17～18 津山市小中学校音楽研究演奏会開催</p> <p>11・19 「旧梶村氏庭園」が県内初の国登録記念物</p>	
--	--	--

	<p>として選定。「城東むかし町家（旧梶村家住宅）」内にある昭和初期に整備された「梶村氏庭園」（東新町、西新町）が、岡山県下で初めて国登録記念物（名勝地）に選定</p> <p>11・22 津山東中学校 PTA が「優良 PTA・文部科学大臣表彰」受賞（北陵中学校 PTA [H11] 林田小学校 [H18] に次いで 3 番目）</p> <p>11・30 東京スカイツリーの展望台に、津山郷土博物館所蔵の「江戸一目屏風（鋏形蕙齋作）」レプリカの設置決定</p> <p>12・4 師走恒例の「津山第九演奏会」が津山文化センターで開催</p> <p>12・27 津山市体育指導委員に関する規則の一部改正</p> <p>12・27 津山市教育委員会処務規則の一部改正</p> <p>12・27 津山市立小中学校の校庭等の開放に関する規則の一部改正</p> <p>12・27 津山市教育委員会事務決裁規程の一部改正</p>	
<p>平成 24 年 （2012 年）</p>	<p>1・8 第 62 回津山市成人を祝う会開催（1,078 人）</p> <p>1・13 「津山市食物アレルギーの対応マニュアル」策定</p> <p>1・24 津山市公民館条例施行規則の一部改正</p> <p>1・24 津山市体育指導委員に関する規則の一部改正</p> <p>2・14 臨時教育委員会にて「津山市教育振興基本計画」が承認・策定となる</p> <p>2・28 津山市立小学校及び中学校の設置に関する条例の一部改正</p> <p>2・28 津山市公民館条例の一部改正</p> <p>2・28 津山市立図書館条例の一部改正</p> <p>2・28 津山郷土博物館条例の一部改正</p> <p>2・28 津山洋学資料館設置条例の一部改正</p> <p>3・4 東小学校校舎落成記念式</p> <p>3・13 津山市立中学校卒業式</p> <p>3・15 津山城宮川門跡石垣保存修理完了</p> <p>3・16 津山市立幼稚園卒園式</p> <p>3・20 津山市指定重要文化財八出天満宮保存修理完了</p>	

3・22	津山市立小学校卒業式	
3・30	「第 19 回西東三鬼賞」表彰式で、大賞に 澤本三乗氏の句を選定	
3・31	就学援助システム完成	
4.1	田村芳倫 教育長再任(~ H28.3.31)	

津山市教育委員会発足 60 周年 記録・教育略年表など作成資料

参考文献

- ・ 津山市史 第七巻現代 大正・昭和時代 津山市史編さん委員会 昭和 60 年 3 月
- ・ 津山市議会 50 年のあゆみ 津山市議会事務局 昭和 54 年 2 月
- ・ 市制 15 年の歩み 昭和 58 年 3 月
- ・ 津山市教育要覧 1967 20 年の歩み 津山市教育委員会 昭和 43 年 3 月 1 日
(新学制 20 周年記念 昭和 22 年(1947 年)～昭和 42 年(1967 年))
5 年不明(43.44.45.46.47 年度)
- ・ 津山市の教育 '73(昭和 48 年度) 津山市教育委員会 昭和 48 年 8 月 B5 版
1 年不明(昭和 49 年度)
- ・ 津山市の教育 '75(昭和 50 年度) 津山市教育委員会 昭和 50 年 8 月
2 年不明(昭和 51.52 年度)
- ・ 津山市の教育 '78(昭和 53 年度) 津山市教育委員会 昭和 53 年 12 月
3 年不明(昭和 54.55.56 年度)
- ・ 津山市の教育 '82(昭和 57 年度) 津山市教育委員会 昭和 年 月
2 年不明(昭和 58.59 年度)
- ・ 津山市の教育 '86(昭和 60 年度) 津山市教育委員会 昭和 61 年 3 月
2 年不明(昭和 61.62 年度)
- ・ 津山市の教育 '88(昭和 63 年度) 津山市教育委員会 昭和 63 年 9 月
- ・ 津山市の教育 '89(平成元年度) 津山市教育委員会 平成元年 8 月
- ・ 津山市の教育 '90(平成 2 年度) 津山市教育委員会 平成 2 年 8 月
- ・ 津山市の教育 '91(平成 3 年度) 津山市教育委員会 平成 3 年 月
- ・ 津山市の教育 '92(平成 4 年度) 津山市教育委員会 平成 4 年 月
- ・ 津山市の教育 '93(平成 5 年度) 津山市教育委員会 平成 年 月
- ・ 津山市の教育 1994(平成 6 年度) 津山市教育委員会 平成 年 月 A4 版
- ・ 津山市の教育 '95(平成 7 年度) 津山市教育委員会 平成 年 月
- ・ 津山市の教育 '96(平成 8 年度) 津山市教育委員会 平成 年 月
- ・ 津山市の教育 '97(平成 9 年度) 津山市教育委員会 平成 年 月
- ・ 津山市の教育 '98(平成 10 年度) 津山市教育委員会 平成 年 月
- ・ 津山市の教育 '99(平成 11 年度) 津山市教育委員会 平成 年 月
- ・ 津山市の教育 12 年度(2000 年度) 津山市教育委員会 平成 年 月
- ・ 津山市の教育 13 年度(2001 年度) 津山市教育委員会 平成 年 月
- ・ 津山市の教育 14 年度(2002 年度) 津山市教育委員会 平成 年 月
- ・ 津山市の教育 15 年度(2003 年度) 津山市教育委員会 平成 15 年 7 月
- ・ 津山市の教育 16 年度(2004 年度) 津山市教育委員会 平成 16 年 8 月
- ・ 津山市の教育 17 年度(2005 年度) 津山市教育委員会 平成 17 年 8 月
- ・ 津山市の教育平成 18 年度(2006 年度) 津山市教育委員会 平成 18 年 11 月
- ・ 津山市の教育平成 19 年度(2007 年度) 津山市教育委員会 平成 19 年 9 月
- ・ 津山市の教育平成 20 年度(2008 年度) 津山市教育委員会 平成 20 年 7 月
- ・ 津山市の教育平成 21 年度(2009 年度) 津山市教育委員会 平成 21 年 6 月

- ・ 津山市の教育平成 22 年度（2010 年度） 津山市教育委員会 平成 22 年 8 月
- ・ 津山市の教育平成 23 年度（2011 年度） 津山市教育委員会 平成 23 年 7 月
- ・ 津山市立幼稚園のあゆみ（誕生 80 年記念） 津山市教育委員会 平成元年 3 月
- ・ 岡山県教育委員会五十年の歩み 教育委員会発足 50 周年記念誌 岡山県教育委員会
平成 10 年 10 月
- ・ 教育委員会の歩み 40 年 教育委員会発足 40 周年記念誌 岡山県教育委員会
昭和 63 年 11 月
- ・ 津山朝日新聞 今年の回顧
昭和 31 年（1956 年）～昭和 56 年（1981 年）[26 年間のうち昭和 39.42.55 年は保存・
記載なし]、昭和 57 年（1982 年）～昭和 63 年（1988 年）、平成元年（1989 年）～平成
23 年（2011 年）
- ・ 岡山県ホームページ・教育史年表（全国）（岡山県） 昭和 20 年～平成 23 年
- ・ 五十年のあゆみ 1992・11 五十周年実行委員会編 津山市立東幼稚園
平成 4 年 11 月
- ・ 津山市立林田小学校前史 玉林小学校の歴史 中村勝男編著・発行
平成 11 年 11 月 11 日
- ・ 津山市立高野小学校の歴史 中村勝男編著・発行 平成 15 年 6 月 6 日
- ・ 津山市立清泉小学校の歴史 中村勝男編著・発行 平成 18 年 7 月 31 日
- ・ 開校八十年 津山市立林田小学校記念誌 記念事業実行委員会編集部
昭和 56 年 3 月 18 日
- ・ 開校百年 津山市立林田小学校史 創立百周年記念誌部 実行委員会
平成 13 年 4 月 21 日
- ・ 創立百周年 記念誌 1993 年 清泉小学校創立百周年記念事業実行委員会
平成 5 年 10 月
- ・ 閉校記念誌・南中のあゆみ 昭和 22 年 4 月～53 年 3 月 P T A 編集委員会
- ・ 平成元年度研究紀要 津山市立河辺小学校 平成 2 年 2 月
- ・ 津山市内小学校の沿革 市立津山郷土館 昭和 59 年 8 月 31 日
- ・ 勝間田高校百年史 岡山県立勝間田高校校友会 平成 13 年 11 月
- ・ 昭和の美作地方教育行政の軌跡 美作地区退職教育長会結成十周年記念誌
記念誌編さん委員会編 美作地区退職教育長会 平成 2 年 1 月 15 日
- ・ 市制施行 50 周年記念 津山市のあゆみ写真展 津山市 昭和 54 年 2 月 8 日～2 月 14 日
- ・ 津山市制 40 周年記念 1969 津山市総務部総務課統計広報係 昭和 44 年 3 月
- ・ 津山市民主教育 事業要覧 昭和 54 年度 津山市教育委員会
- ・ あゆみ 津山市学校図書館研究集録 第 16 号
津山市学校教育研究所・津山市学校図書館協議会 昭和 56 年 3 月
- ・ 二十年のあゆみ 昭和 59 年 津山市学校給食連合会
津山市教育委員会学校教育課保健給食係 昭和 59 年
- ・ 津山の障害児教育 30 年のあゆみ 津山市教育委員会・津山市障害児教育研究会
昭和 61 年 3 月 1 日
- ・ 鶴山塾ものがたり 津山市教育相談センター鶴山塾 平成 6 年 10 月 25 日
- ・ 津山 市制施行 50 周年記念 1979.2 津山市市長広報課 昭和 54 年 2 月

- ・ 津山 1985.5 津山市市長広報課
- ・ 創立 50 周年記念誌 津山市連合町内会 平成 18 年 3 月
- ・ 合併の記録 津山市・加茂町・阿波村・勝北町・久米町
津山市地域振興部地域振興政策審議室 平成 17 年 11 月
- ・ 岡山県教育委員会の歩み（平成 11 年～20 年）
教育委員会発足 60 周年記念誌 岡山県教育委員会 平成 20 年 10 月
- ・ 津山市教育委員会 55 年のあゆみ 教育委員会発足 55 周年
津山市教育委員会 平成 20 年 4 月

上記の各資料から津山市の教育、文化等に関連する事項を抜粋し、要点を略年表に記載しました。